

Panasonic

2000年1月

暫定版

ワイヤレスコミュニケーションシステム
〈WX-R8100/WX-TZ100〉シリーズ

Wireless Communication System

セールスマン用
新製品別冊版

商品マニュアル

目次

商品コンセプト

- 1. 基本システム ①
- 2. システム概要 ①

システム設計

- 1. 案内放送と一斉秘話連絡(交互通話) ②
- 2. 案内放送と一斉秘話連絡(相互通話) ③
- 3. スタッフモニタリングシステム ④
- 4. 2モードワイヤレスマイクシステム ⑤

接続方法

- 1. WX-R8100、WX-TZ100によるコミュニケーションシステム ⑥
- 2. WX-R8100によるシステム ⑦
- 3. WX-TZ100によるシステム ⑪

商品の機能

- 1. 800MHz帯ワイヤレス受信機/WX-R8100 ⑬
- 2. 音声入力装置/WX-TZ100 ⑭
- 3. 300MHz帯ワイヤレス送信機/WX-T3400 ⑰
- 4. 300MHz帯工事キット/WX-AZ910 ⑱
- 5. 800MHz帯プレストーク形ワイヤレスマイクロホン/WX-T8400 ⑲
- 6. 300MHz帯ポケットレシーバー/WX-R3101 ⑳

施工の注意点

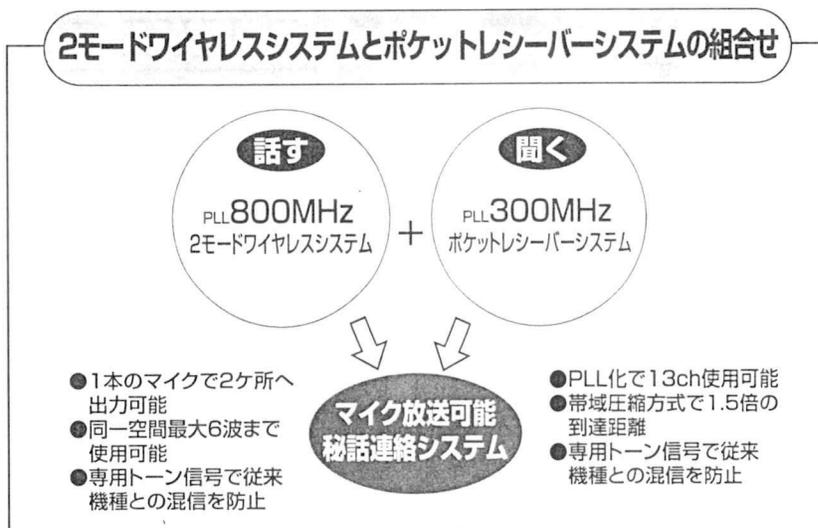
- 800MHz帯/300MHz帯送受信周波数表 ㉓

- ブロックダイアグラム) WX-R8100, WX-TZ100 ㉔

1. 基本システム

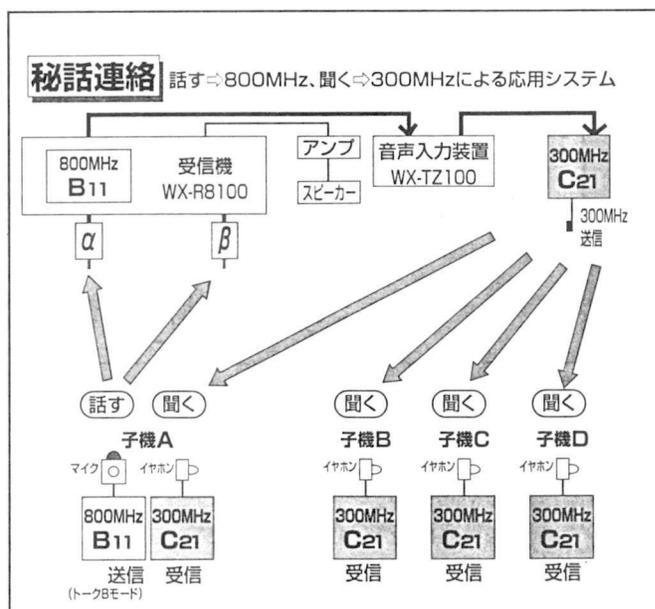
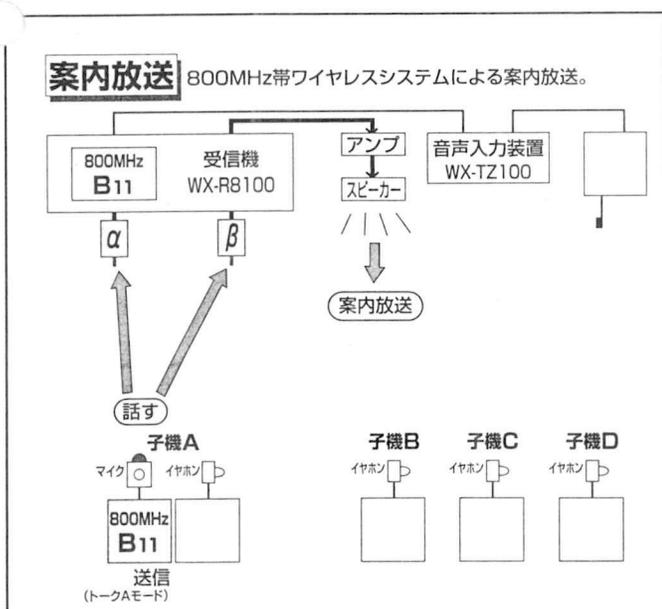
ワイヤレスマイクによる案内放送とインターカムでの秘話連絡を一体化した複合システムです。

ユーザー様の「運営」「使い勝手」、標準システムから高付加価値システムまで、現場の運用に合わせたシステム構築が可能です。



2. システム概要

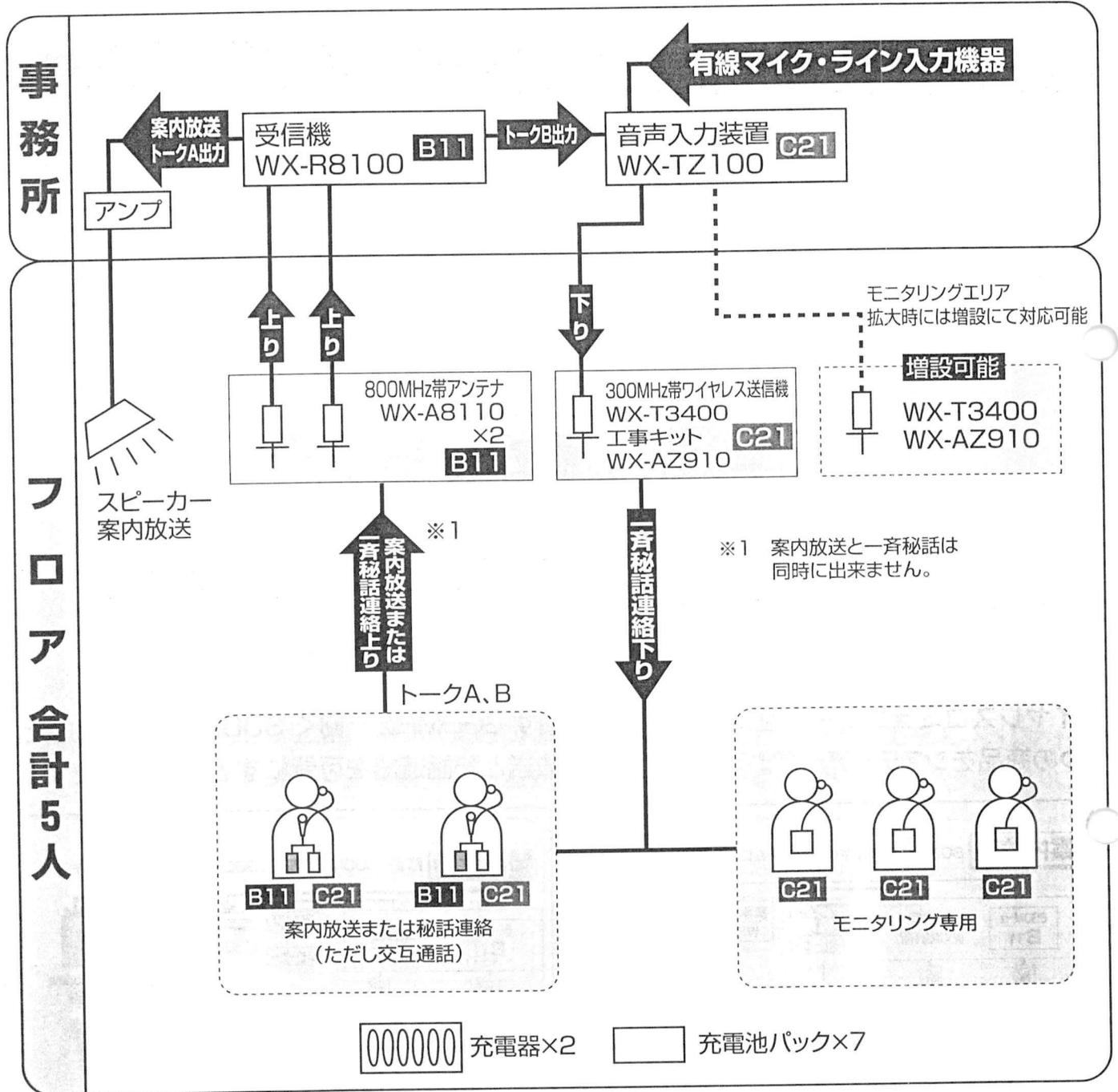
ワイヤレスコミュニケーションシステムは、**話す** 800MHz / **聞く** 300MHzを採用した2つの商品をシステムアップすることで、案内放送と秘話連絡を可能にするシステムです。



1. 案内放送と一斉秘話連絡（交互通話）

子機5台／交互通話可能な子機2台、モニタリング専用子機3台

※800MHz帯 **B11**、300MHz帯 **C21** チャンネルについては例として記載しています。

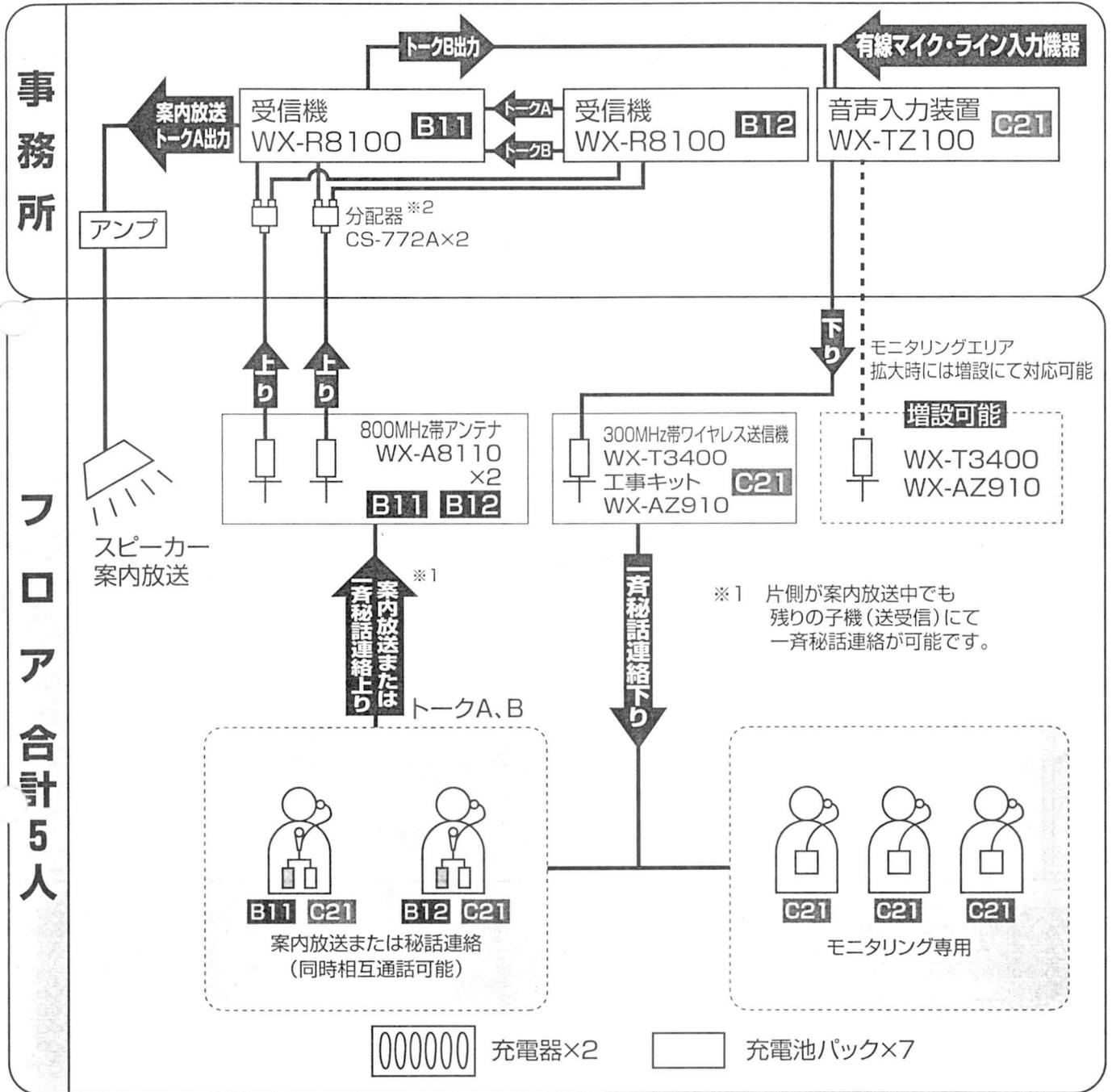


品名	品番	数量	単価	金額
800MHz帯PLLダイバシティワイヤレス受信機(1波用)	WX-R8100	1	100,000	100,000
音声入力装置	WX-TZ100	1	60,000	60,000
300MHz帯PLLワイヤレス送信機	WX-T3400	1	60,000	60,000
300MHz帯工事キット	WX-AZ910	1	15,000	15,000
300MHz帯ポケットレシーバー	WX-R3101	5	40,000	200,000
800MHz帯PLLプレストーク形ワイヤレスマイクロホン	WX-T8400	2	70,000	140,000
充電電池パック	WX-BH500	7	5,000	35,000
2ボタン接話マイクロホン(送受信用)	WX-M102	2	25,000	50,000
800MHz帯天井取付用ワイヤレスアンテナ	WX-A8110	2	27,000	54,000
オープンエアタイプイヤホン(6個セット)	WX-RZ911	1	30,000	30,000
充電器	WX-BC600	2	100,000	200,000
システム価格合計				944,000

2. 案内放送と一斉秘話連絡（相互通話）

子機5台／相互通話可能な子機2台、モニタリング専用子機3台

※800MHz帯 **B11** **B12**、300MHz帯 **C21** チャンネルについては例として記載しています。



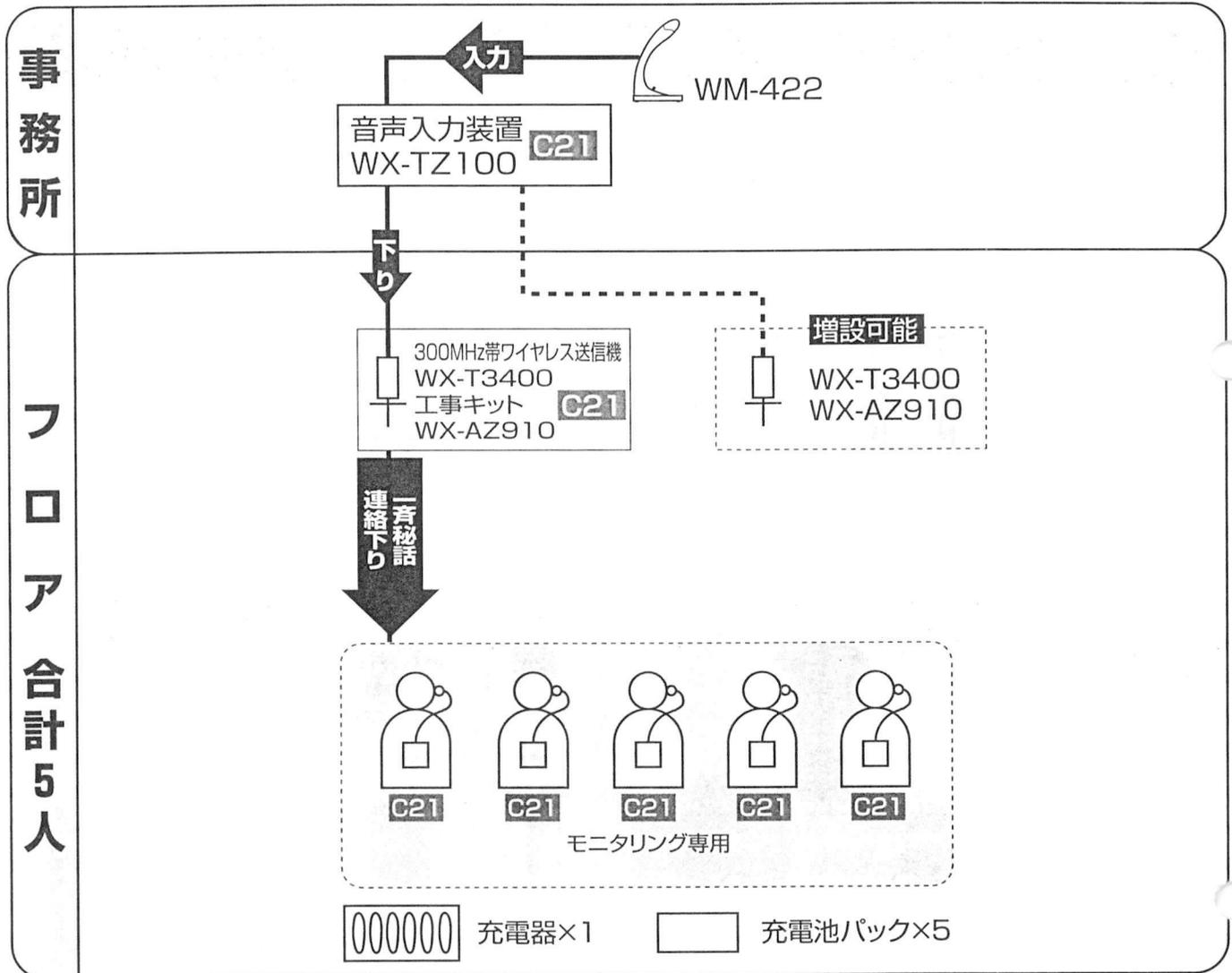
品名	品番	数量	単価	金額
800MHz帯PLLダイバシティワイヤレス受信機（1波用）	WX-R8100	2	100,000	200,000
音声入力装置	WX-TZ100	1	60,000	60,000
300MHz帯PLLワイヤレス送信機	WX-T3400	1	60,000	60,000
300MHz帯工事キット	WX-AZ910	1	15,000	15,000
300MHz帯ポケットレシーバー	WX-R3101	5	40,000	200,000
800MHz帯PLLプレストーク形ワイヤレスマイクロホン	WX-T8400	2	70,000	140,000
充電電池パック	WX-BH500	7	5,000	35,000
2ボタン接話マイクロホン（送受信用）	WX-M102	2	25,000	50,000
800MHz帯天井取付用ワイヤレスアンテナ	WX-A8110	2	27,000	54,000
オープンエアタイプイヤホン（6個セット）	WX-RZ911	1	30,000	30,000
充電器	WX-BC600	2	100,000	200,000
システム価格合計				1,044,000

※2 分配器CS-772Aは別売幹旋品です。詳しくはP9をご覧ください。

3. スタッフモニタリングシステム

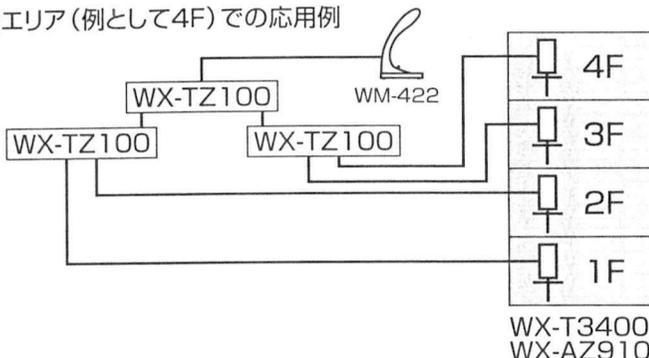
有線マイクから音声入力装置を通じて各子機へ連絡指示

※300MHz帯 **C21** チャンネルについては例として記載しています。



品名	品番	数量	単価	金額
音声入力装置	WX-TZ100	1	60,000	60,000
300MHz帯PLLワイヤレス送信機	WX-T3400	1	60,000	60,000
300MHz帯工事キット	WX-AZ910	1	15,000	15,000
300MHz帯ポケットレシーバー	WX-R3101	5	40,000	200,000
充電電池パック	WX-BH500	5	5,000	25,000
オープンエアタイプイヤホン(6個セット)	WX-RZ911	1	30,000	60,000
単一指向性ダイナミックマイクロホン	WM-422	1	12,000	12,000
充電器	WX-BC600	1	100,000	100,000
システム価格合計				502,000

多層階エリア (例として4F) での応用例



300MHz送信機を増設して
連絡指示エリアを拡大できます。

音声入力装置 WX-TZ100は
300MHz送信機を2台まで接続可能です。

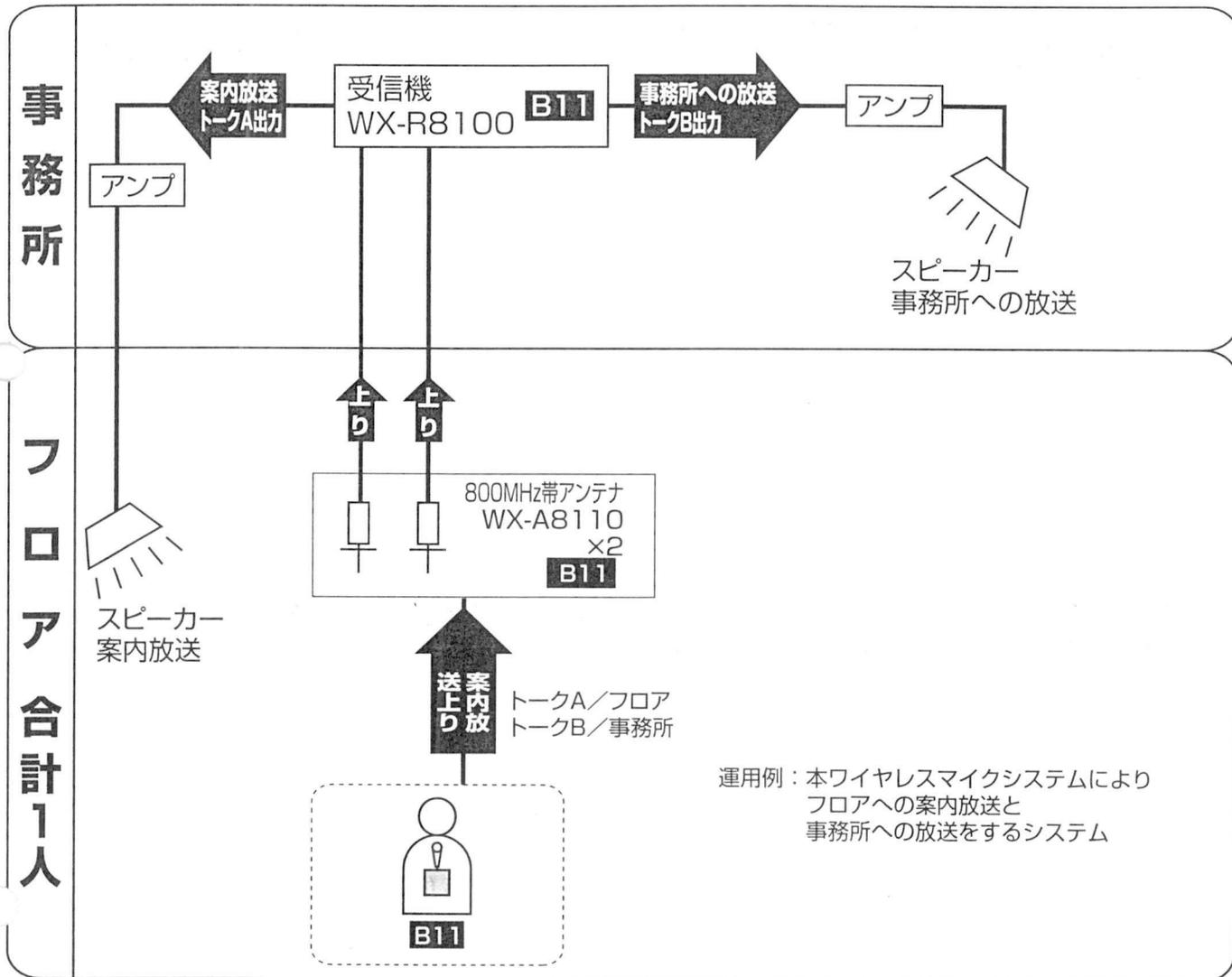
音声入力装置 WX-TZ100を3台使用して
300MHz送信機を4台まで増設できます。

300MHzの使用チャンネルはC21,C22,C23,C24とし
300MHz受信機はスキャンモードで使用します。

4.2モードワイヤレスマイクシステム

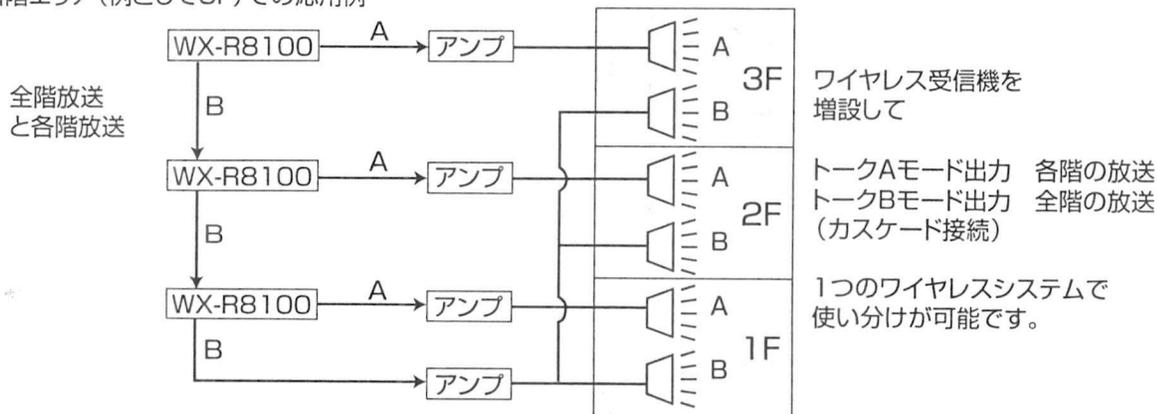
手元のボタンで選択する事により2ヶ所へ放送、または2種類の放送ができます。

※800MHz帯 **B11** チャンネルについては例として記載しています。



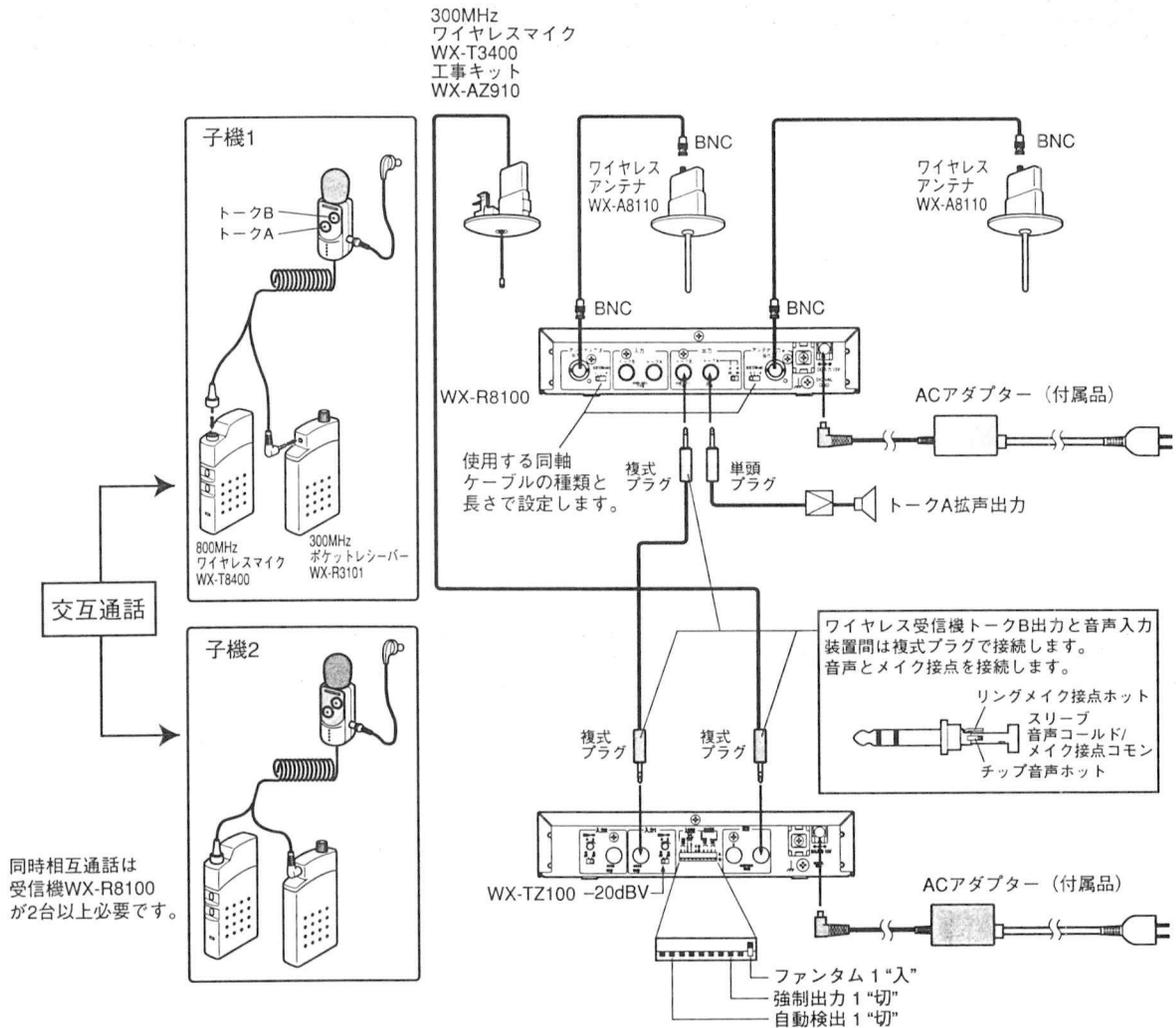
品名	品番	数量	単価	金額
800MHz帯PLLダイバシティワイヤレス受信機(1波用)	WX-R8100	1	100,000	100,000
800MHz帯PLLプレストーク形ワイヤレスマイクロホン	WX-T8400	1	70,000	70,000
2ボタン接話マイクロホン(送信専用)	WX-M112	1	22,000	22,000
800MHz帯天井取付用ワイヤレスアンテナ	WX-A8110	2	27,000	54,000
システム価格合計				246,000

多層階エリア(例として3F)での応用例

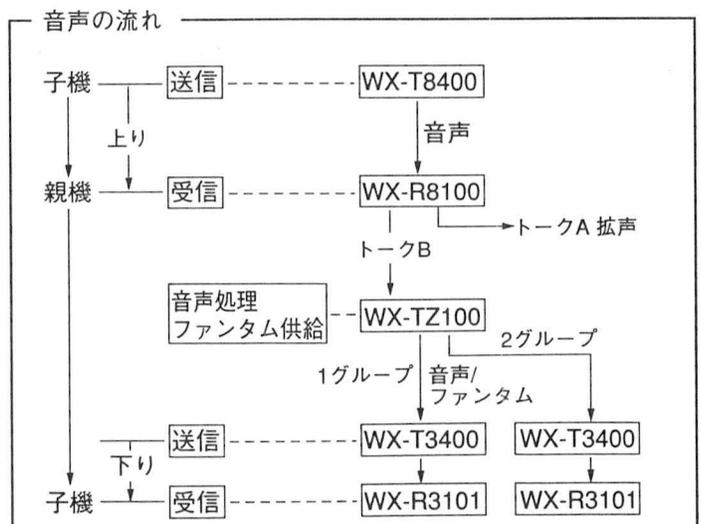


1. WX-R8100、WX-TZ100によるコミュニケーションシステム

●ワイヤレス受信機WX-R8100と音声入力装置WX-TZ100の接続方法



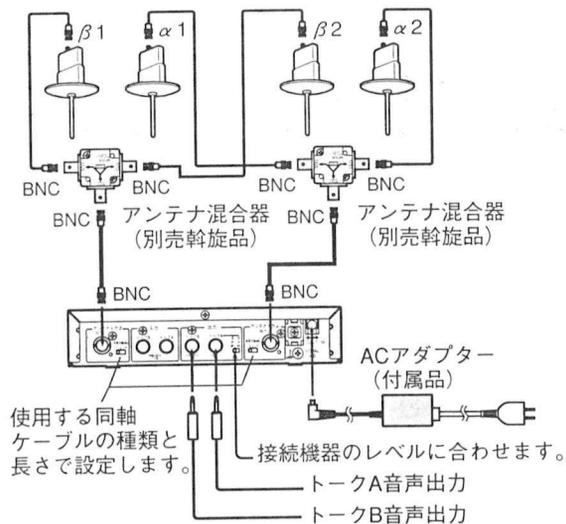
- ・子機のトークAは拡声、トークBは子機間連絡通話に使用します。
- ・ワイヤレス受信機WX-R8100を2台接続すれば、子機間相互通話が可能です。(受信機の増設方法P9参照)
- ・音声入力装置に、300MHz帯ワイヤレス送信機WX-T3400を増設して、下り2グループ運用またはモニタリングエリア拡大が可能です。
- ・音声入力装置3台、300MHz帯ワイヤレス送信機WX-T3400を4台使用して最大4グループの運用ができます。
(300MHz帯ワイヤレス送信機の接続方法P12参照)



接続方法

●アンテナを4本使用する場合

アンテナ混合器（別売幹旋品）を使用することにより、アンテナを4本まで増設できます。



- ・アンテナ感度設定は、 $\alpha 1$ と $\alpha 2$ 、 $\beta 1$ と $\beta 2$ が同利得に設定されます。
- ・使用可能な同軸ケーブル長は、混合器のロス分だけ短くなります。

アンテナ混合器を使用した場合の同軸ケーブル長

使用同軸ケーブル	同軸ケーブル長 (m)																
	0	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100	110	120	130	140	150	160
5C-2V 5D-2V	0dB																
5C-FB 5D-FB	0dB																
7C-FB 8D-FB 5D-SFA	0dB																
10D-FB 8D-SFA	0dB																

数字は感度設定位置を示します。

メモ

- ・アンテナを5本以上使用する場合は、アンテナ混合分配器 WX-AD800（別売品）を使用します。
- ・アンテナ混合器を直列接続するなどしてアンテナを5本以上接続しないでください。受信感度が低下するばかりか故障の原因になります。

混合器（別売幹旋品）について

アンテナ混合器のメーカー、品名は以下のとおりです。（1999年9月現在）

メーカー：東光電子（株）

（TEL：03-3399-1171）

品名：パワーバイダー

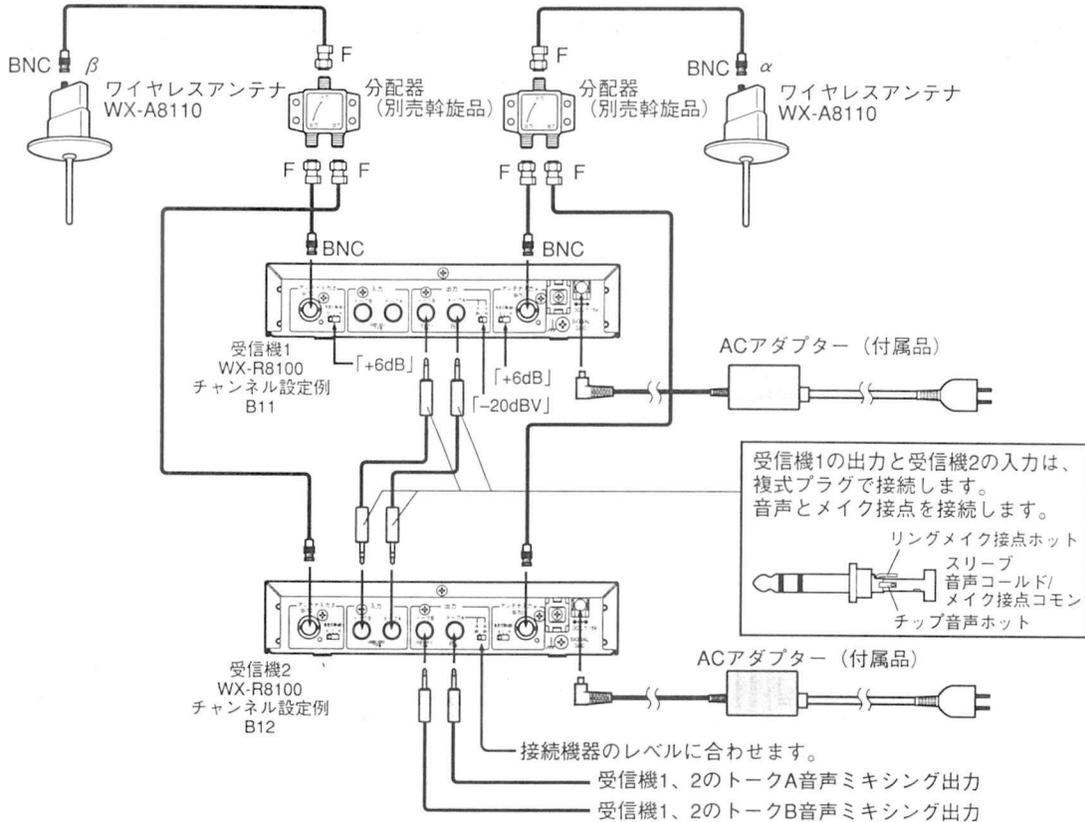
形名：TC201-10

入出力：50 Ω BNCコネクター

受信機の増設方法

●2波の場合

分配器（別売幹旋品）を使用することにより、受信機を2波まで増設できます。



分配器を使用した場合の同軸ケーブル長

使用同軸ケーブル	同軸ケーブル長 (m)																
	0	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100	110	120	130	140	150	160
5C-2V 5D-2V				0dB	+6dB												
5C-FB 5D-FB				0dB	+6dB												
7C-FB 8D-FB 5D-SFA				0dB	+6dB												
10D-FB 8D-SFA				0dB	+6dB												

数字は感度設定位置を示します。

- ・同軸ケーブルは良質の50Ωまたは75Ωを使用します。
- ・アンテナ感度設定はファンタム電源供給している受信機で設定します。使用する同軸ケーブルの種類と長さで左表に合わせて設定します。
- 5C-FB以上の同軸ケーブルを使用する場合は専用コネクタを使用し、BNC変換ケーブルで本機に接続してください。
- ・50Ω系ケーブルを使用する場合は変換ケーブルも50Ω系を使用してください。

分配器（別売幹旋品）について

上図で説明している分配器のメーカー、品名等は以下のとおりです。

(1999年9月現在)

メーカー：八木アンテナ株式会社 (TEL：03-3292-2371)

品名：CS2分配器 (屋内用)

形名：CS-772A

入出力：75Ω F形コネクタ (5C-2V用F接栓 3個付属)

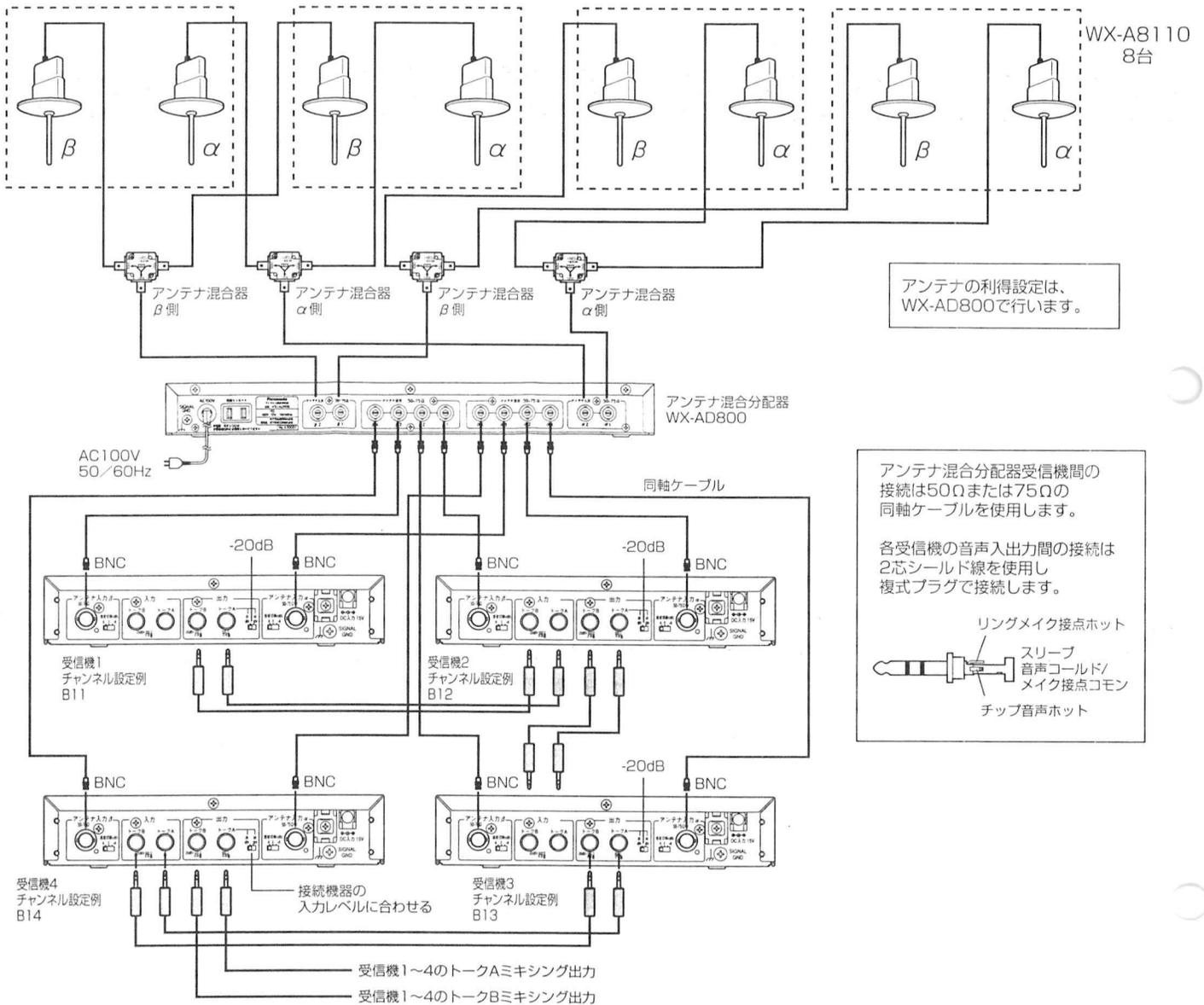
メモ

ワイヤレス受信機を3台以上使用する場合は、アンテナ混合分配器WX-AD800 (別売品) を使用します。

接続方法

●4波の場合

アンテナ混合分配器WX-AD800を使用する事により、受信機を4台まで増設できます。
WX-R8100シリーズで4波受信、8本アンテナを組んだ場合の接続例

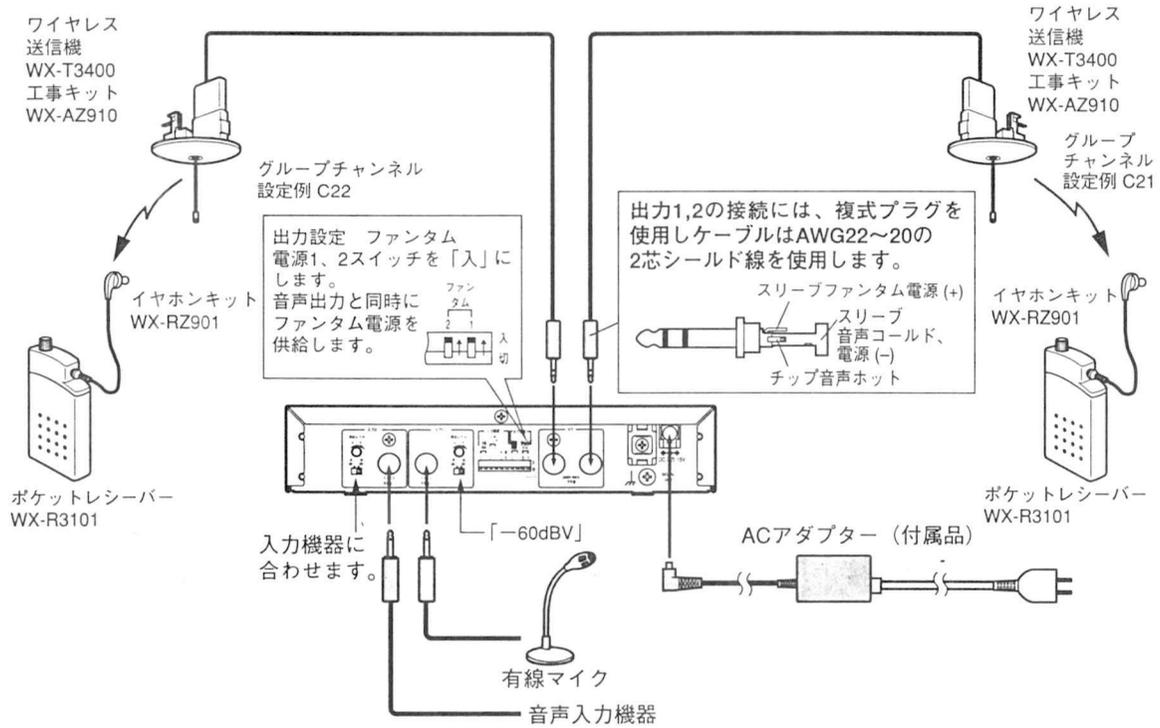


内は同じエリアにある必要があります。(ダイバシティ受信効果を確保するため)

3. WX-TZ100によるシステム

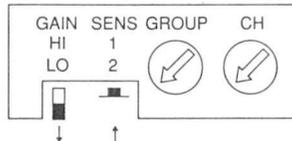
●音声入力装置の出力1、2に300MHz帯ワイヤレス送信機WX-T3400を接続して、スタッフモニタリングシステムとして運用することができます。

- ・300MHz帯ワイヤレス送信機WX-T3400の天井への取付は、工事キットWX-AZ910を使用します。
- ・300MHz帯ワイヤレス送信機WX-T3400は、2台まで接続可能です。



ワイヤレスマイクロホンWX-T3400の設定について

- ① 乾電池や充電電池パックは装着しないでください。
・電源は本機からファンタム電源供給されます。
- ② グループチャンネルは使用するポケットレシーバーのグループチャンネルに合わせます。
- ③ マイク利得スイッチは「LO」
マイク感度スイッチは「1」に合わせます。



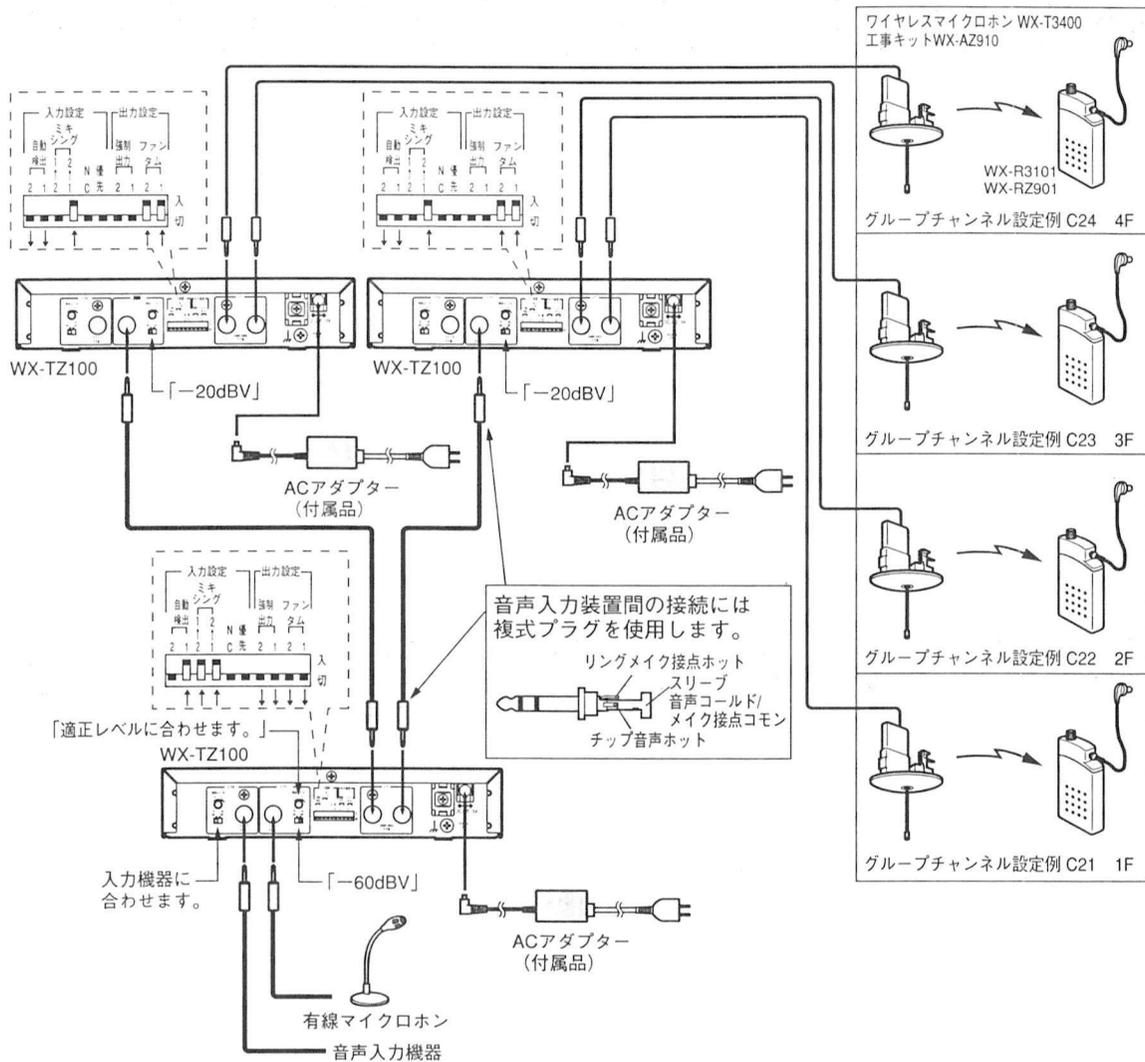
参考

《ワイヤレスコミュニケーションシステム WX-R8601シリーズとのシステム応用》

WX-R8601シリーズは、300MHz帯ワイヤレス送信機を4台接続することができます。(トークBモード出力)
300MHz帯ワイヤレス送信機は同一エリアで4台まで使用できますが、使用エリアを分けて5台以上使用するシステム(5エリア以上)の時は、WX-R8601を追加するか補助アンテナでエリアを補完するしかありませんでした。
今回のWX-TZ100は1つの入力に2台の300MHz帯ワイヤレス送信機が接続可能になり、5台以上必要なときはWX-TZ100を増設用インターフェースとして活用する事でシステムアップが可能になります。

300MHz帯ワイヤレス送信機の接続方法

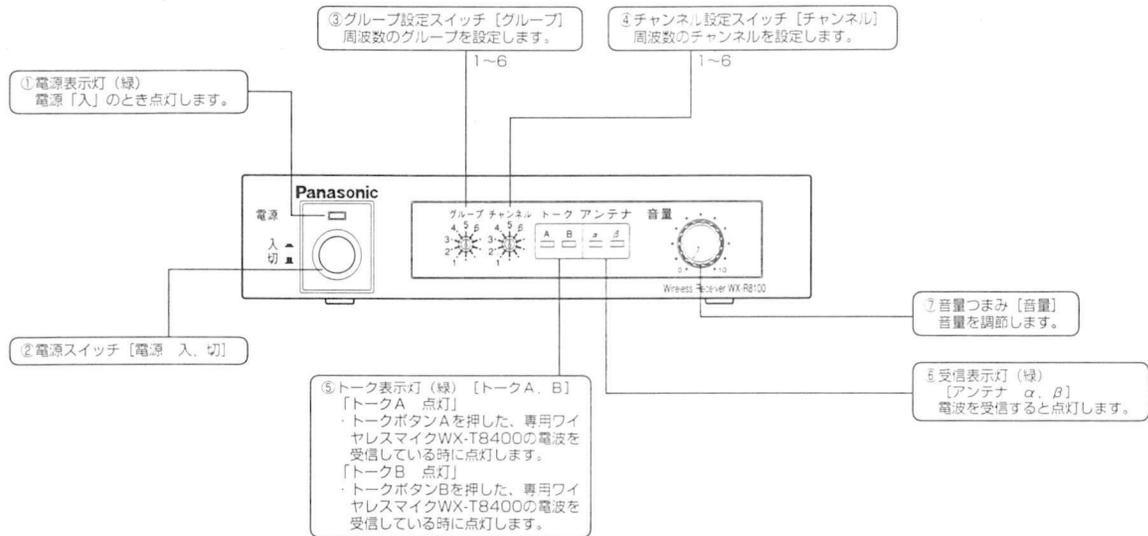
- ・ 音声入力装置を3台使用して、ワイヤレス送信機WX-T3400を4台接続する事例
- ・ 運用するグループチャンネルは、同一グループで異なるチャンネルにします。



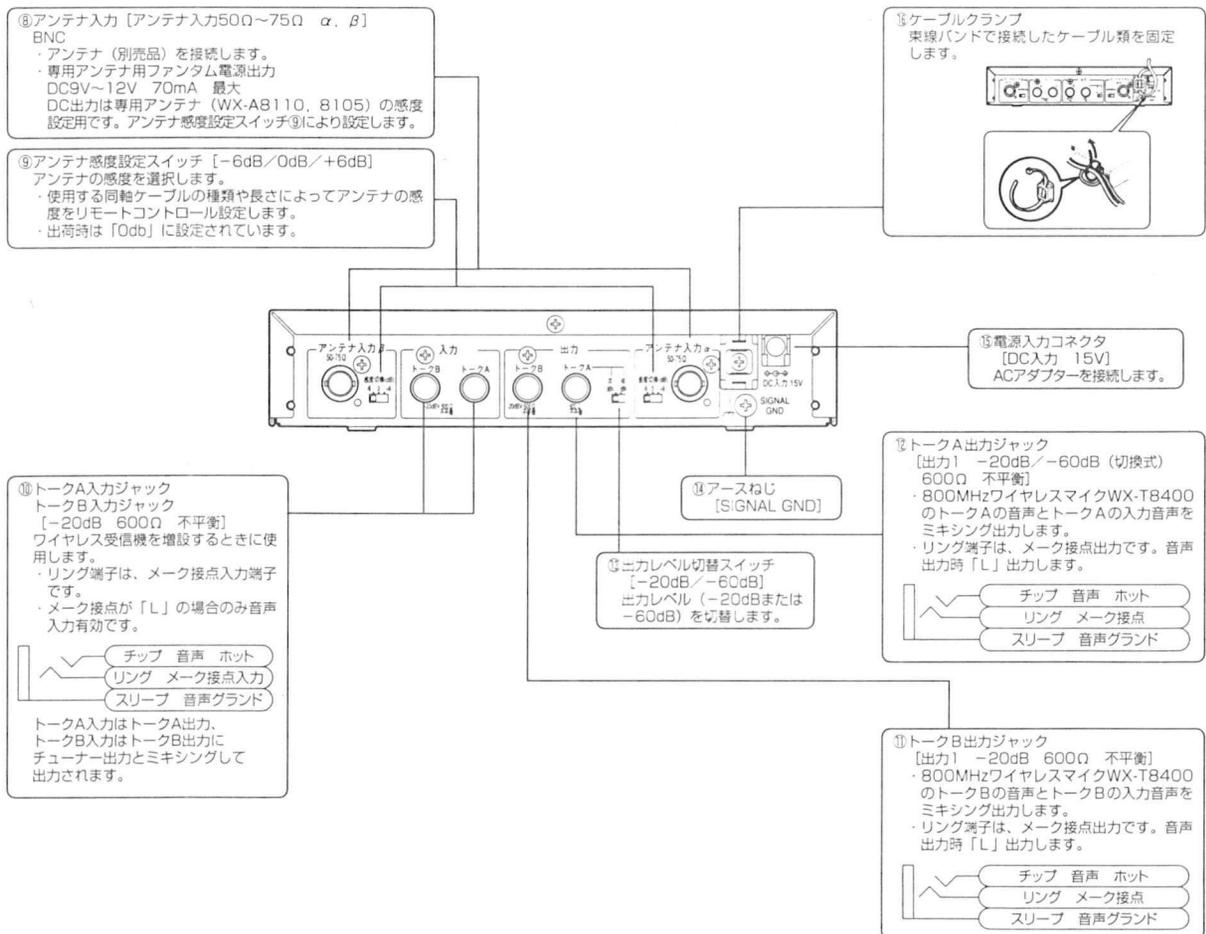
1. 800MHz帯ワイヤレス受信機/WX-R8100

■各部の名前と働き

●前面



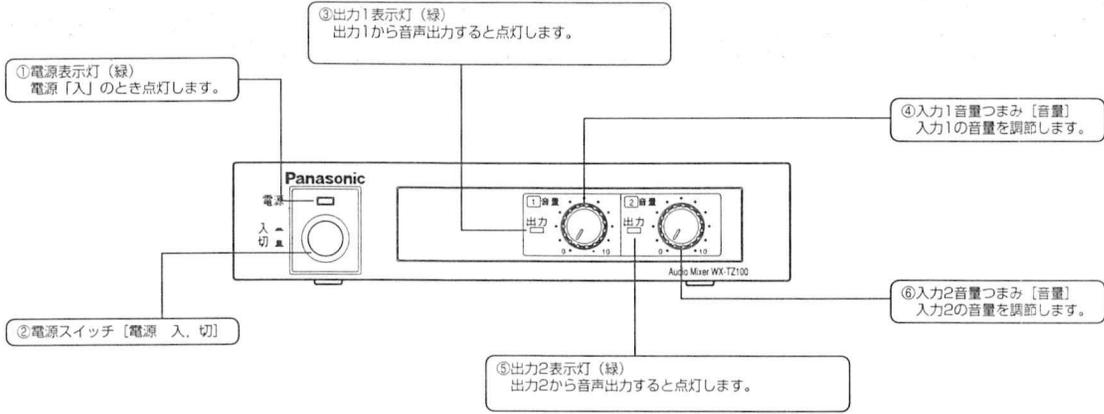
●後面



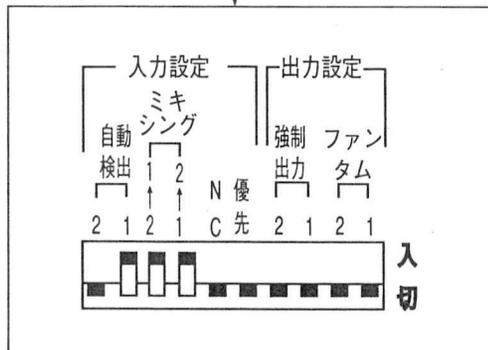
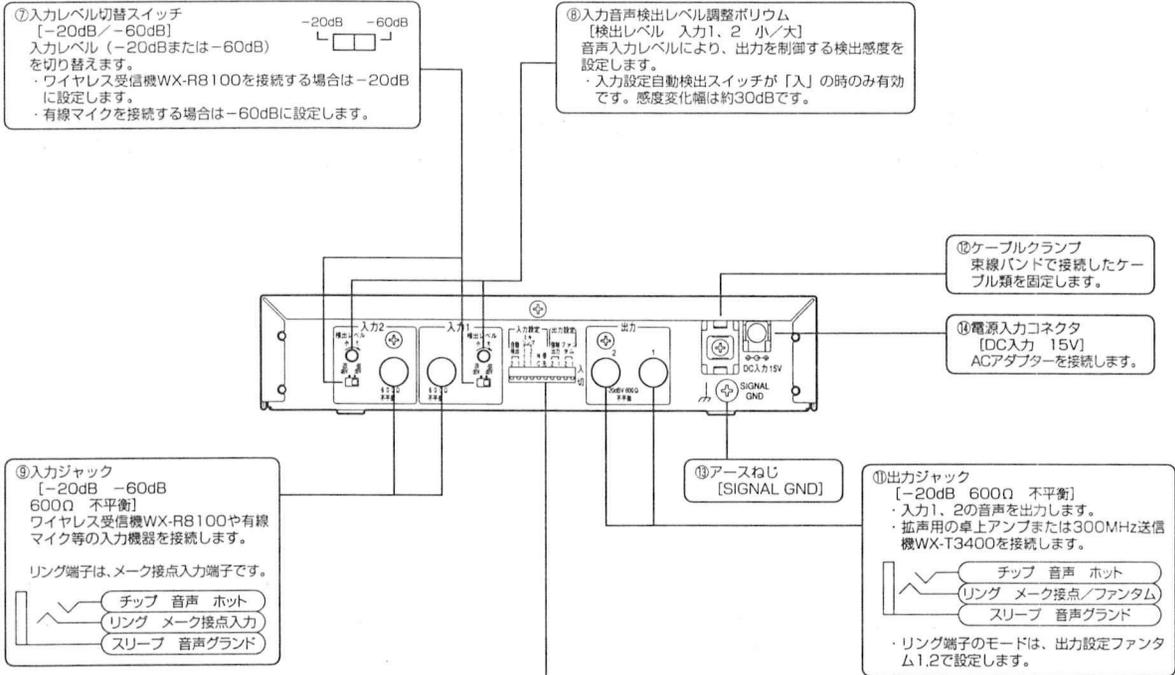
2. 音声入力装置 / WX-TZ100

■各部の名前と働き

●前面



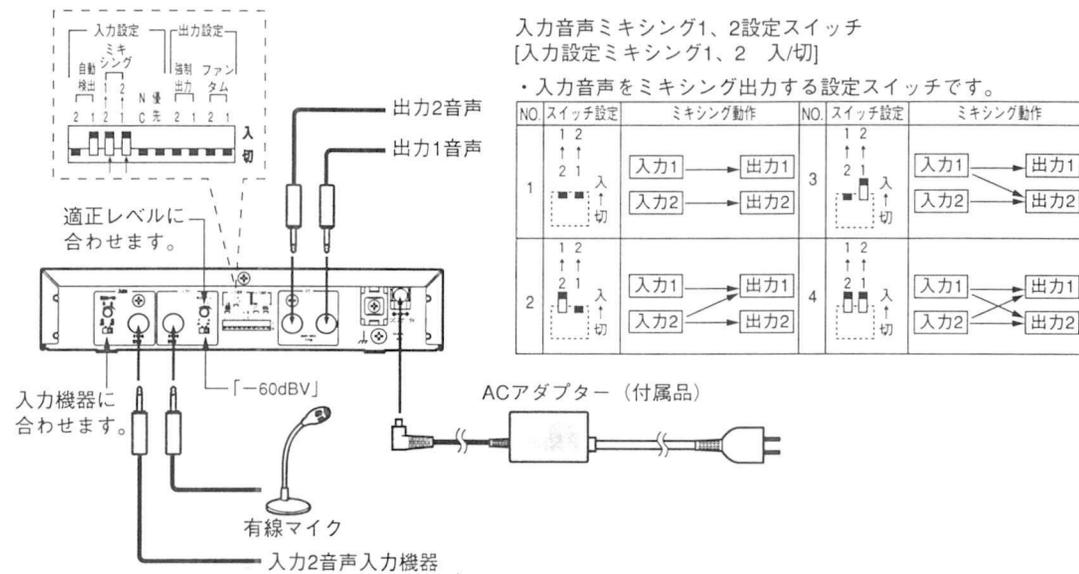
●後面



■入力設定スイッチについて

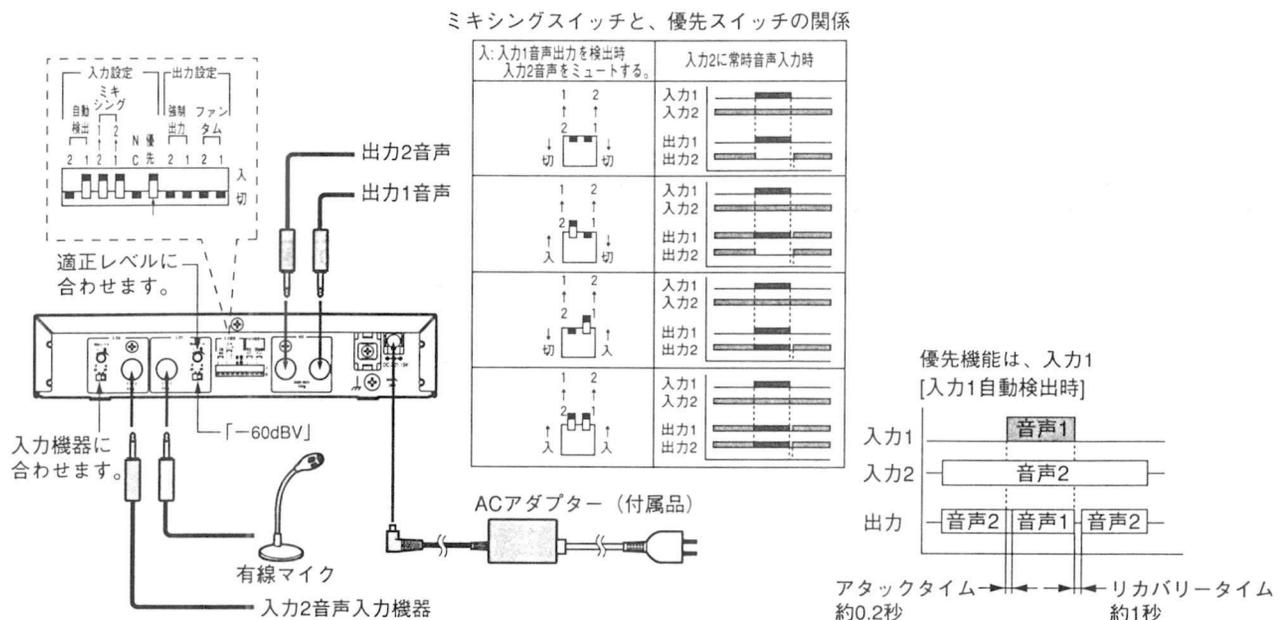
①音声ミキシングについて

- 入力1、2の音声を出力1、2にミキシング出力できます。
- 入力設定ミキシング2→1、1→2を「入」にします。
- 音声出力時は、メイクアップ出力/ファンタム電源もミキシング動作します。



②入力1優先について

- 入力1優先機能とは、入力1の音声を検出したときに入力2の音声をミュートし、入力1音声を優先出力する機能です。
- 入力設定優先を「入」にします。

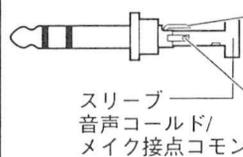


■出力設定スイッチについて

音声入力検出と強制出力スイッチについて

●入力1、2は音声レベルを検出して、音声出力する入力検出機能を持っています。

- ・検出レベルは、検出レベル調整ボリュームで、入力レベルに合わせて設定できます。
- ・入力設定自動検出1、2スイッチを「入」にして、使用します。
- ・入力設定自動検出1、2スイッチを「切」の場合は、メイク接点入力時のみ音声出力します。
- ・自動検出機能も、メイク接点検出機能も使用せず、常時音声出力したい場合は、出力設定、強制出力1、2を「入」にします。

強制出力スイッチ 自動検出スイッチ			強制出力スイッチ			
			自動検出スイッチ		自動検出スイッチ	
			↓ 切	↑ 入	↓ 切	↑ 入
	オープン 最大500kΩ以上	無出力 X	メイク接点 無効	常時出力 ○		
	ショート 最小100Ω以下	出力 ○				
	無入力時	検出無効	無出力 X			
	音声入力時		検出時出力 ○			

■ファンタム電源スイッチについて

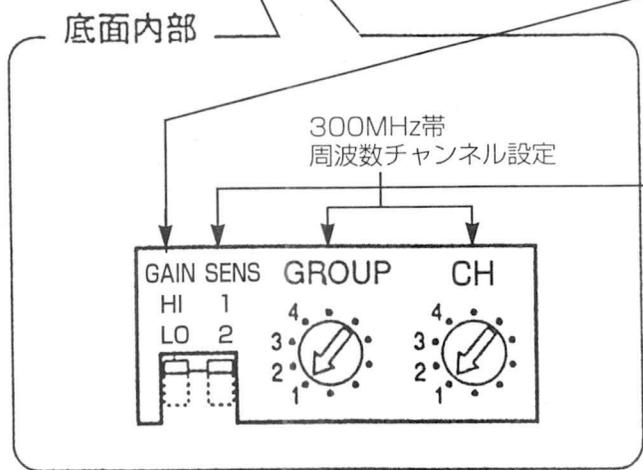
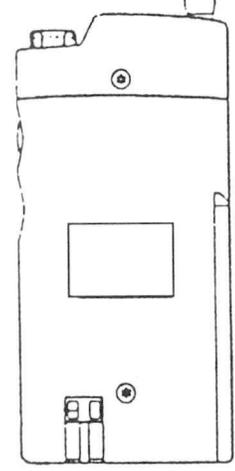
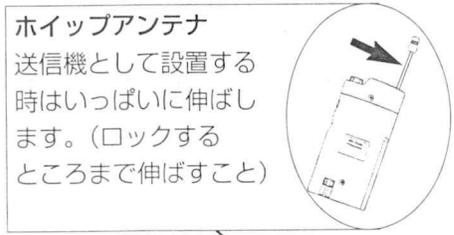
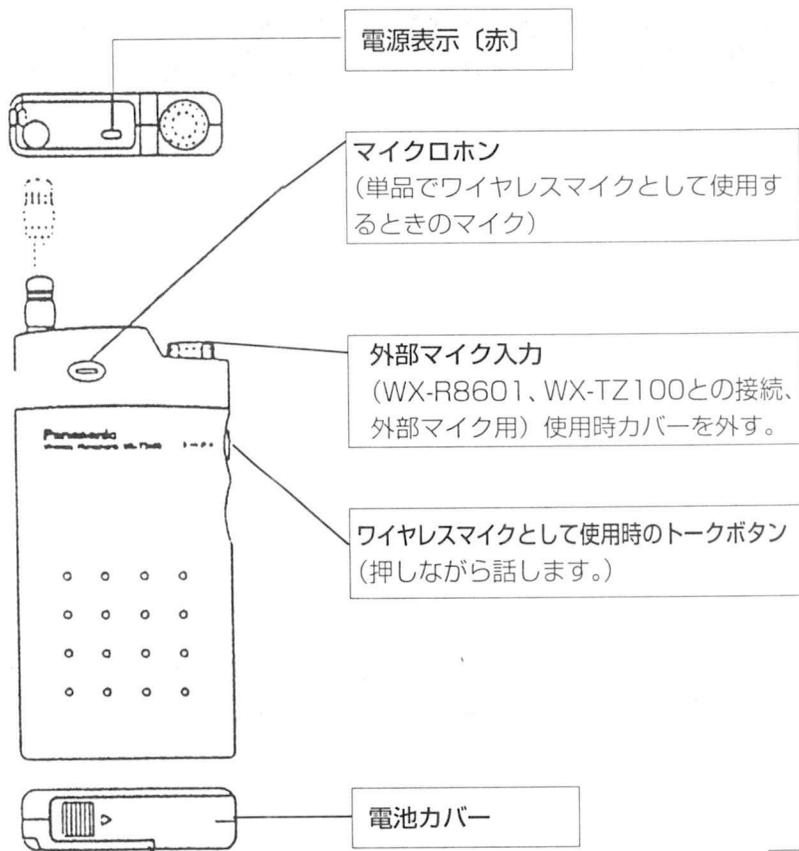
ファンタム電源スイッチと音声出力ジャックとの関係を下記に示します。

音声出力ジャックにワイヤレス送信機WX-T3400を接続する場合は、必ずファンタム電源スイッチを「入」にします。このとき、WX-T3400には乾電池等は入れないでください。

ファンタム電源スイッチ		音声出力条件	ファンタム電源スイッチ		
			↓ 切	↑ 入	WX-T3400の動作
	リング	音声出力時	メイク接点ショート出力	ファンタム電源出力	通常送信状態 音声とトーン出力 WX-T3400 電源表示灯点灯 (赤) WX-R3101 電源表示灯点灯 (緑)
	入力音声検出時 メイク接点入力時	リングスリーブ間ショート 許容電圧20V以下 許容電流100mA以下	約7V 最大70mA		
		未出力時 音声無入力時 メイク接点 オープン時	メイク接点オープン出力 リングスリーブ間オープン インピーダンス1MΩ以上	ファンタム電源出力	キャリアのみ送信状態 WX-T3400 電源表示灯点灯 (赤) WX-R3101 電源表示灯点灯 (赤)
				約5V 最大70mA	

3. 300MHz帯ワイヤレス送信機/WX-T3400

■各部の名前と働き



電池カバーの内部に上記設定SWあり

マイク利得設置スイッチ [GAIN]
 Hi : 本体内蔵マイク、接話マイク、タイピンマイク
 を使用する場合
 LO : -20dBV入力時(WX-R8601、WX-TZ100時)
 : ワイヤレスコミュニケーションシステムとして使用
 する場合LOに設定する

マイク感度切換スイッチ [SENS]
 使用するマイクロホンにより以下のように切り換えます。
 SENS1 : 本体内蔵マイク、接話マイク
 : WX-R8601、WX-TZ100を使用する場合
 : ワイヤレスコミュニケーションシステムとして
 使用する場合SENS1に設定する
 SENS2 : タイピンマイクを使用する場合

WX-R8601やWX-TZ100と接続する場合は、電池
 を装着しないでください。(ファンタム電源がWX-
 R8601、WX-TZ100より供給されます)

本機は単品で300MHz帯PLLワイヤレスマイクとして
 使用出来ます。
 くわしくは取扱説明書をご参照ください。

4. 300MHz帯工事キット/WX-AZ910

ご注意

●ワイヤレス受信機とワイヤレス送信機の接続ケーブルは、AWG22 (φ0.3mm) ~ AWG20 (φ0.5mm) の2芯シールド線を使用してください。音声とファンタム電源のため2芯シールド線を使用すること。

●ワイヤレス送信機 WX-T3400を取り付ける際は、乾電池や充電電池パックを装着しないでください。ワイヤレス送信機の電源は、ワイヤレス受信機 WX-R8601、WX-TZ100から供給されます。(必ずWX-R8601、WX-TZ100側のファンタム電源をONにしてください。)

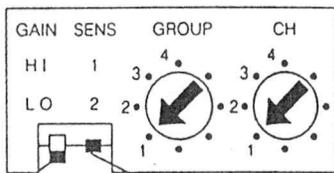
●ワイヤレス送信機を本キットのアタッチメント金具に取り付ける際は、アンテナを最後まで伸ばしてください。伸縮途中で使用した場合、性能が劣化します。

※使用ケーブルの仕様については施工の注意点を参照してください。(P22)

■取り付けかた

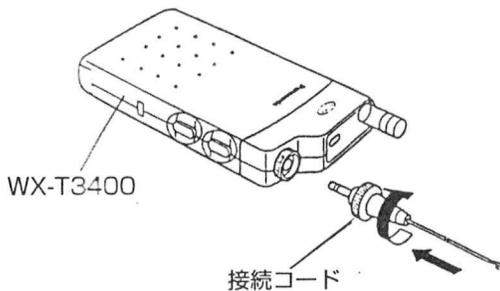
1. ワイヤレス送信機WX-T3400を本工事キットに取り付ける

- ①送信機の内部スイッチを設定する
 マイク利得設定スイッチを「LO」、マイク感度切換スイッチを「SENS1」に設定します。

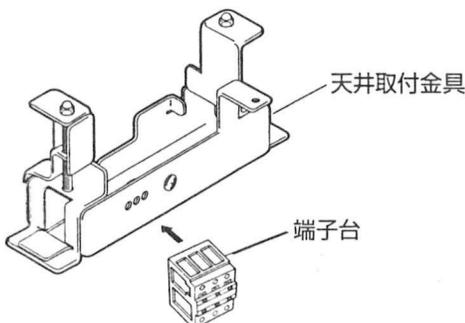


マイク利得設定スイッチ マイク感度切換スイッチ

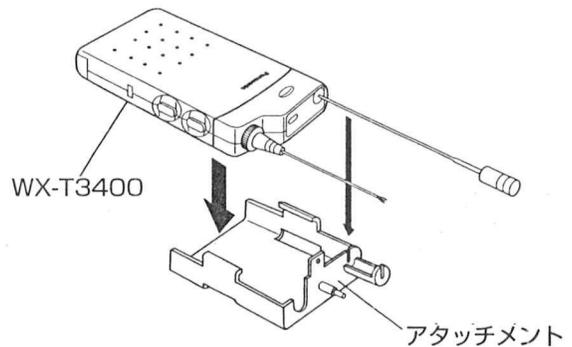
- ②接続コードを取り付ける



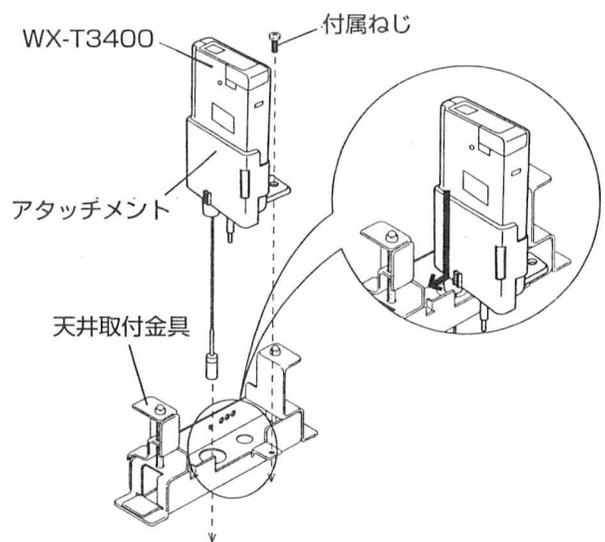
- ③天井取付金具に端子台を取り付ける



- ④ワイヤレス送信機を取り付ける
 アンテナは必ず最後まで伸ばしてください。



- ⑤手順5のアタッチメントを天井取付金具に付属のねじで固定する



付属ケーブルの極性と色について

赤	音声入力	チップに接続
白	ファンタム電源入力	リングに接続
黒	アース入力	スリーブに接続

5. 800MHz帯プレストーク形ワイレスマイクロホン/WX-T8400

■各部の名前と働き

電源表示灯 (赤)

トークボタン (A,B) を押すと電源が入り、点灯します。
点滅する場合は、乾電池の交換または充電電池パックの充電を行ってください。

マイク音孔

単品のワイレスマイクロホンとして使用する
場合のマイク

外部マイクジャック

別売の接話マイクロホンWX-M101、
M102等を接続します。
使用時は、カバーを外してください。

トークボタンA [トークA]

このボタンを押しながら話します。

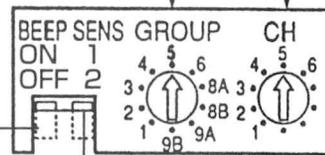
トークボタンB [トークB]

このボタンを押しながら話します。

電池カバー

底面内部

800MHz帯周波数設定



GROUP
8A,8B,9A,9BはWX-R8100では受信
できません。
電池カバーの内部に上記設定SWあり

充電端子

充電電池パック WX-BH500装着時。

トークB確認音設定スイッチ [BEEP]

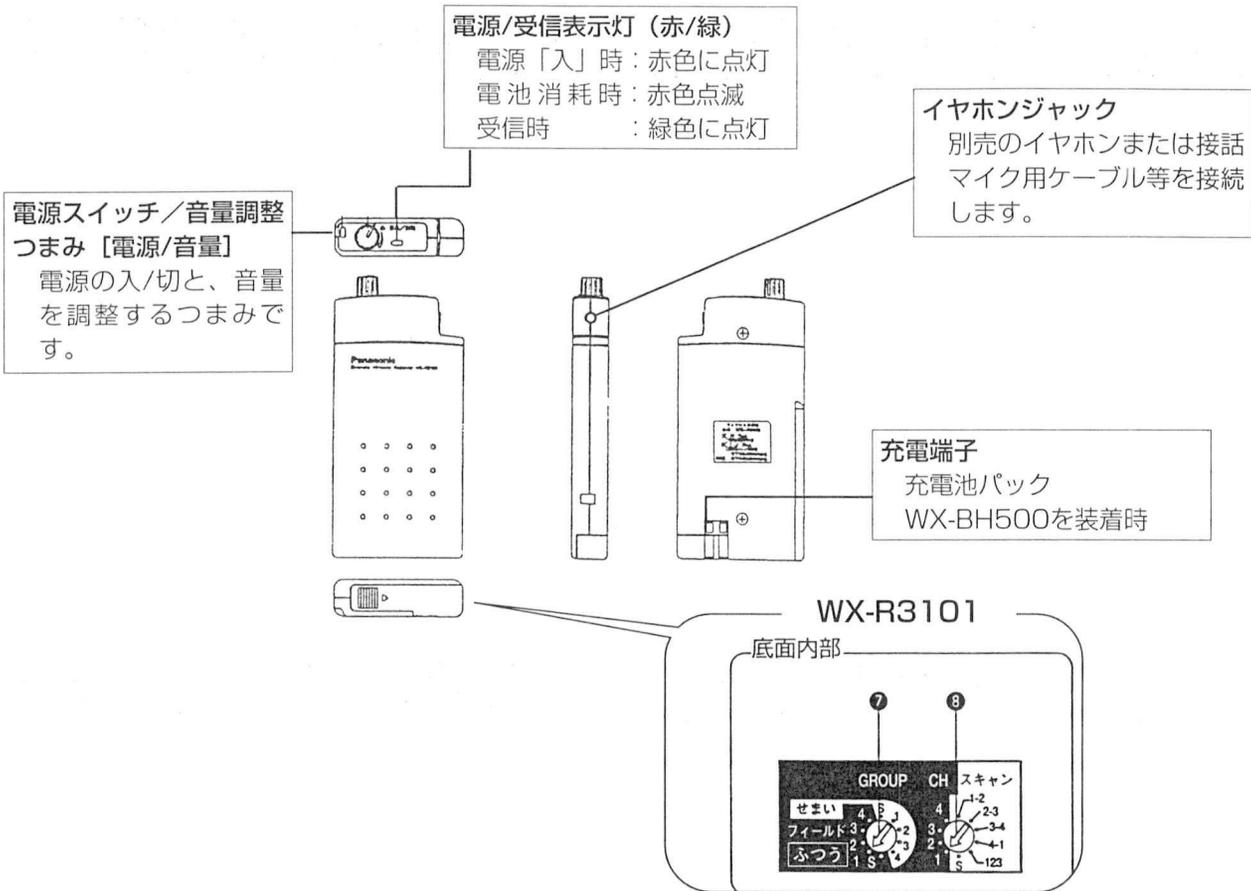
トークB使用時の確認音を設定します。
⇒通常ON
OFF : 確認音は鳴りません。
ON : トークBボタンを押すと確認音がな
ります。

マイク感度切換スイッチ [SENS]

使用するマイクにより以下のように切り換
えます。通常はSENS1で使用
SENS1 : 本体内蔵マイク、接話マイクを
使用する場
SENS2 : タイピンマイクを使用する場合

6. 300MHz帯ポケットレシーバー／WX-R3101

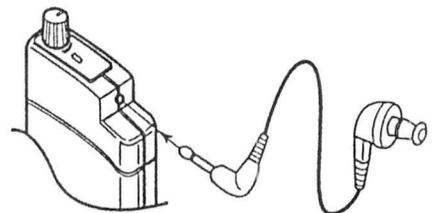
■各部の名前と働き



■イヤホンの取り付けかた ※イヤホンは付属していません。

別売のイヤホンWX-RZ900 (ケーブル長500mm) WX-RZ901 (ケーブル長1000mm)、またはWX-RZ911 (オープンエアタイプ) をご使用ください。

1. 音量調整つまみを最小にする
2. イヤホンプラグをイヤホンジャックに差し込む
3. 大中小のイヤチップから合うものを選ぶ



お願い

- 必ず音量調整つまみを最小にしてからイヤホンを耳に装着してください。装着後、適切な音量に合わせます。
- WX-RZ900、RZ901、RZ911以外のイヤホンを使用する場合は、インピーダンス16Ω以上のモノラルプラグタイプを使用してください。ただし他のイヤホンを使用した場合、適切な音質にならない場合があります。

■周波数設定のしかた（オートスキャンモード）

- グループ内チャンネルをスキャンする場合
スキャンするチャンネル数を選択できます。

1. グループ・フィールドスイッチで運用するグループを設定しておきます。
2. 運用するチャンネル数に合わせて、チャンネル・スキャンスイッチで設定します。

固定チャンネル
1、2、3、4の通常の固定チャンネルです。
スキャン機能は、動作しません。

スキャン機能
グループ設定したチャンネルを繰り返しスキャンします。
受信すると電源/受信表示灯が緑色に変わりスキャンは停止します。
また、受信待機状態になると、赤色に変わり再びスキャンを繰り返します。

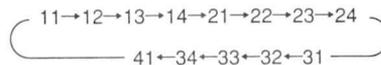
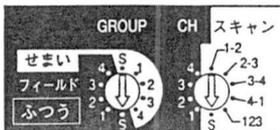
1-2、2-3、3-4、4-1
……………2チャンネルスキャンを繰り返します。
123…3チャンネルスキャンを繰り返します。
S……………4チャンネルスキャンを繰り返します。

ご注意

同一フロア内でオートスキャンモードにする場合は、必ずグループ内でのスキャンモード設定にしてください。

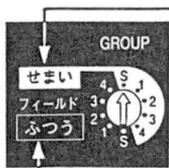
- 全グループ、全チャンネルをスキャンする場合

グループ・フィールドスイッチとチャンネル・スキャンスイッチの「↑」を「S」に合わせます。
受信すると電源/受信表示灯が緑色に変わりスキャンは停止します。



- スキャンするフィールドを選択できます

せまいフィールドでは、受信感度を抑えることにより、より低雑音でスキャン運用できます。
グループ・フィールドスイッチで運用するフィールドを設定します。



- ・フィールド せまい
送信機相互の距離が短い場合、使用するフィールドがせまい場合のポジションです。
受信感度を抑えてチャンネルスキャンします。
- ・フィールド ふつう
通常は、このポジションでご使用ください。

施工の注意点

ワイヤレスコミュニケーションシステムは以下の点で従来のワイヤレスシステムと異なりますので注意ください。

1. 800MHz受信アンテナはダイレクト方式です。

同軸ケーブルは以下の指定となります

混合器、分配器 ※1	使用同軸 ケーブル	同軸ケーブル長さ (m)																
		0	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100	110	120	130	140	150	160
混合器、 分配器を 使用しない 場合	5C-2V			-6dB														
	5D-2V				0dB													
	5C-FB					+6dB												
	5D-FB																	
混合器、 分配器を 使用する 場合	7C-FB																	
	8D-FB																	
	5C-2V																	
	5D-2V																	

同軸のロスが大きいため
左記以上の長さは使用不可

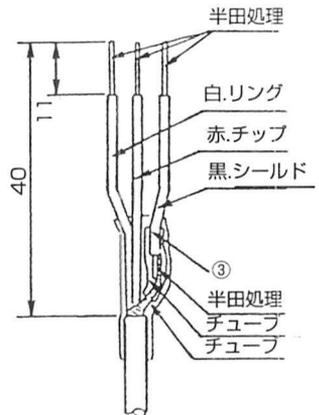
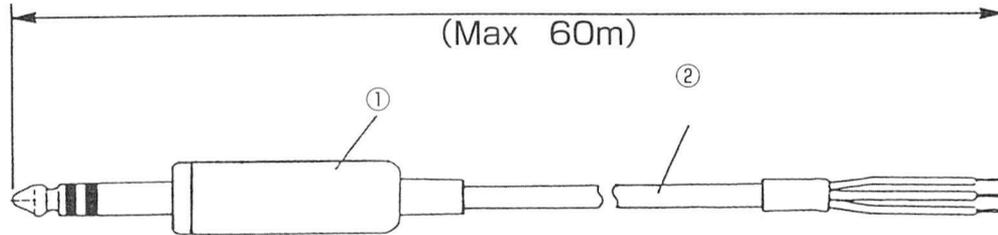
同軸のロスが大きいため
左記以上の長さは使用不可

※1 WX-AD800を除く、ブースターを持たない混合器、分配器が対象。(別売幹旋品)

2. 300MHz送信機の配線 (300MHz下り用アンテナ)

同軸ケーブルではありません！

平衡のマイクロホンコードと同様の仕様となります。



No	
1	大型ステレオプラグ φ6.5
2	2芯シールド AWG20
3	中継ケーブル UL1007 AWG20 黒

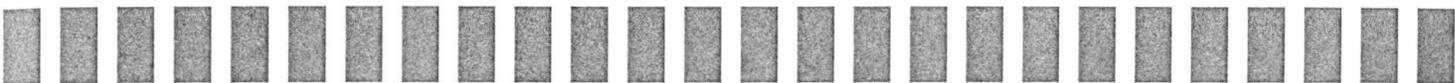
800MHz帯/300MHz帯送受信周波数表

800MHz帯送受信周波数表

周波数 (MHz)	グループ					
	1	2	3	4	5	6
806.125	B11					
806.250		B21				
806.375	B12					
806.500		B22				
806.625			B31			
806.750				B41		
806.875			B32			
807.000		B23				
807.125	B13					
807.250						B61
807.375			B33			
807.500				B42		
807.625					B51	
807.750	B14					
807.875		B24				
808.000				B43		
808.125					B52	
808.250			B34			
808.375					B53	
808.500		B25				
808.625			B35			
808.750					B54	
808.875		B26				
809.000	B15					
809.125				B44		
809.250			B36			
809.375				B45		
809.500	B16					
809.625					B55	
809.750				B46		

300MHz帯送受信周波数表

周波数 (MHz)	グループ			
	1	2	3	4
322.025			C31	
322.050	C11			
322.075		C21		
322.100	C12			
322.125		C22		
322.150			C32	
322.175				
322.200			割当なし	
322.225				
322.250	C13			
322.275		C23		
322.300				C41
322.325			C33	
322.350	C14			
322.375		C24		
322.400			C34	



Panasonic

安全に関するご注意

●ご使用の際は、取扱説明書、工事説明書をよくお読みの上、正しく設置してご使用ください。

●お問い合わせは…

松下電器産業株式会社
松下通信工業株式会社
AVシステム事業部

〒224-8539 横浜市都筑区佐江戸町600番地
☎ 横浜 (045) 932-1231 (大代表)



このマニュアルの内容についてのお問い合わせは、
左記にご相談ください。
もし左記でわかりにならない場合は当社におたずねください。

このマニュアルの記載内容は
2000年1月現在のものです。

F-053

00・01・002・G1

●製品の定格およびデザインは改善等のため予告なく変更する場合があります。
●本マニュアル掲載商品の価格には、消費税、配送・設置調整費、工事費、使用済み商品の引き取り費等は含まれておりません。

これは宣伝物注文略号です

Panasonic

1998年8月

ワイヤレスコミュニケーションシステム

**Wireless Communication
System**

セールスマン用

商品マニュアル

は・じ・め・に

'97年6月にパーラー様向け
ワイヤレスマイクシステムとして
スタートした本システムはパーラー様以外の
市場においても

トランシーバー等の無線方式に比べて

音質が良いとの好評を頂き、

導入が進んでいます。

今回、「ワイヤレスコミュニケーションシステム」

として名称を統一すると共に、

運用エリアを広くするための

バージョンアップを行ないました。

本マニュアルは、システムの考え方及び

商品の特長、機能・設置工事に関する

内容をまとめ、セールスに本マニュアルを

ご活用いただける内容にしております。

よろしくご活用お願い申し上げます。

目次

商品コンセプト	
1.基本システム	3
2.システム概要	4
3.新たな機能と市場	6
システムの特長	
7	
システム設計	
1.案内放送と一斉秘話連絡	8
2.個別秘話連絡と一斉秘話連絡	10
3.グループ別秘話連絡	12
4.多層階エリアでの一斉秘話連絡	14
5.2エリア放送と一斉秘話連絡	16
商品の機能	
1.800MHz帯ワイヤレス受信機/WX-R8600、WX-R8601	18
2.800MHz帯ワイヤレス混合分配器/WX-AD800	24
3.800MHz帯アンテナ/WX-A8105、WX-A8110	26
4.300MHz帯ワイヤレス送信機/WX-T3400	28
5.300MHz帯工事キット/WX-AZ910	29
6.リモコンマイクロホン/WX-M900	30
7.800MHz帯プレストーク形ワイヤレスマイクロホン/WX-T8400	32
8.300MHz帯ポケットレシーバー/WX-R3100、WX-R3101	34
9.接話マイクロホン/WX-M101(1ボタン)、WX-M102(2ボタン)	36
10.充電器/WX-BC600	38
11.充電電池パック/WX-BH500	40
12.1ボタンスイッチユニット/WX-M901	41
13.補助アンテナ(特注)/A-3224-01	42
仕様打合せと見積り計算	
44	
施工の注意点	
46	
800MHz帯/300MHz帯送受信周波数表	
49	
システム納入チェックリスト	
50	
現場設定・確認用紙	
52	
ブロックダイヤグラム	
1.WX-R8600	54
2.WX-R8601	55
ワイヤレスコミュニケーションシステム商品構成一覧	
56	

1. 基本システム

ワイヤレスマイクによる案内放送とインターカムでの
秘話連絡を一体化した複合システムです。

ユーザー様の「運営」「使い勝手」、標準システムから高付加価値システムまで、
現場の運用に合わせたシステム構築が可能です。

2モードワイヤレスシステムとポケットレシーバーシステムの組合せ

話す

PLL 800MHz
2モードワイヤレスシステム

+

聞く

PLL 300MHz
ポケットレシーバーシステム

- 1本のマイクで2ヶ所へ出力可能
- 同一空間最大12波まで使用可能
- 専用トーン信号で従来機種との混信を防止

マイク放送可能
秘話連絡システム

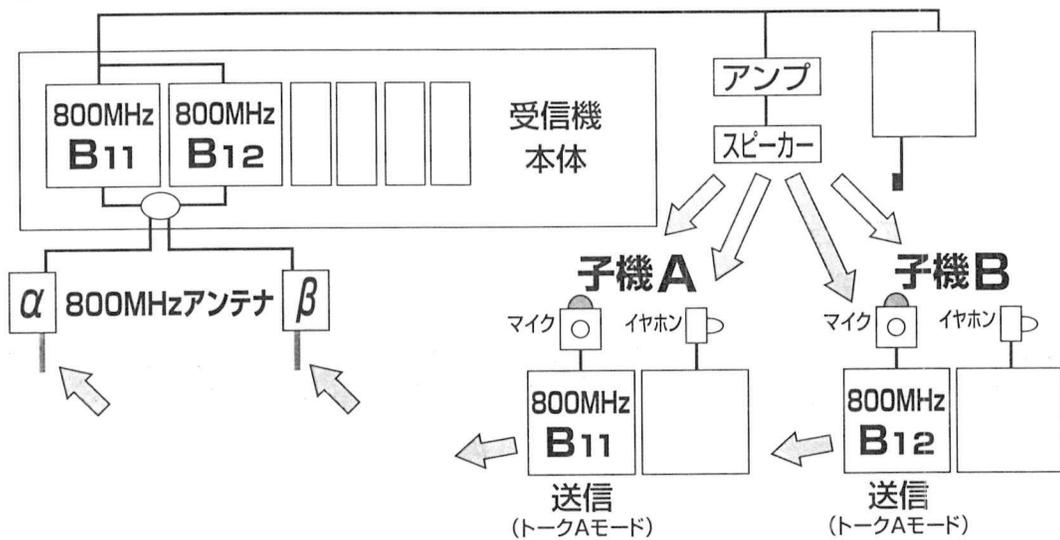
- PLL化で13ch使用可能
- 帯域圧縮方式で1.5倍の到達距離
- 専用トーン信号で従来機種との混信を防止

2. システム概要

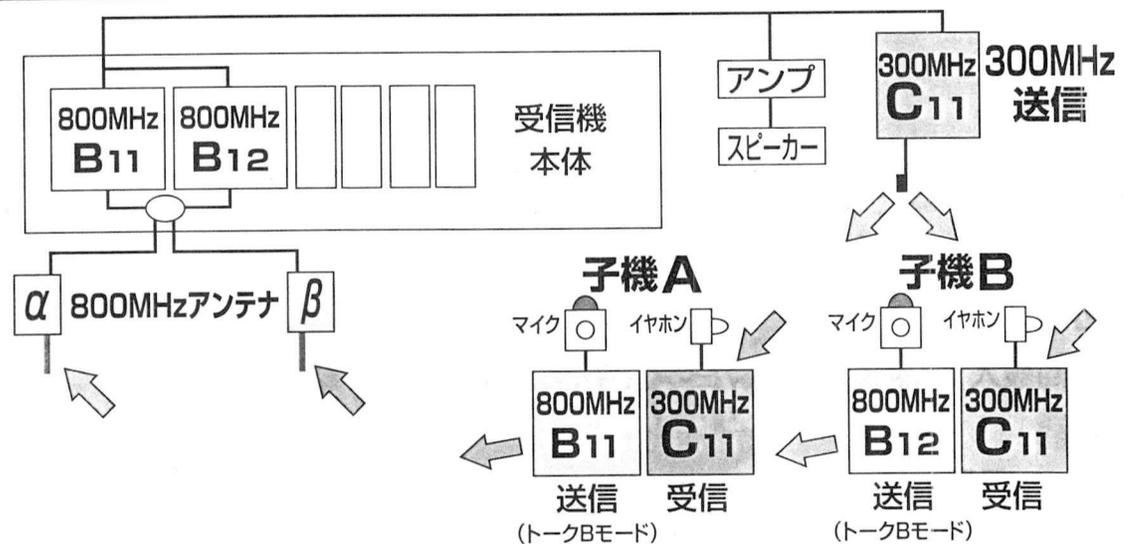
ワイヤレスコミュニケーションシステムは、**話す** 800MHz / **聞く** 300MHzを採用した2つの商品をシステムアップすることで、案内放送と秘話連絡を可能にするシステムです。

システムイメージ

案内放送 800MHz帯ワイヤレスシステムによる案内放送。



秘話連絡 話す⇔800MHz、聞く⇔300MHzによる応用システム



800MHz帯ワイヤレスシステムは、従来案内放送のみでしたが、今回は上記案内放送(Aモード)と秘話連絡(Bモード)の2つの機能を可能にする2モードワイヤレスシステムになりました。

800MHz/300MHz採用による3つのメリット

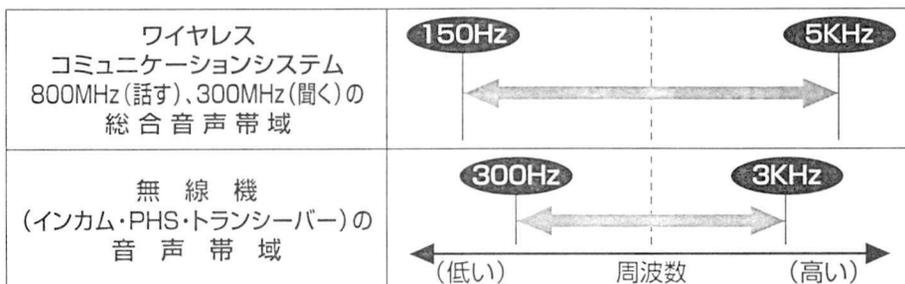
①音質の良さ ⇨ 音声帯域が無線機より広く聞きやすい

案内放送の音質

ワイヤレスコミュニケーションシステムは、800MHz帯ワイヤレスマイクの音質であり従来通り(120Hz~10KHz)無線機(インカム・PHS・トランシーバー)は300Hz~3KHzと帯域が狭く、ワイヤレスマイクの代替になりません。

秘話連絡の音質

秘話連絡の音声帯域も、ワイヤレスコミュニケーションシステムが広く、音質・明瞭度がアップします。

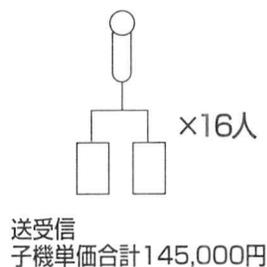


②システム価格が安い ⇨ 運用形態に応じたシステムが組めます

今までレシーバーは送・受信一体型で約20万円(当社WX-C821)と高額なため全員に配備することがなかなかできませんでした。本システムは送信機と受信機を分離することで指示を聞くだけの従業員を安い機器価格(約5万円)で設定できます。

〈事例〉

16人を送・受信子機のみで構成したとき



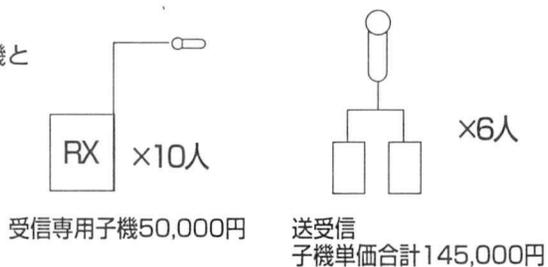
合計 2,320,000円

差額
95万円



受信専用機と送・受信子機の組合せ

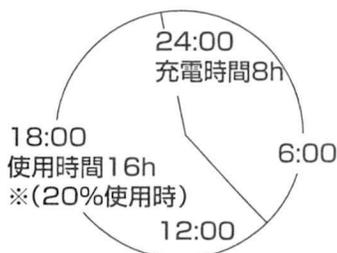
10人を
受信専用子機と
したとき



合計 1,370,000円

③1日持つ電池寿命 ⇨ 維持費が安い!

当社独自の省電力ワイヤレス回路技術を採用することで1日持つ電池寿命を確立しました。



1日1回夜間に充電!
サイクル寿命500回

※20%使用とは、例えば10分間の中で2分間使用、8分間待機の運用状態を表わしています。

3. 新たな機能と市場

〔1〕 800MHz/300MHz 各システムの新機能

本ワイヤレスマイクシステムは、従来のワイヤレスマイクシステムにはない新しい機能を採用しています。

●PLL800MHz 2モードワイヤレスシステム

新機能

- ①一本のマイクで2ヶ所へ出力できる。(スイッチ切り換え)
- ②同一空間最大12波まで使用可能。
- ③専用トーン信号の採用で従来機能との混信を防止。

●PLL300MHzポケットレシーバーシステム

新機能

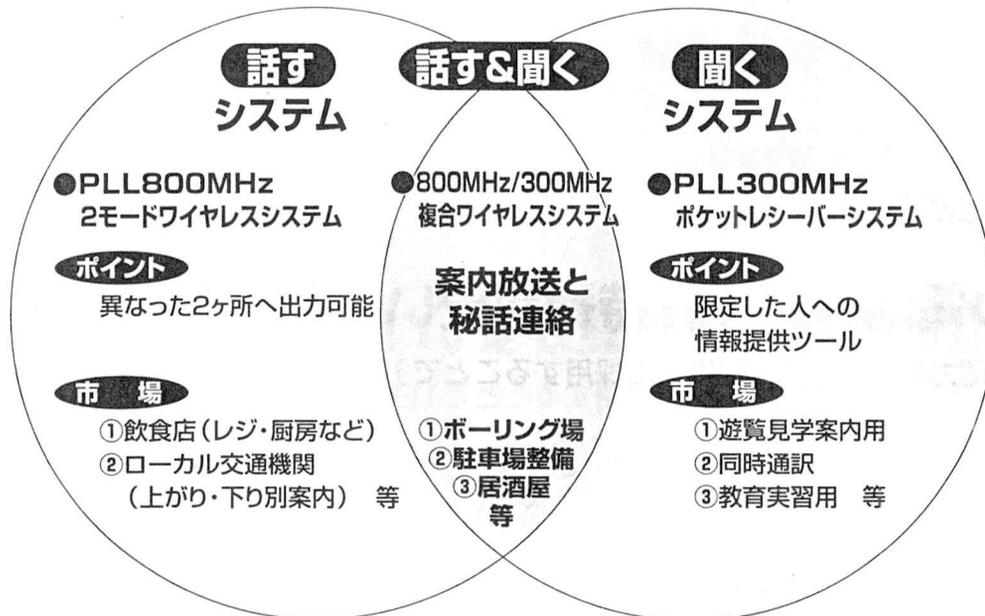
- ①300MHz帯で業界初のPLL化※ 13チャンネル内蔵
- ②帯域圧縮方式で約1.5倍の到達距離を実現※ 当社比
- ③専用トーン信号の採用で従来機種との混信を防止

〔2〕 800MHz/300MHz 各システムの市場、複合システムの市場

上記各システムの新機能により、これまで導入が困難であった新しい市場へのワイヤレスシステムの提案・推進が可能になります。

ワイヤレスコミュニケーションシステムは800MHz/300MHz複合システムですが、800MHz/300MHzの単独システムの市場展開も下図の様に図れます。

新ワイヤレスマイクシステムと市場



※専用トーン信号は他空間からの混信防止対策であり、従来機種との同一空間での混用は最大6波です。
チャンネルグループを厳守してください。

1. 免許不要

B帯、C帯のワイヤレス機器なので免許申請の必要はありません。

2. 案内放送／秘話連絡の兼用

1台でワイヤレスマイクとインターカムの機能を有し、2ボタン接話マイクで切り換えて出力できます。

3. 標準装備2波／最大12波の同時運用

受信機本体に6波まで組み込み可能、2波を標準装備。帯域圧縮方法で同一空間最大12波まで使用可能。(受信機本体を2台連結)

4. 1日運用可能な電池寿命

16時間(20%使用時)使用／8時間充電の24時間サイクル化[※] 充電電池の交換なし。単4乾電池×2との併用も可能。

5. 音質の向上

従来インカムの3KHzからワイヤレスマイクの帯域へ移行。ダイナミックレンジの大きさを有効活用した音質づくりで騒音下でも聞きやすい明瞭度を確保。

6. 小形・軽量

子機1つの大きさは55mm×110mm×16mm。名刺ケースを少し大きくした形でアンテナ内蔵、100g(充電電池込み)。秘話連絡用に2つ持っても従来比：サイズ、重量とも30%減を達成。

7. 運用に合わせたバージョンアップが可能

秘話による個別会話やグループで秘話連絡をしたいなどの要望を満たす機器増設が可能。

8. 豊富なアクセサリ類

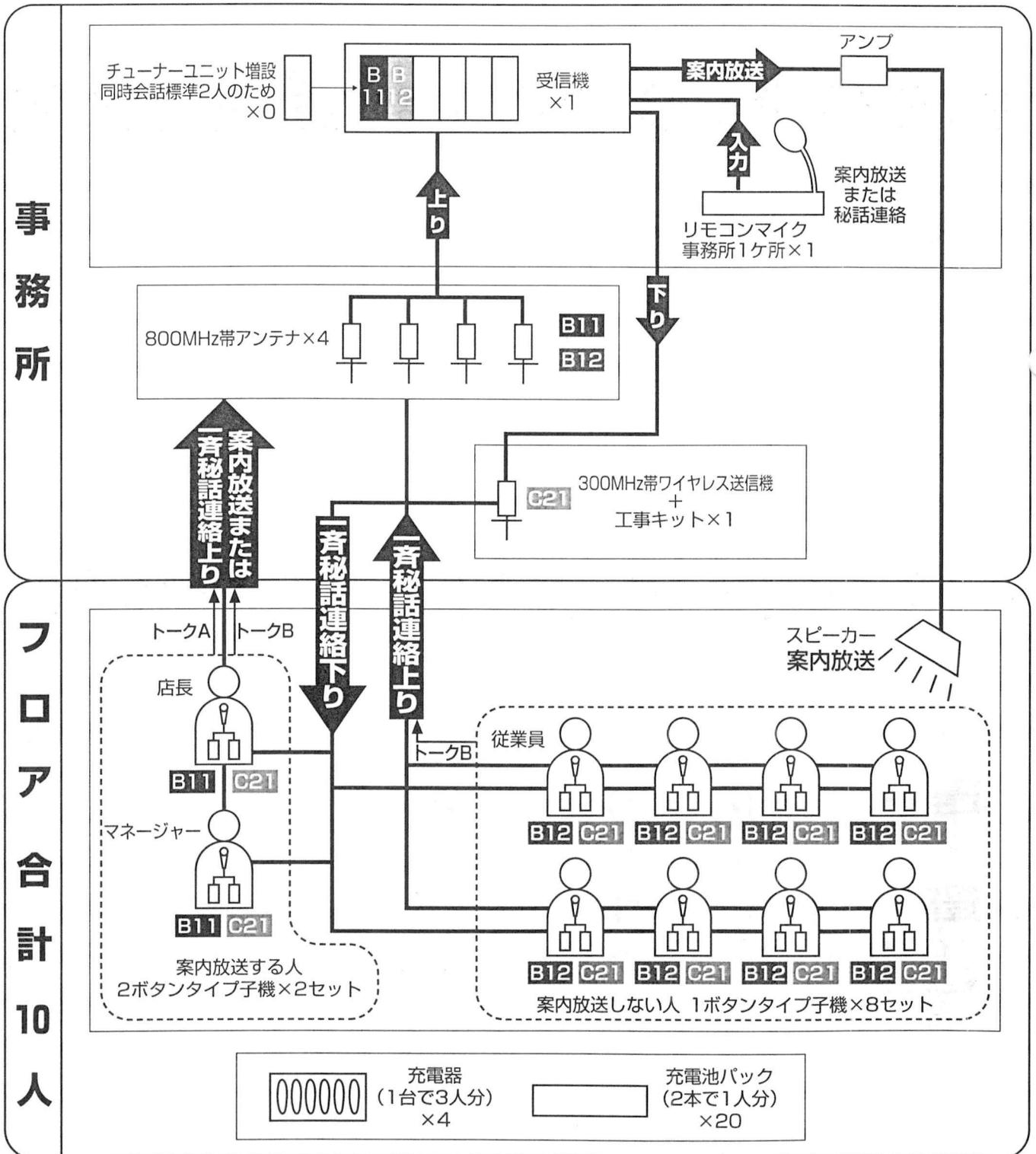
マイク部分は運用に合わせて4種類を用意。

- 2ボタン接話マイク(案内放送・秘話連絡兼用タイプ)
 - 1ボタン接話マイク(秘話連絡専用タイプ・案内放送は送信機本体のスイッチで可能)
 - 1ボタンヘッドセット(秘話連絡専用タイプ・案内放送は送信機本体のスイッチで可能)
 - 1ボタンネックセット(秘話連絡専用タイプ・案内放送は送信機本体のスイッチで可能)
- イヤホン・カラー風防・コードなど消耗品も半ダースごとに集約して商品化。

子機携帯袋はユニフォームデザインにマッチできるよう斡旋にて対応。

1. 案内放送と一斉秘話連絡

※800MHz帯 **B11** **B12**、300MHz帯 **C21** チャンネルについては例として記載しています。



運用事例 (チャンネル指定)

- ①店長・マネージャーのどちらかがトークAで案内放送をする。⇒ **B11** を割当
- ②従業員は一斉秘話連絡をする。⇒ **B12** を割当
- ③店長 (またはマネージャー) と従業員の中の任意1人とは同時通話 (秘話連絡が可能) ⇒ 2人同時通話
- ④従業員どうしは交互通話、店長とマネージャー間の連絡も交互通話。
- ⑤秘話連絡の下りは1波共通 (**C21** を割当) であり、全員が秘話連絡の内容を聞く (案内放送は聞こえません)
- ⑥事務所リモコンマイクから案内放送または秘話連絡を選択し、いつでも連絡可能。

**2モード
同時運用可能!**

●2ボタン接話マイクの使用で案内放送（お客様モード）と一斉秘話連絡（従業員モード）が出来ます。

●案内放送する従業員を固定化（チャンネル指定）することで案内放送中も一斉秘話連絡が可能。

トークAを案内放送用、トークBを一斉秘話連絡用として運用

品番	品名	数量	単価	金額
WX-R8600	800MHz帯PLLダイバシティーワイヤレス受信機	1	600,000 ^{※1}	600,000 ^{※1}
WX-D8200	800MHz帯PLLダイバシティーワイヤレスチューナーユニット	—	70,000 ^{※1}	—
WX-M900	リモコンマイクロホン	1	80,000	80,000
WX-A8110	800MHz帯天井取付用ワイヤレスアンテナ	4	27,000	108,000
WX-T3400	300MHz帯PLLワイヤレス送信機	1	60,000	60,000
WX-AZ910	300MHz帯工事キット	1	15,000	15,000
WX-T8400	800MHz帯PLLプレストーク形ワイヤレスマイクロホン	10	70,000	700,000
WX-R3100	300MHz帯PLLポケットレシーバー	10	40,000	400,000
WX-M101	1ボタン接話マイクロホン(TX+RX用)	8	21,000	168,000
WX-M102	2ボタン接話マイクロホン(TX+RX用)	2	25,000	50,000
WX-M200	ヘッドセット	—	17,000	—
WX-C827	ネックセット	—	35,000	—
WX-M901	ヘッドセット・ネックセット用1ボタンスイッチユニット	—	17,000	—
WX-RZ901	ポケットレシーバー用イヤホンキット(6個セット)	—	20,000	—
WX-BH500	充電電池パック	20	5,000	100,000
WX-BC600 ^{※2}	充電器	4	100,000	400,000
システム価格合計			2,681,000円	

※1 ワイヤレスコミュニケーションシステムのカタログには、標準価格表示をしていません。

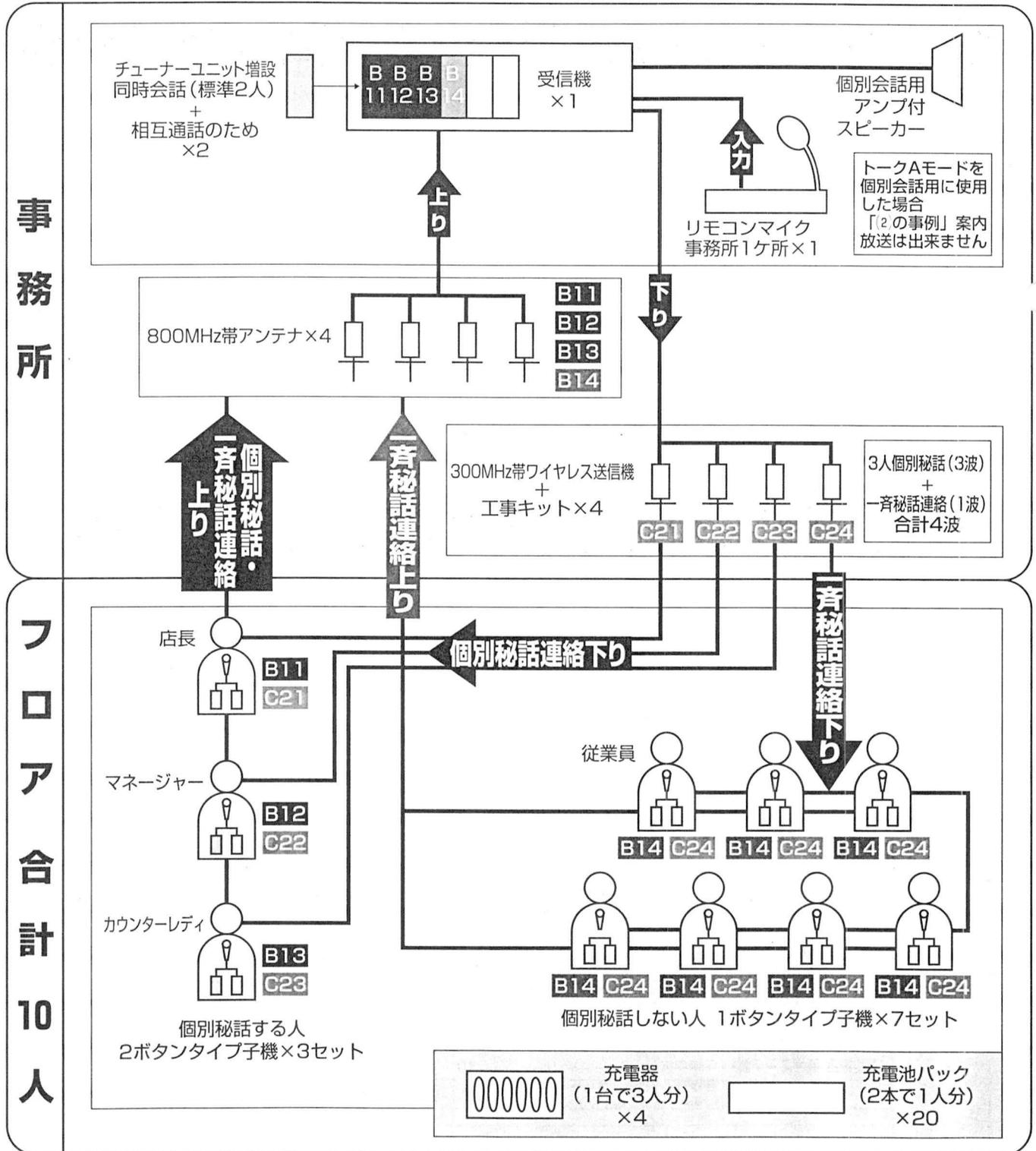
※2 充電器4台で充電電池パック24台まで対応

上記機器以外の必要機器及び消耗品				
(幹旋商品 市販品)	アンテナ分配器	—	(参考価格) 4,000	—
(幹旋商品 市販品)	アンテナ混合器	—	(参考価格) 4,000	—
(幹旋商品 株マミーナ製)	子機収納ケース	10	(参考価格) 8,000	80,000
WX-RZ900	接話マイクロホン用イヤホンセット(6個セット)	2	20,000	40,000
合 計				120,000

2. 個別秘話連絡と一斉秘話連絡

下記の図は、個別会話（相互会話）をした場合です。

※800MHz帯 B11~B14、300MHz帯 C21~C24 チャンネルについては例として記載しています。



※一斉秘話連絡も伝達されます (兼用)
子機からのトークBモード時は、一斉秘話連絡になります。

(1)リモコンマイクからの個別指示(一方通行)をしたい場合 ⇨ トークAを案内放送用として運用可
 下り電波の使用数を追加し特定の人専用割り当てた場合にリモコンマイクより個別秘話連絡が可能になります。
 リモコンマイクは一斉連絡スイッチもあり一斉秘話連絡も可能です。

(2)リモコンマイク側との個別会話(相互会話)をしたい場合 ⇨ トークAを個別会話用として運用
 (案内放送は出来なくなります)
 親機の案内放送用出力をリモコンマイク側に戻すことにより子機からの返事を事務所側に秘話で返すことが可能になります。
 従って下り電波を専用割り当てた人との個別会話が可能になります。ただし、下り電波は同一空間では4波しか運用
 出来ないため個別会話の最大可能数は同一空間3人までです。

■ワンポイントアドバイス⇨個別会話について

リモコンマイク⇨指定の子機の間で他の従業員に聞かせずに会話することが出来る機能。この時に他の従業員どうしの一斉秘話連絡は中断されません。

※注意⇨個別会話者は専用チャンネルを使用。

トークBは一斉秘話連絡用となります

品番	品名	数量	単価	金額
WX-R8600	800MHz帯PLLダイバシティーワイヤレス受信機	1	600,000 ^{※1}	600,000 ^{※1}
WX-D8200	800MHz帯PLLダイバシティーワイヤレスチューナーユニット	2	70,000 ^{※1}	140,000
WX-M900	リモコンマイクロホン	1	80,000	80,000
WX-A8110	800MHz帯天井取付用ワイヤレスアンテナ	4	27,000	108,000
WX-T3400	300MHz帯PLLワイヤレス送信機	4	60,000	240,000
WX-AZ910	300MHz帯工事キット	4	15,000	60,000
WX-T8400	800MHz帯PLLプレストーク形ワイヤレスマイクロホン	10	70,000	700,000
WX-R3100	300MHz帯PLLポケットレシーバー	10	40,000	400,000
WX-M101	1ボタン接話マイクロホン(TX+RX用)	7	21,000	147,000
WX-M102	2ボタン接話マイクロホン(TX+RX用)	3	25,000	75,000
WX-M200	ヘッドセット	—	17,000	—
WX-C827	ネックセット	—	35,000	—
WX-M901	ヘッドセット・ネックセット用1ボタンスイッチユニット	—	17,000	—
WX-RZ901	ポケットレシーバー用イヤホンキット(6個セット)	—	20,000	—
WX-BH500	充電電池パック	20	5,000	100,000
WX-BC600 ^{※2}	充電器	4	100,000	400,000
システム価格合計			3,050,000円	

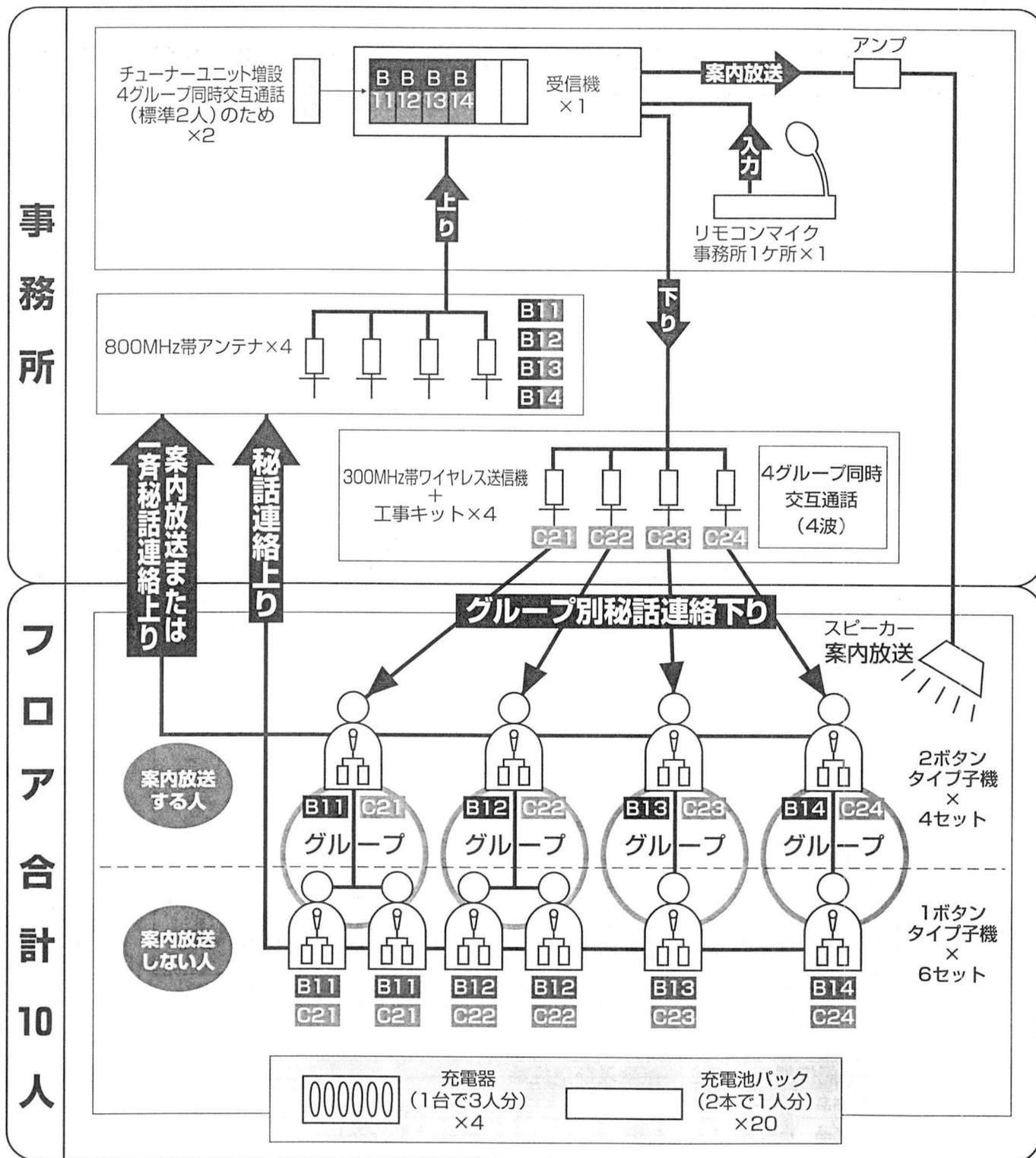
※1 ワイヤレスコミュニケーションシステムのカタログには、標準価格表示をしていません。

※2 充電器4台で充電電池パック24台まで対応

上記機器以外の必要機器及び消耗品				
(幹旋商品 市販品)	アンテナ分配器	—	(参考価格) 4,000	—
(幹旋商品 市販品)	アンテナ混合器	—	(参考価格) 4,000	—
(幹旋商品 株マミーナ製)	子機収納ケース	10	(参考価格) 8,000	80,000
WX-RZ900	接話マイクロホン用イヤホンセット(6個セット)	2	20,000	40,000
合 計				120,000

3. グループ別秘話連絡

※800MHz帯 B11~B14、300MHz帯 C21~C24 チャンネルについては例として記載しています。



案内放送または一斉秘話連絡の上りについて

案内放送する人⇒案内放送または一斉秘話連絡を選択できます。

案内放送しない人⇒一斉秘話連絡のみとなります。

(1) グループ別秘話連絡について

下り電波の使用数を追加して受信チューナーの音声出力スイッチを4箇所の中から1箇所に設定することにより、設定した1箇所でのグループ別秘話連絡が可能になります。(下り電波4波使用時のとき) ポケットレシーバーの受信チャンネルはグループ内で統一します。但し、案内放送(トークA出力)はグループ別にはなりません。

(2) リモコンマイクからの秘話連絡

グループ別秘話連絡モードにした場合、リモコンマイクからグループ別に秘話連絡が可能になります。リモコンマイク側のモニター出力で全てのグループの会話が確認できます。

■ワンポイントアドバイス ③ グループ間秘話連絡について

各グループ別に周波数割当てするため基本的に出来ません。

リモコンマイク側を経由して連絡する等、運用上で工夫をすれば可能になります。

従ってグループの違う子機間で直接連絡はできません。

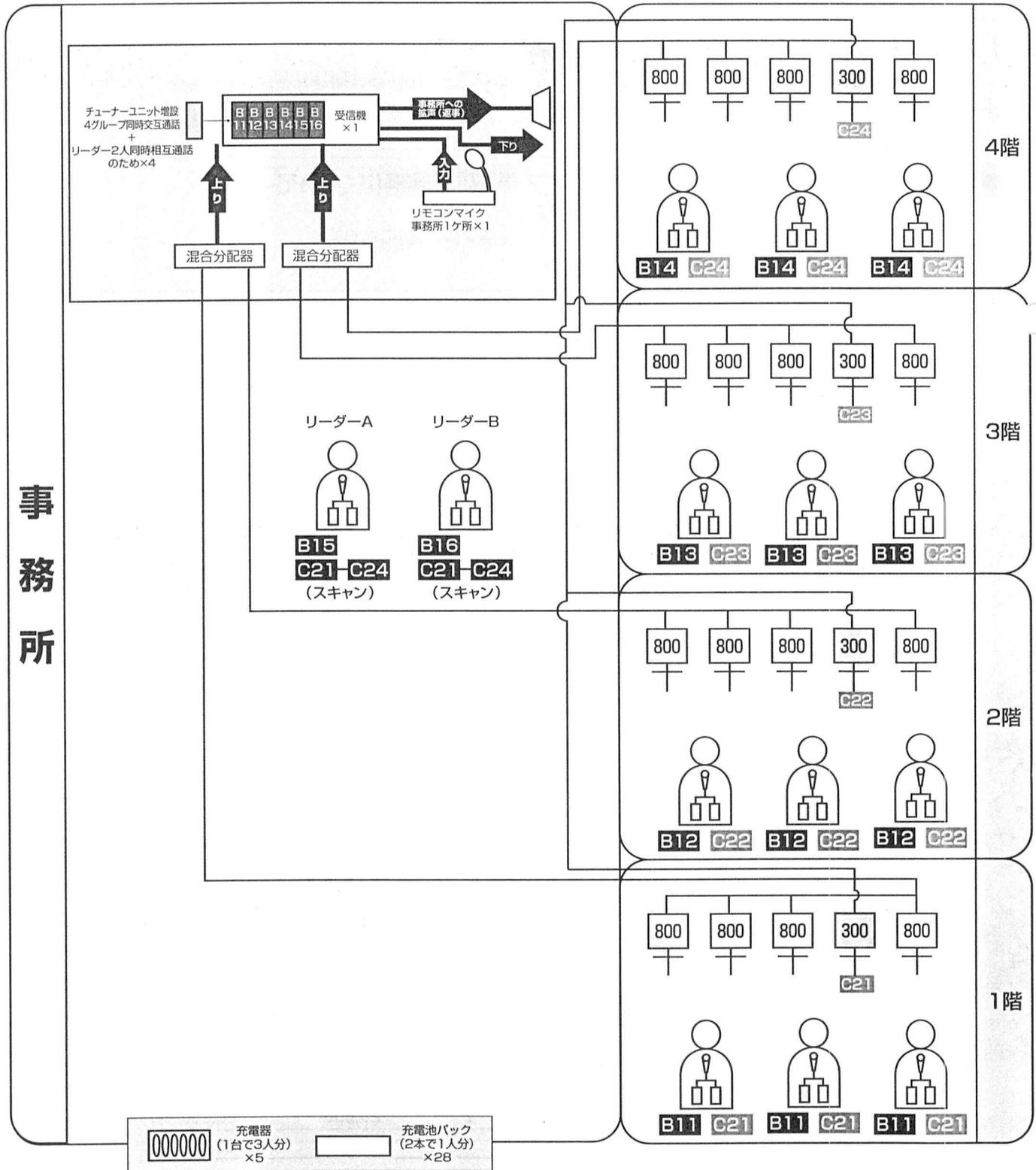
品番	品名	数量	単価	金額
WX-R8600	800MHz帯PLLダイバシティーワイヤレス受信機	1	600,000 ^{※1}	600,000 ^{※1}
WX-D8200	800MHz帯PLLダイバシティーワイヤレスチューナーユニット	2	70,000 ^{※1}	140,000
WX-M900	リモコンマイク用	1	80,000	80,000
WX-A8110	800MHz帯天井取付用ワイヤレスアンテナ	4	27,000	108,000
WX-T3400	300MHz帯PLLワイヤレス送信機	4	60,000	240,000
WX-AZ910	300MHz帯工事キット	4	15,000	60,000
WX-T8400	800MHz帯PLLプレストーク形ワイヤレスマイクロホン	10	70,000	700,000
WX-R3100	300MHz帯PLLポケットレシーバー	10	40,000	400,000
WX-M101	1ボタン接話マイクロホン(TX+RX用)	6	21,000	126,000
WX-M102	2ボタン接話マイクロホン(TX+RX用)	4	25,000	100,000
WX-M200	ヘッドセット	—	17,000	—
WX-C827	ネックセット	—	35,000	—
WX-M901	ヘッドセット・ネックセット用1ボタンスイッチユニット	—	17,000	—
WX-RZ901	ポケットレシーバー用イヤホンキット(6個セット)	—	20,000	—
WX-BH500	充電電池パック	20	5,000	100,000
WX-BC600 ^{※2}	充電器	4	100,000	400,000
システム価格合計			3,054,000円	

※1 ワイヤレスコミュニケーションシステムのカタログには、標準価格表示をしていません。

※2 充電器4台で充電電池パック24台まで対応

上記機器以外の必要機器及び消耗品				
(幹旋商品 市販品)	アンテナ分配器	—	(参考価格 4,000)	—
(幹旋商品 市販品)	アンテナ混合器	—	(参考価格 4,000)	—
(幹旋商品 株マミーナ製)	子機収納ケース	10	(参考価格 8,000)	80,000
WX-RZ900	接話マイクロホン用イヤホンセット(6個セット)	2	20,000	40,000
合 計				120,000

4. 多層階エリアでの一斉秘話連絡



(1) トークAモードを案内放送とした場合の注意

1階～4階全体放送になります。(階別案内放送は出来ません)
階別案内放送は各階別の有線マイク等を使うシステムが簡単です。

(2) トークAモードを子機から事務所への連絡用とした場合

受信機のチューナーユニットのトークB音声出力モード設定を各階ごと割当て設定し、他階からの連絡は入らない様にします。(一斉秘話連絡設定も可能です。)
そのとき、他階への連絡や事務所のみへの連絡などをしたい場合に実施します。
トークAモードで事務所に連絡し、事務所のリモコンマイクにて連絡が可能に。

(3) リーダー2人はWX-R3101のオートスキャン機能で運用

1階～4階を移動してもその階の送信機WX-T3400を選択受信するため連絡可能です。

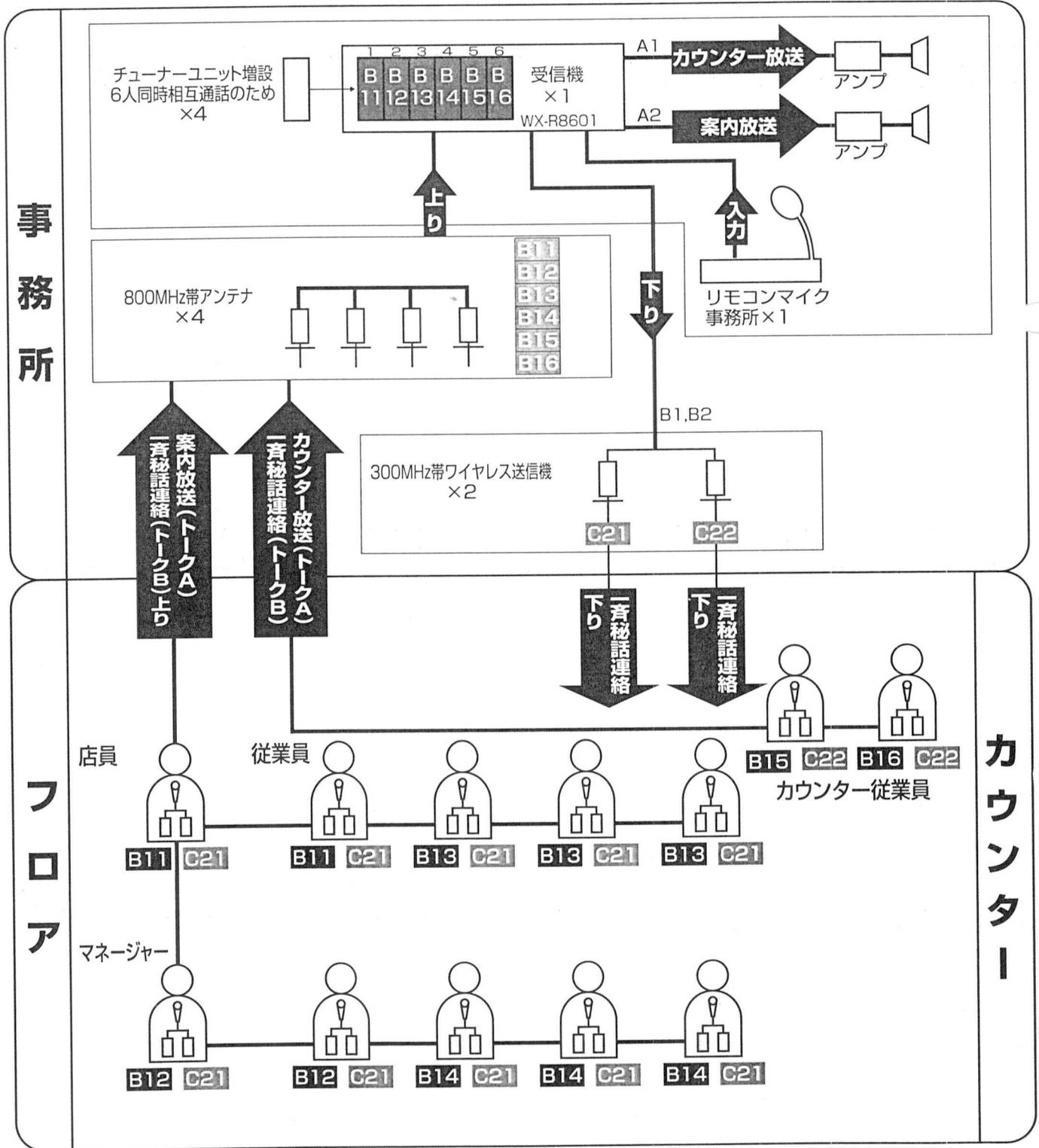
品番	品名	数量	単価	金額
WX-R8600	800MHz帯PLLダイバシティーワイヤレス受信機	1	600,000 ^{※1}	600,000 ^{※1}
WX-D8200	800MHz帯PLLダイバシティーワイヤレスチューナーユニット	4	70,000 ^{※1}	280,000
WX-M900	リモコンマイクロホン	1	80,000	80,000
WX-AD800	800MHz帯混合分配器	2	150,000	300,000
WX-A8110	800MHz帯天井取付用ワイヤレスアンテナ	16	27,000	432,000
WX-T3400	300MHz帯PLLワイヤレス送信機	4	60,000	240,000
WX-AZ910	300MHz帯工事キット	4	15,000	60,000
WX-T8400	800MHz帯PLLプレストーク形ワイヤレスマイクロホン	14	70,000	980,000
WX-R3101	300MHz帯PLLポケットレシーバー	14	40,000	560,000
WX-M101	1ボタン接話マイクロホン(TX+RX用)	8	21,000	168,000
WX-M102	2ボタン接話マイクロホン(TX+RX用)	6	25,000	150,000
WX-M200	ヘッドセット	—	17,000	—
WX-C827	ネックセット	—	35,000	—
WX-M901	ヘッドセット・ネックセット用1ボタンスイッチユニット	—	17,000	—
WX-RZ901	ポケットレシーバー用イヤホンキット(6個セット)	—	20,000	—
WX-BH500	充電電池パック	28	5,000	140,000
WX-BC600 ^{※2}	充電器	5	100,000	500,000
システム価格合計			4,490,000円	

※1 ワイヤレスコミュニケーションシステムのカタログには、標準価格表示をしていません。

※2 充電器5台で充電電池パック30台まで対応

上記機器以外の必要機器及び消耗品				
(幹旋商品 市販品)	アンテナ分配器	8	(参考価格) 4,000	32,000
(幹旋商品 市販品)	アンテナ混合器	—	(参考価格) 4,000	—
(幹旋商品 株マミーナ製)	子機収納ケース	14	(参考価格) 8,000	112,000
WX-RZ900	接話マイクロホン用イヤホンセット(6個セット)	—	20,000	—
合 計				144,000

5.2 エリア放送と一斉秘話連絡



- (1)受信機の設定によりトークAモード出力を受信機のチューナーユニットのスロット位置1～4と5～6で振り分けが出来ます。(WX-R8601を使います。WX-R8600は出来ません)

本事例では、案内放送とカウンター放送に振り分けています。

この振り分けにより従業員の子機からのトークAモードがチャンネルにより分かります。受信機本体の外部入力などでは振り分け出来ません。外部入力などからのA出力へのミキシングはA2出力に出ます。(A1出力は子機からのトークAモード音声しか出力されません。)

- (2)店長、マネージャー、従業員のトークAモードは案内放送として運用します。
 (3)カウンター従業員のトークAモードはカウンター放送として運用します。
 (4)トークBモードは一斉秘話連絡として運用します。
 (5)事務所からの指示をカウンターのみにした場合に、事務所のリモコンマイクから選択して連絡出来るメリットがあるため、下り電波を2種類としました。

品番	品名	数量	単価	金額
WX-R8601	800MHz帯PLLダイバシティーワイヤレス受信機	1	600,000 ^{※1}	600,000 ^{※1}
WX-D8200	800MHz帯PLLダイバシティーワイヤレスチューナーユニット	4	70,000 ^{※1}	280,000
WX-M900	リモコンマイクロホン	1	80,000	80,000
WX-AD800	800MHz帯混合分配器	—	150,000	—
WX-A8110	800MHz帯天井取付用ワイヤレスアンテナ	4	27,000	108,000
WX-T3400	300MHz帯PLLワイヤレス送信機	2	60,000	120,000
WX-AZ910	300MHz帯工事キット	2	15,000	30,000
WX-T8400	800MHz帯PLLプレストーク形ワイヤレスマイクロホン	12	70,000	840,000
WX-R3101	300MHz帯PLLポケットレシーバー	12	40,000	480,000
WX-M101	1ボタン接話マイクロホン(TX+RX用)	8	21,000	168,000
WX-M102	2ボタン接話マイクロホン(TX+RX用)	2	25,000	150,000
WX-M200	ヘッドセット	—	17,000	—
WX-C827	ネックセット	2	35,000	70,000
WX-M901	ヘッドセット・ネックセット用1ボタンスイッチユニット	2	17,000	34,000
WX-RZ901	ポケットレシーバー用イヤホンキット(6個セット)	—	20,000	—
WX-BH500	充電電池パック	24	5,000	120,000
WX-BC600 ^{※2}	充電器	5	100,000	400,000
システム価格合計			3,380,000円	

※1 ワイヤレスコミュニケーションシステムのカタログには、標準価格表示をしていません。

※2 充電器5台で充電電池パック30台まで対応

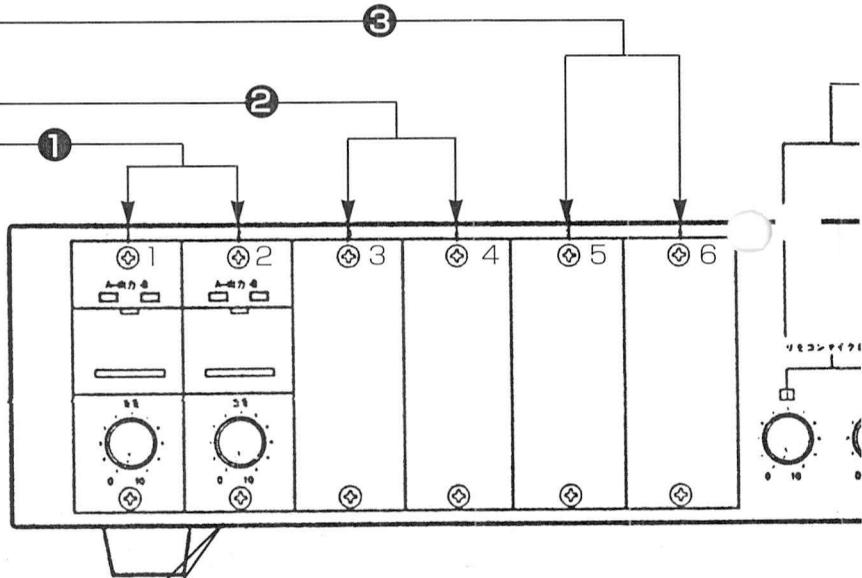
上記機器以外の必要機器及び消耗品				
(幹旋商品 市販品)	アンテナ分配器	8	(参考価格) 4,000	—
(幹旋商品 市販品)	アンテナ混合器	—	(参考価格) 4,000	—
(幹旋商品 株マミーナ製)	子機収納ケース	12	(参考価格) 8,000	96,000
WX-RZ900	接話マイクロホン用イヤホンセット(6個セット)	—	20,000	—
合 計				96,000

1. 800MHz帯ワイヤレス受信機/WX-R8600、

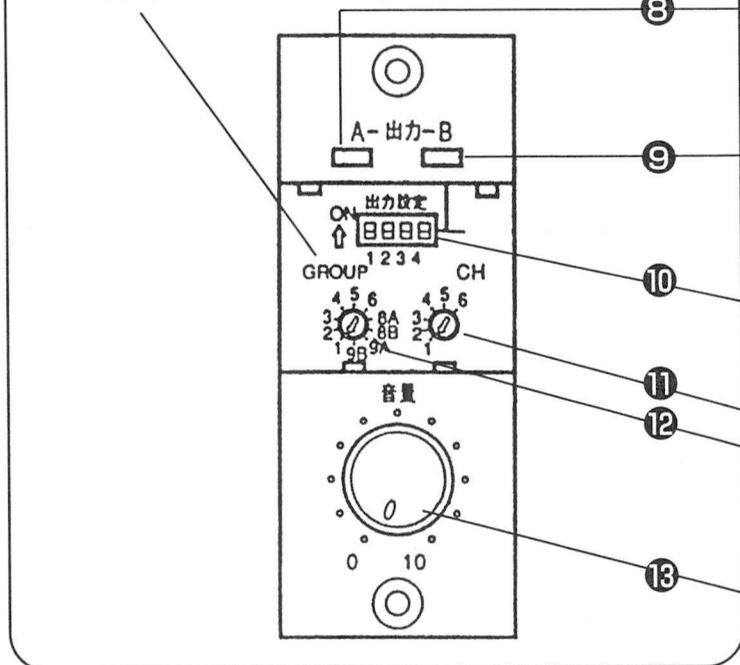
■各部の名前と働き

- ①チューナーユニット標準装備2台
(チューナーユニット1~2)
- ②、③増設チューナーユニット装着部
(チューナーユニット3~6)
⇒WX-D8200 4台まで増設可能
<WX-R8600とWX-R8601の違い>
WX-R8600⇒チューナーユニット1~6のA出力は背面のA出力にミキシング出力されます。
WX-R8601⇒チューナーユニット1~4 (①と②) のA出力とチューナーユニット5~6 (③のみ) のA出力は背面のA出力設定スイッチの設定により、A2出力とA1出力に振分けが出来ます。

●前面



保護カバー取り外し状態



⑧~⑨800MHzワイヤレスマイク WX-T8400の送信モードを表示しています。

- トークAモード→「A」の受信表示が点灯 (赤)
(モード例 案内放送)
- トークBモード→「B」の受信表示が点灯 (赤)
(モード例 秘話連絡)

⑩トークB音声出力モード設定SW (B1、B2、B3、B4)
「ON」で出力されます。(出荷状態すべてON)

⑪~⑫800MHz帯受信周波数の設定 (グループ、チャンネル)

⑬受信音量の調節つまみ

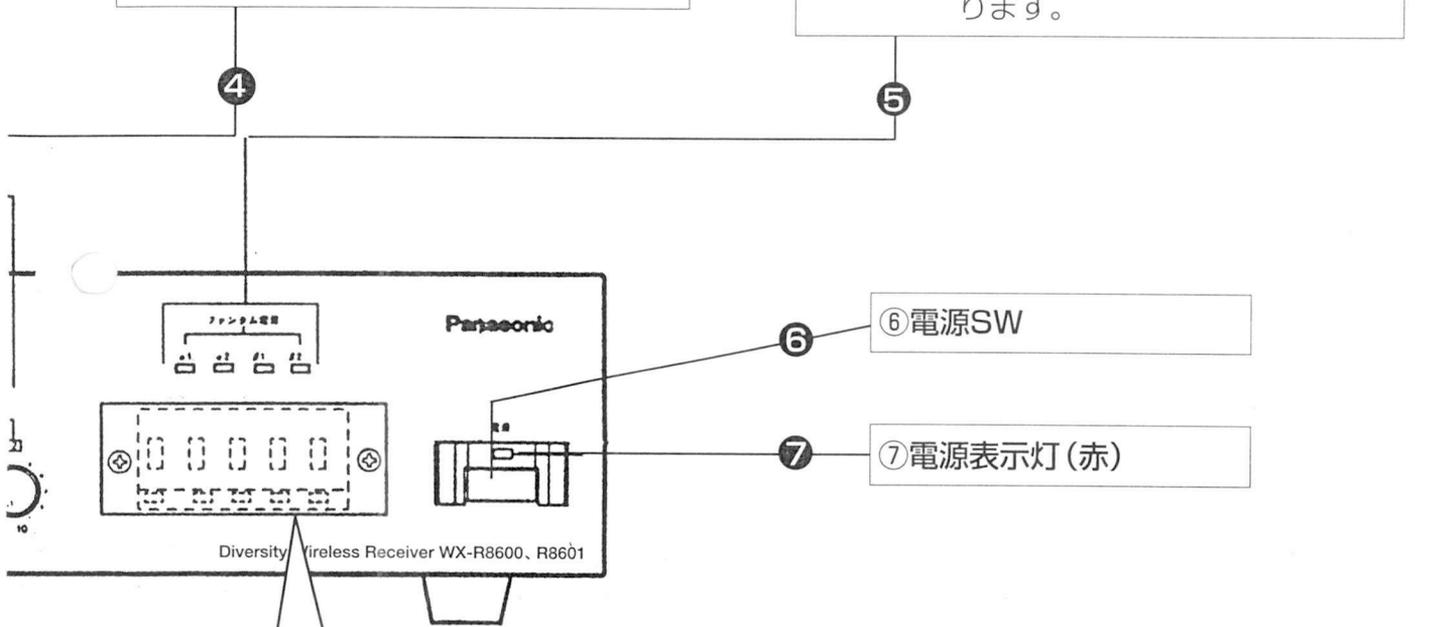
WX-R8601

④ リモコンマイク音量調節つまみ

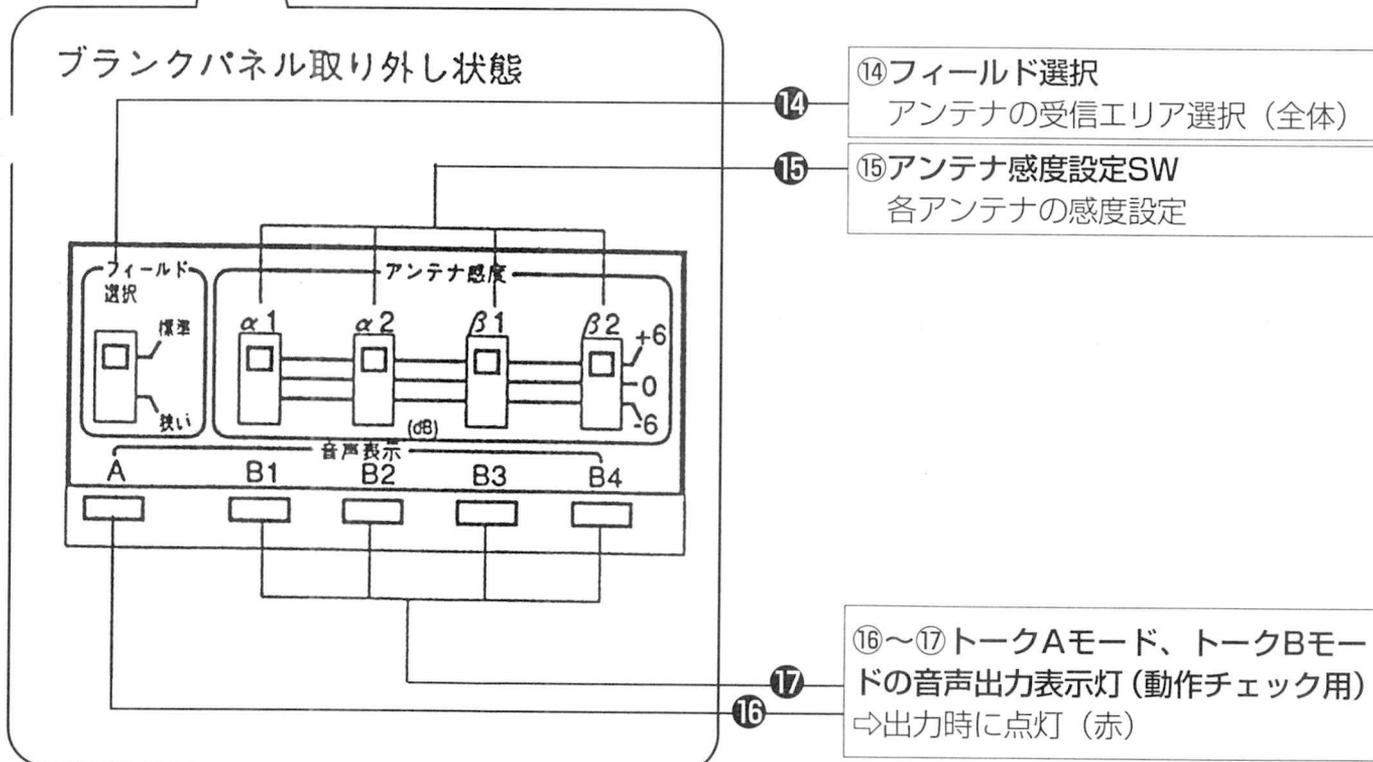
後面に接続するリモコンマイク (WX-M900等) の音量を調節。

⑤ アンテナ入力のファンタム電源の状態表示

「緑」……正常状態であり、アンテナが接続されています
 「赤」……異常状態
 「消灯」…無接続状態、またアンテナ分配器使用時消灯している場合があります。



ブランクパネル取り外し状態



⑭ フィールド選択
アンテナの受信エリア選択 (全体)

⑮ アンテナ感度設定SW
各アンテナの感度設定

⑯～⑰ トークAモード、トークBモードの音声出力表示灯 (動作チェック用)
⇨出力時に点灯 (赤)

●後面 (WX-R8600)

⑳B出力ジャック (600Ω 不平衡)
 チューナーユニット1~6のトーク
 B音声をミキシング出力
 ※トークB音声出力モード設定⑩
 (18ページ参照) の1~4に対応し
 B1~B4出力端子から音声を出力

㉑ファンタム電源SW
 (B出力用)
 ⇨WX-T3400接続時 ONに
 します

㉒A出力 (トークAモード)
 レベル切換SW
 [-20dB/-60dB]

㉓B出力 (トークBモード)
 レベル切換SW [-20dB/-60dB]
 ⇨WX-T3400接続時は-20dB
 (工場出荷時と同じ)

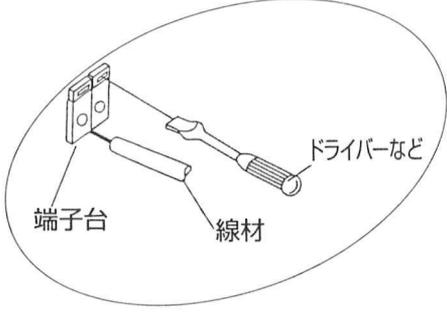
㉔AC電源コード
 (100V 50Hz/60Hz)

㉕予備出力モード設定SW
 予備出力1、2のON/OFF
 を設定 ↑ 端子台NO.21.22

㉖B出力への
 B優先制御設定SW
 制御端子は端子台NO.25

㉗外部入力端子台

B外部入力 [-20dB 600Ω]				B優先入力 [-20dB 600Ω]				予備出力2 [-20dB 600Ω]				リモコンマイク2				リモコンマイク1																						
制	御	音	声	制	御	音	声	音	声	電	源	出	力	制	御	入	力	音	声	入	力	電	源	出	力	制	御	入	力	音	声	入	力					
C	H	C	H	C	H	C	H	C	H	E	+12V	COM		B	4	B	3	B	2	B	1	A	C	H	E	+12V	COM	B	4	B	3	B	2	B	1	A	C	H
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1									

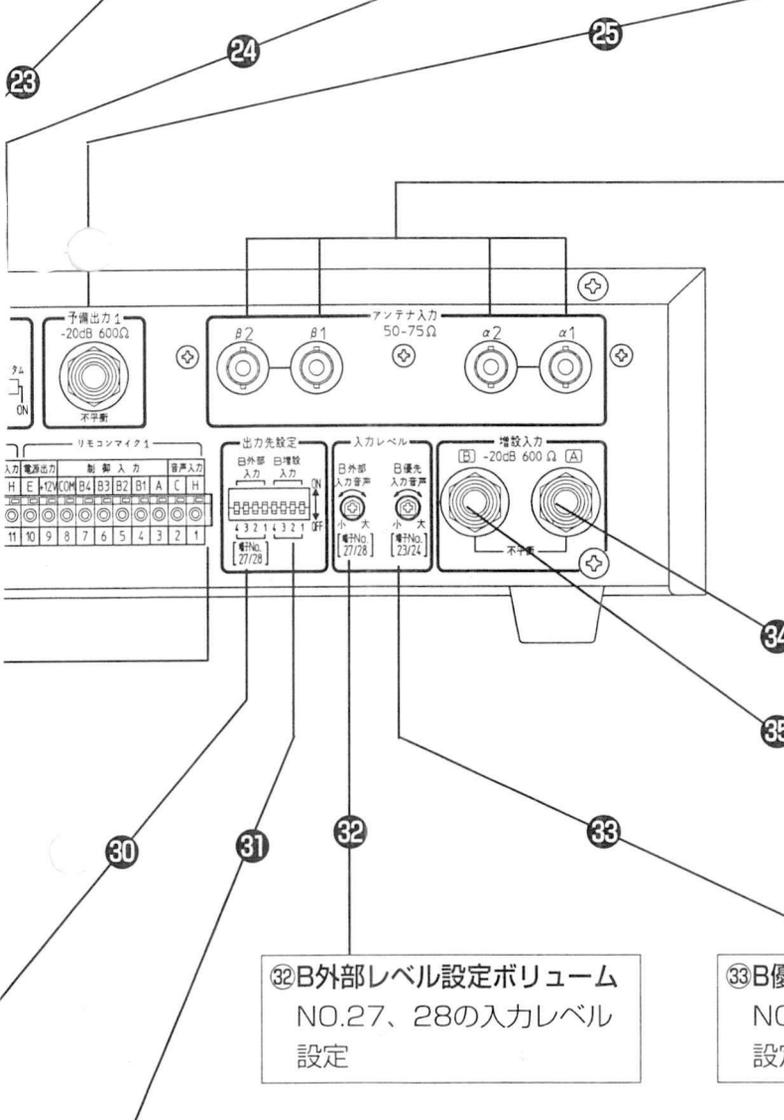


㉘B出力への外部入力設定SW
 [ON/OFF]
 制御端子は端子台NO.29

②③ A出力ジャック
〔600Ω 不平衡〕
チューナーユニット1~6のトークA
音声をミキシング

②④ ファンタム電源SW
(A出力用)
⇨通常は「OFF」

②⑤ 予備出力1ジャック
〔-20dB 600Ω不平衡〕
トークA、トークB1~B4のミキシン
グ音声を出力
(予備出力モード設定によりモード設
定可能)



②⑥ アンテナ入力端子
(アンテナ入力 50Ω~75Ω α1, α2, β1, β2)
BNCコネクター採用 ファンタム電源
DC9~12V、70mA

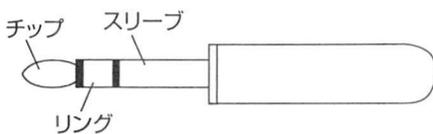
②④ A増設入力ジャック
〔-20dB 600Ω不平衡〕
②⑤ B増設入力ジャック
〔-20dB 600Ω不平衡〕
WX-R8600
2台運用時の音声
の連結に使用し
ます。

②② B外部レベル設定ボリューム
NO.27、28の入力レベル
設定

②③ B優先レベル設定ボリューム
NO.23、24の入力レベル
設定

②① B増設入力設定SW
(ON/OFF)
B増設入力ジャック②⑤の入
力音声ミキシング先設定

②②、②③、②⑤、②④、②⑤の接続プラグは、大形ステレオプラグを使用します。
(音声は全て不平衡出力)
音声はチップ (H)、スリーブ (C)
で伝送されます。
リングは制御端子とファンタム電
源用として使用します。



※②③ A出力ジャックが案内放送用出力として通常のアンプに接続される場
合は、(ファンタム電源「OFF」) モノラルタイプが使用出来ます。

●後面 (WX-R8601)

⑳B出力ジャック (600Ω 不平衡)
チューナーユニット1~6のトーク
B音声をミキシング出力
※トークB音声出力モード設定⑩の
1~4に対応しB1~B4出力端子から
音声を出力

㉑ファンタム電源SW
(B出力用)
⇒WX-T3400接続時 ONに
します

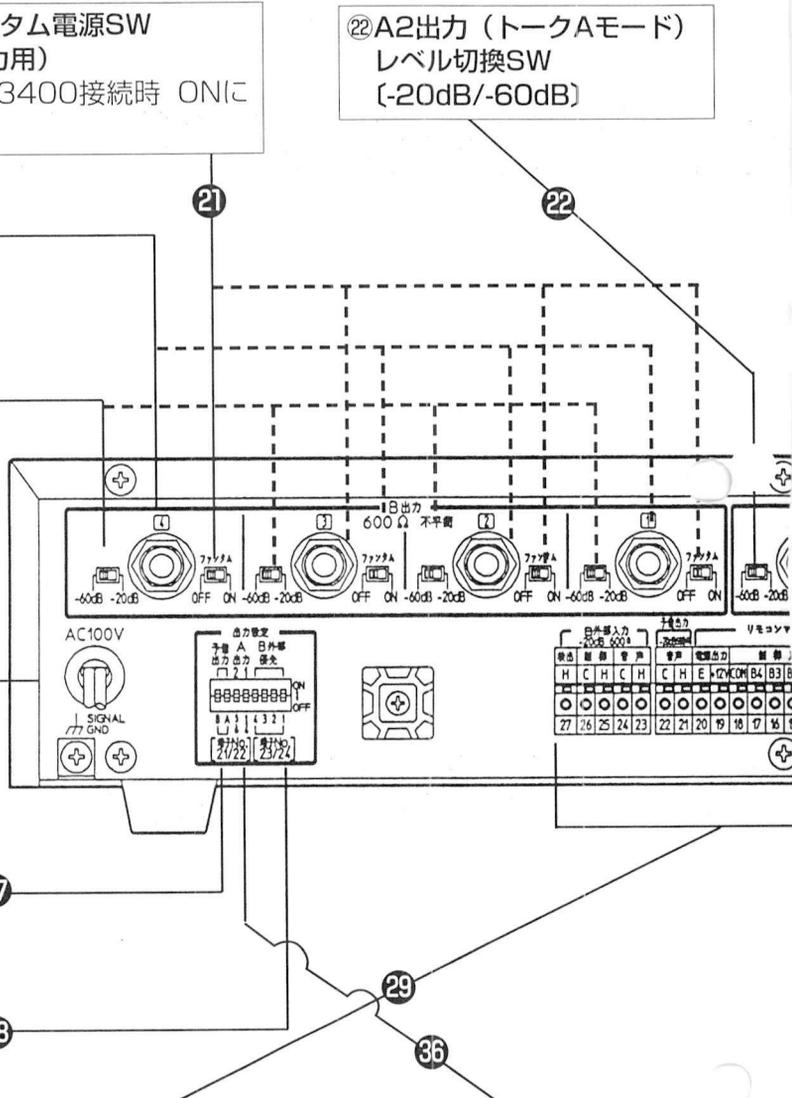
㉒A2出力 (トークAモード)
レベル切換SW
[-20dB/-60dB]

㉑B出力 (トークBモード)
レベル切換SW [-20dB/-60dB]
⇒WX-T3400接続時は-20dB
(工場出荷時と同じ)

㉑AC電源コード
(100V 50Hz/60Hz)

㉑予備出力モード設定SW
予備出力のON/OFFを設定
↑ 端子台NO.21.22

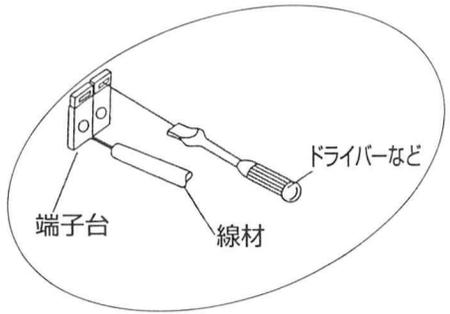
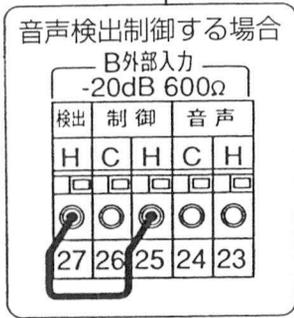
㉑B外部入力
優先設定SW
制御端子は端子台NO.25



㉑外部入力端子台

B外部入力 -20dB 600Ω					予備出力 -20dB 600Ω					リモコンマイク2					リモコンマイク1																			
検出	制御	音声	音声	電源出力	音声	電源出力	制御	入力	音声入力	電源出力	制御	入力	音声入力	音声入力	電源出力	制御	入力	音声入力																
H	C	H	C	H	C	H	E	+12V	COM	B4	B3	B2	B1	A	C	H	E	+12V	COM	B4	B3	B2	B1	A	C	H								
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1								

㉑A出力設定スイッチ
A出力1の設定
⇒チューナーユニット1~
4のトークA音声を
出力するかどうかを設定
A出力2の設定
⇒チューナーユニット5、
6のトークA音声を
出力するかどうか設定



㉑B出力への外部入力設定SW
(ON/OFF)
制御端子は端子台NO.29

**㉓A2出力ジャック
〔600Ω 不平衡〕**

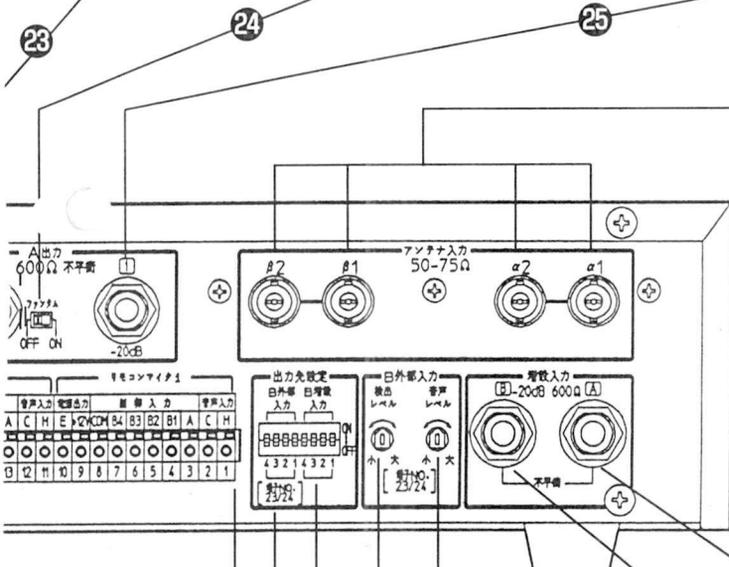
A出力設定SW㉔のA出力2側の設定が、ONのときチューナーユニット1~6のトークA音声を出力
OFFのときチューナーユニット1~4のトークA音声を出力
工場出荷時にはチューナーユニット1~6のミキシング出力に設定済

**㉔ファンタム電源SW
(A2出力用)**

⇨通常は「OFF」

**㉔A1出力ジャック
〔-20dB 600Ω不平衡〕**

A出力設定SW㉔のA出力1側の設定が、ONのときチューナーユニット1~6のトークA音声を出力
OFFのときチューナーユニット5、6のみのトークA音声を出力
工場出荷時にはチューナーユニット1~6のミキシング出力に設定済



㉔アンテナ入力端子
〔アンテナ入力 50Ω~75Ω α1、α2、β1、β2〕
BNCコネクター採用 ファンタム電源 DC9~12V、70mA

**㉔A増設入力ジャック
〔-20dB 600Ω不平衡〕**

WX-R8600
2台運用時の音声の連結に使用します。

**㉔B増設入力ジャック
〔-20dB 600Ω不平衡〕**

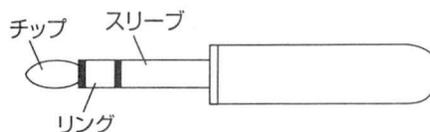
**㉔B増設入力設定SW
〔ON/OFF〕**

B増設入力ジャック㉔の入力音声ミキシング先設定

㉔B外部入力検出レベル設定ボリューム
NO.23、24の入力レベルに対するNO.27の検出出力レベル設定

㉔B外部入力音声設定ボリューム
NO.23、24の入力レベル設定

㉔、㉔、㉔、㉔、㉔の接続プラグは、大形ステレオプラグを使用します。



(音声は全て不平衡出力)
音声はチップ (H)、スリーブ (C) で伝送されます。
リングは制御端子とファンタム電源用として使用します。

※㉔A出力ジャックが案内放送用出力として通常のアンプに接続される場合は、(ファンタム電源「OFF」)モノラルタイプが使用出来ます。

2. 800MHz帯ワイヤレス混合分配器/WX-AD800

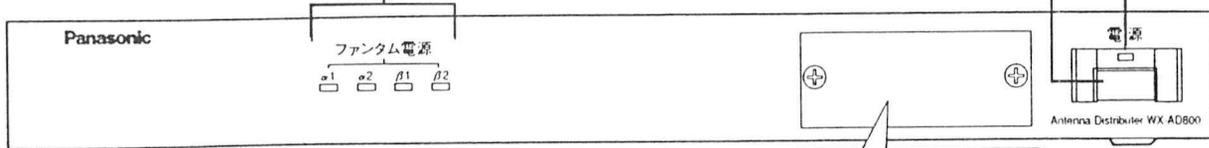
■各部の名前と働き

③アンテナ入力のファンタム電源の状態表示
 「緑」……正常状態であり、アンテナが接続されています
 「赤」……異常状態
 「消灯」…無接続状態

②電源SW

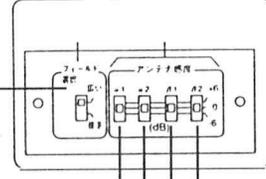
①電源表示灯 (赤)

●前面



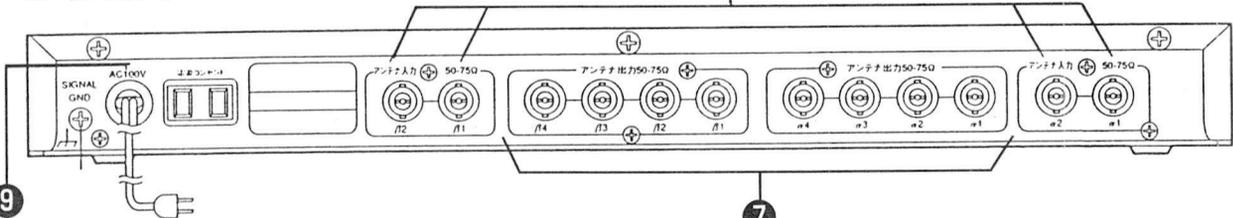
④フィールド選択
 アンテナの受信エリア選択 (全体)

⑤アンテナ感度設定SW
 各アンテナの感度設定



⑥アンテナ入力端子
 (アンテナ入力 50Ω~75Ω α1、α2、β1、β2)
 BNCコネクター採用 ファンタム電源
 DC9~12V、70mA

●後面



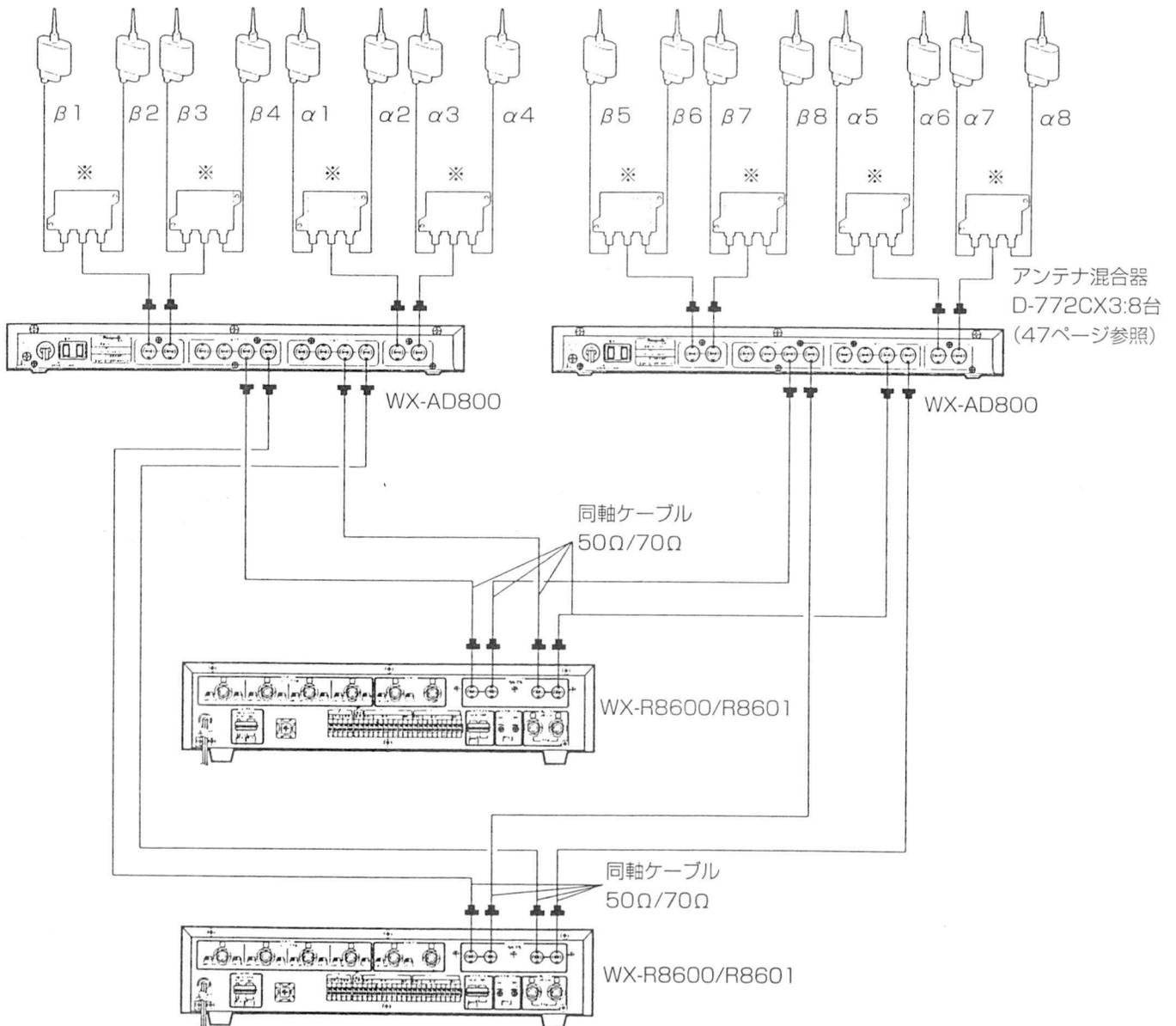
⑨AC電源コード
 (100V 50Hz/60Hz)

⑦アンテナ出力端子
 (アンテナ出力 50Ω~75Ω α1、α2、β1、β2)
 BNCコネクター採用 ファンタム電源
 DC9~12V、70mA

■接続のしかた

●本機2台、受信機2台、アンテナ16台の接続例

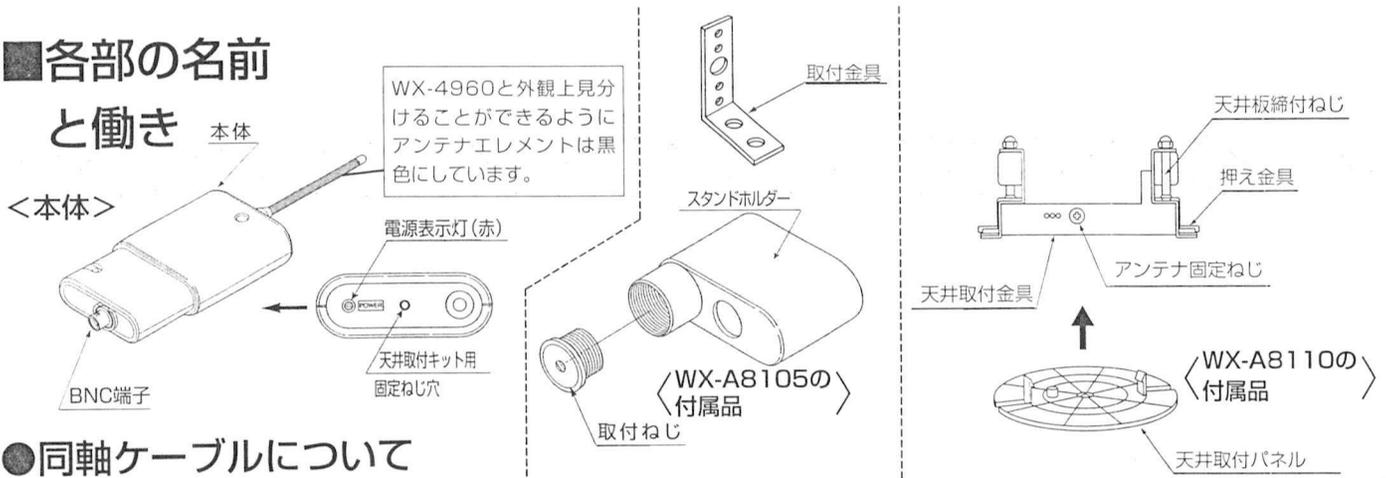
ワイヤレスアンテナ
WX-A8100
WX-A8105
WX-A8110



- ワイヤレスアンテナの間隔は、5~20m以内になしてください。近づけすぎるとノイズが出る場合があります。
- マイクロホンなどは、50cm以上離してください。
- 接続していないアンテナ入力端子には、終端抵抗 (50Ω/75Ω) を接続しないでください。
接続するとワイヤレスアンテナ (WX-A8100/WX-A8105/WX-A8110) に電源を供給できません。

3. 800MHz帯アンテナ / WX-A8105、WX-A8110

■各部の名前と働き



●同軸ケーブルについて

〈新設の場合〉ワイヤレスシステムの性能を十分に発揮させるため、5C-FBまたは5D-FBをご使用ください。

〈既設ワイヤレスシステムのリプレースの場合〉既設同軸ケーブルの使用は下記条件を満足すればOKです。

- ①アンテナ～受信機本体までダイレクトであること。(端子台、変換コネクタ、分配器等がないこと)
- ②同軸ケーブルの種類と長さが右記以内であること。

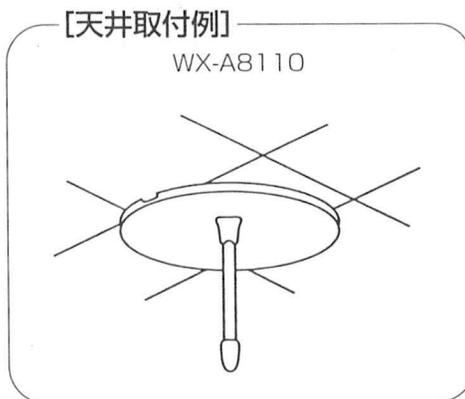
〈その他の同軸ケーブルと長さ〉⇒施工の注意点を参照ください。

種類	長さ
3C-2V、3D-2V	30m
5C-2V、5D-2V	50m

●設置場所について

本アンテナを設置する場所は、十分な性能が発揮できるようにするため、天井に取り付けることをおすすめします。

ただし条件の良い場所では、付属のスタンドホルダーと取付金具を使用して壁等に設置することもできます。



[壁等への取付例]

付属のスタンドホルダーと取付金具を使用して取り付けます。壁等に取り付けるためのねじは付属していません。固定する材質にあったものを準備してください。

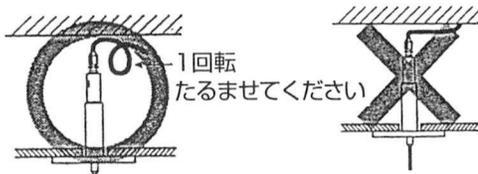
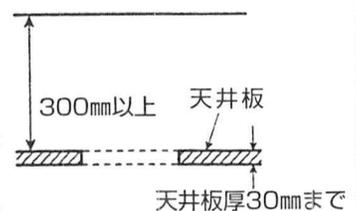


●天井への設置のしかた

以下に示すお願い事項を守り、設置手順に従って取り付けてください。

お願い

- 天井裏が300mm以上あるところに設置してください。
- 天井板の厚さは、30mmまで取り付けが可能です。
- 設置場所は、アンテナ取付時の質量(約0.6kg)に耐えられる強度を確保してください。
- 結露などによる水分が同軸ケーブルを伝ってアンテナ本体に入らないように、ケーブル処理を以下のようにしてください。

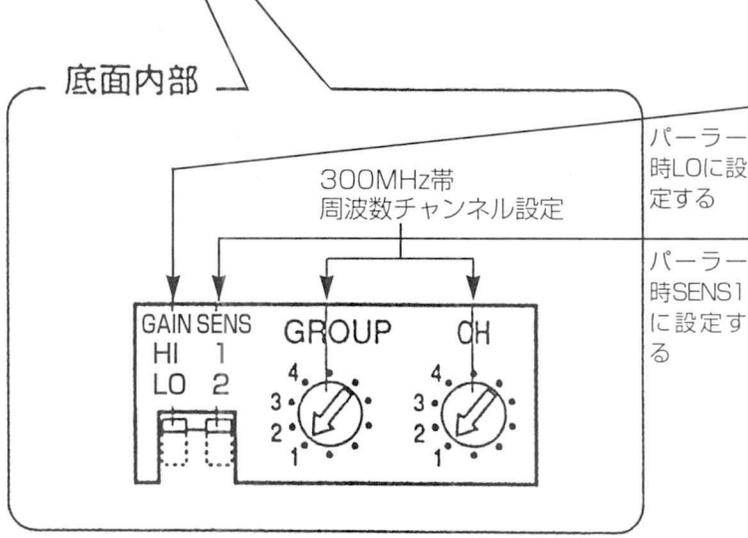
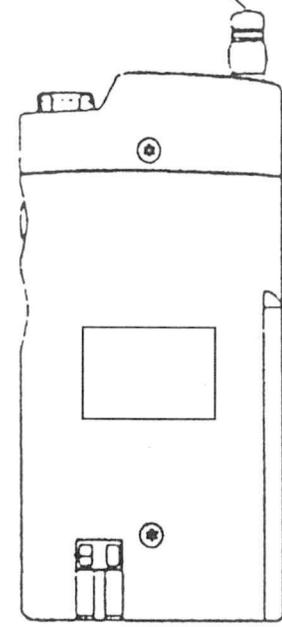
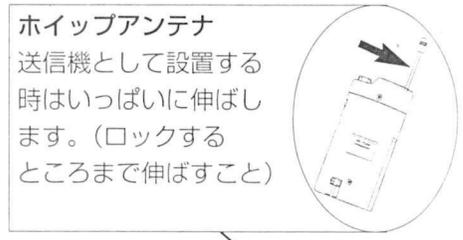
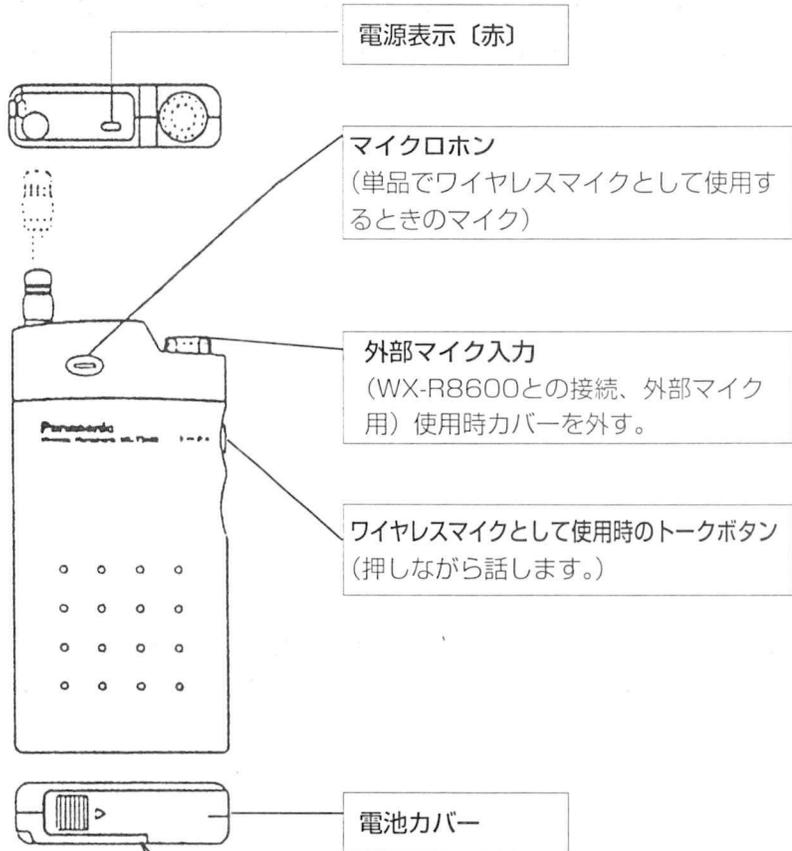


ご注意

※本800MHz帯アンテナは800MHz帯ダイレクト受信方式です。WX-4000シリーズとは全く互換性がないので充分注意してください。

3. 300MHz帯ワイヤレス送信機 / WX-T3400

■各部の名前と働き



マイク利得設置スイッチ [GAIN]
Hi : 本体内蔵マイク、接話マイク、タイピンマイク
を使用する場合
Lo : -20dBV入力時 (WX-R8600時)

マイク感度切換スイッチ [SENS]
使用するマイクロホンにより以下のように切り換えます。
SENS1 : 本体内蔵マイク、接話マイクを使用する場合
SENS2 : タイピンマイクを使用する場合

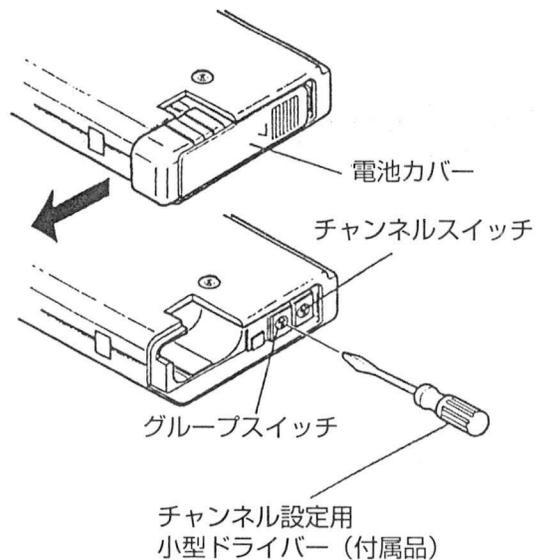
WX-R8600と接続する場合は、電池を装着しないで
ください。(ファンタム電源がWX-R8600より供給
されます)

本機は単品で300MHz帯PLLワイヤレスマイクとして
使用出来ます。
くわしくは取扱説明書をご参照ください。

電池カバーの内部に上記設定SWあり

4. 300MHz帯ワイヤレス送信機/WX-T3400

■周波数設定のしかた



■グループについて

●同一場所で、複数の送信機を同時に使用する場合は

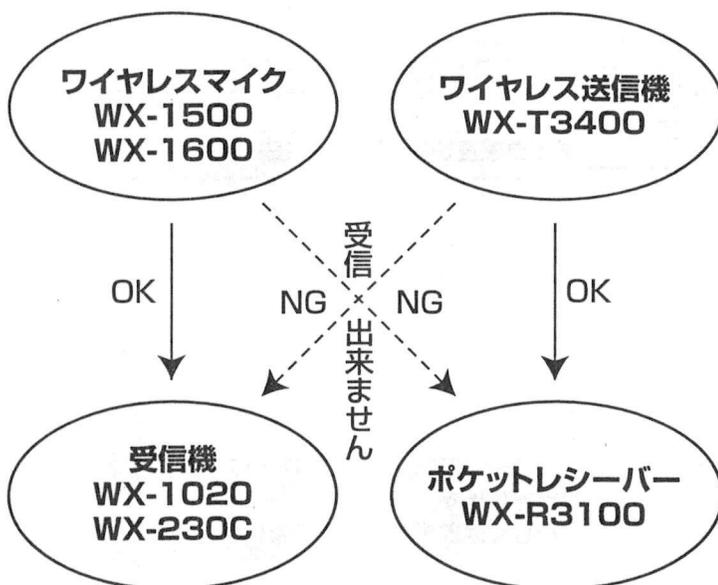
1つのグループに統一します。(グループ1~4の中から1つのグループを選びます。)

- グループ1~3の中から1つのグループを選んでシステムを組めば、最大4波まで使用できます。
- グループ4は1波使用できます。

●Panasonic拡声ワイヤレスシステム (WX-1500シリーズ) と同一空間で使用 する場合は

本ワイヤレスシステムとWX-1500シリーズを、1つのグループに統一します。

- たとえばグループ1を使用する場合、チャンネル1,2をWX-1500シリーズに、チャンネル3,4を本ワイヤレスシステムに設定します。
- WX-1500シリーズをグループ1に設定し、本ワイヤレスシステムをグループ2に設定して使用することはできません。
- また、WX-1500シリーズはトーン周波数が異なるため、ワイヤレス受信機WX-R3100で受信することはできません。



5. 300MHz帯工事キット/WX-AZ910

ご注意

●ワイヤレス受信機とワイヤレスマイクロホンの接続ケーブルは、AWG22 (φ0.3mm) ~AWG20 (φ0.5mm) の2芯シールド線を使用してください。音声とファンタム電源のため2芯シールド線を使用すること。

●ワイヤレスマイクロホン WX-T3400を取り付ける際は、乾電池や充電電池パックを装着しないでください。マイクロホンの電源は、ワイヤレス受信機 WX-R8600から供給されます。(必ずWX-R8600側のファンタム電源をONにしてください。)

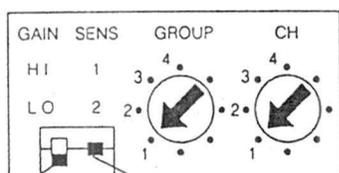
●ワイヤレスマイクロホンを本キットのアタッチメント金具に取り付ける際は、アンテナを最後まで伸ばしてください。伸縮途中で使用した場合、性能が劣化します。

※使用ケーブルの仕様については施工の注意点を参照してください。(46ページ)

取り付けかた

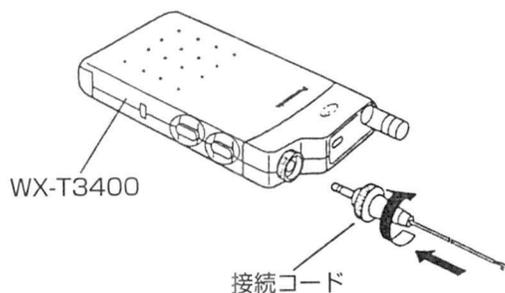
1. ワイヤレス送信機WX-T3400 (別売品)を本工事キットに取り付ける

①送信機の内部スイッチを設定する
マイク利得設定スイッチを「LO」、マイク感度切換スイッチを「SENS1」に設定します。

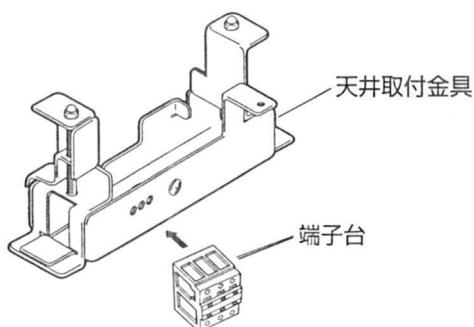


マイク利得設定スイッチ マイク感度切換スイッチ

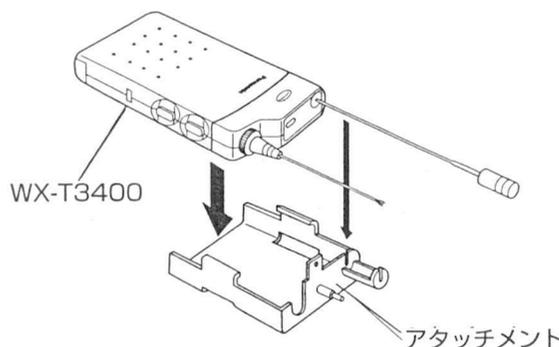
②接続コードを取り付ける



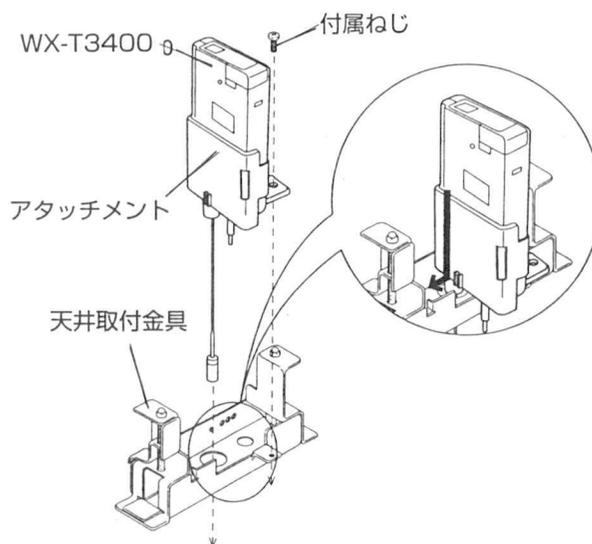
③天井取付金具に端子台を取り付ける



④マイクロホンを取り付ける
アンテナは必ず最後まで伸ばしてください。



⑤手順5のアタッチメントを天井取付金具に付属のねじで固定する



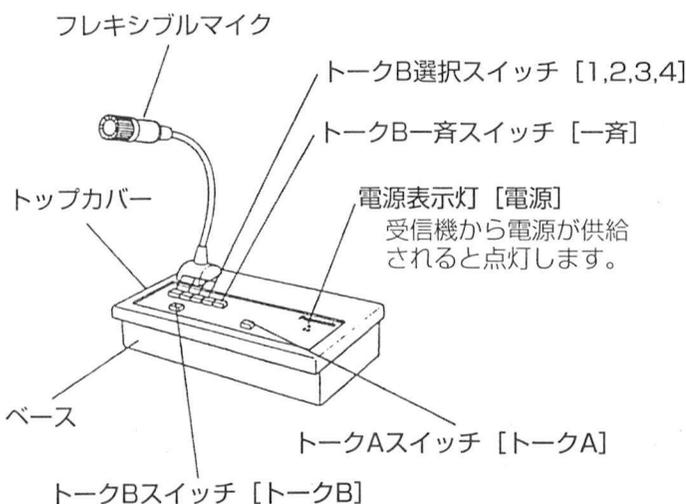
6. リモコンマイクロホン/WX-M900

■特長

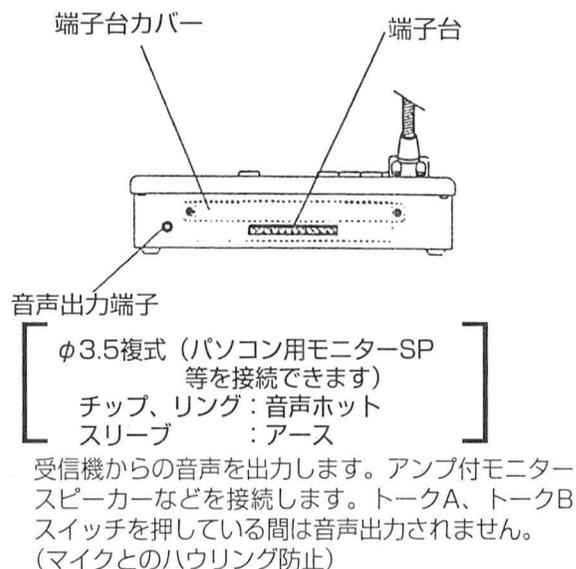
本機は、WX-R8600のトークA、トークBモードを1台で任意に選択出来るため、パーラー様向けワイヤレスマイクシステムとして案内放送（Aモード）と秘話連絡（Bモード）両方を事務所またはカウンターで出来ます。

■各部の名前と働き

●正面



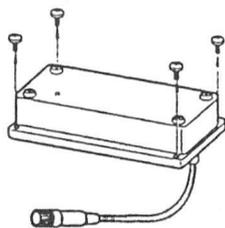
●後面



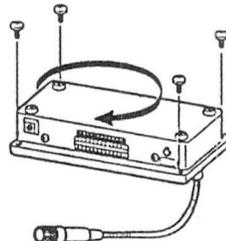
線材の引き出す向きを変えるときは

工場出荷時は本機後面に端子台がありますが、ベースを180度回転させることにより、端子台を前面にすることが出来ます。

- ①本機を逆さにし、固定ねじ（4本）を外します。



- ②ベースを180度回転させ、手順①で外した固定ねじ（4本）を締め付けます。



■放送のしかた

●A出力放送の場合（案内放送）

1. トークAスイッチを押しながらマイクから放送する

ワイヤレス受信機WX-R8600のA出力端子に接続された場所に放送されます。

●B出力放送の場合（秘話連絡）

1. 音声の出力先を選択する

トークB選択スイッチ（1～4）またはトークB一斉スイッチを押し、音声の出力先を選択します。

トークB選択スイッチ1～4は、ワイヤレス受信機WX-R8600のB出力端子1～4に対応しています。

2. トークBスイッチを押しながらマイクから放送する

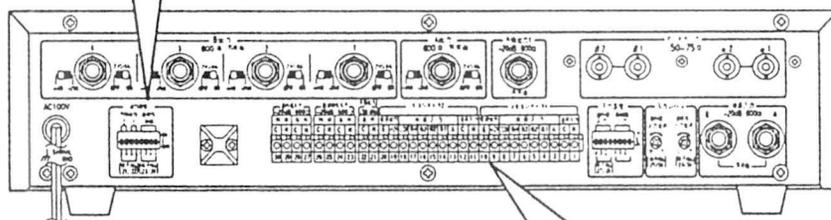
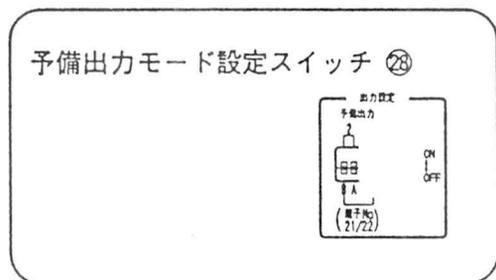
出力先を選択した場所に放送されます。

■接続のしかた

800MHz帯ワイヤレス受信機(WX-R8600)に、最大2台まで接続できます。

- 予備出力モード設定スイッチ②により、リモコンマイクに出力するモニター音声を設定します。

機能設定	トークB	トークA	出力音声
	ON	ON	すべての音声を出力 (トークA+トークB1~B4ミキシング 音声)
	ON	OFF	トークB1~B4ミキシング 音声のみ出力
	OFF	ON	トークA音声のみ出力
	OFF	OFF	音声出力なし



予備出力 2 端子 (リモコンマイクを2台使用するときには共挿しになります)



●使用線種

予備出力を使用する場合……6ペアシールドケーブル
予備出力を使用しない場合…5ペアシールドケーブル

●ケーブル線種と接続長

AWG22~AWG16……………100m

- ※リモコンマイク用ケーブルの仕様については施工の注意点を参照してください。(46ページ)

●端子台適合電線

適合電線	単線 $\phi 1.2$ (AWG16)
	撚線 1.25mm (AWG16)
使用可能電線範囲	単線 $\phi 0.4$ (AWG26) $\phi 1.2$ (AWG16)
	撚線 0.3mm ϕ (AWG22) ~ 1.25mm ϕ (AWG16) 素線径 $\phi 0.18$ 以上
標準むき線長さ	11mm
ボタン操作用適合工具	マイナスドライバー (軸径 $\phi 3$ 、刃先幅2.6)

●他のリモコンマイク使用について

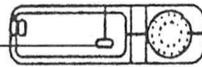
- ※パーラー様の運用で秘話連絡のみ、案内放送のみの場合は、単局リモコンマイクロホンWR-101の使用も可能です。呼出しマイクロホンWR-150については、放送制御端子がないため、WX-R8600側のリモコンマイク制御入力(A、B1~B4)をON状態にロックする必要があります。

7. 800MHz帯プレストーク形ワイレスマイクロホン/WX-T8400

■各部の名前と働き

電源表示灯 (赤)

トークボタン (A,B) を押すと電源が入り、点灯します。
点滅する場合は、乾電池の交換または充電電池パックの充電を行ってください。



マイク音孔

単品のワイレスマイクとして使用する
場合のマイク

外部マイクジャック

別売の接話マイクロホンWX-M101、
M102等を接続します。
使用時は、カバーを外してください。

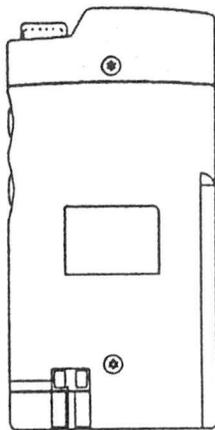
トークボタンA [トークA]

このボタンを押しながら話します。

トークボタンB [トークB]

このボタンを押しながら話します。

電池カバー

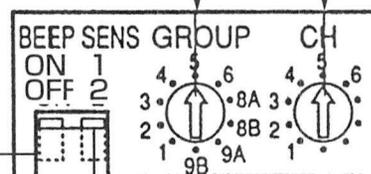


充電端子

充電電池パック WX-BH500装着時。

底面内部

800MHz帯周波数設定



電池カバーの内部に上記設定SWあり

トークB確認音設定スイッチ [BEEP]

トークB使用時の確認音を設定します。

⇒通常ON

OFF: 確認音は鳴りません。

ON: トークBボタンを押すと確認音になります。

マイク感度切換スイッチ [SENS]

使用するマイクにより以下のように切り換
えます。通常はSENS1で使用

SENS1: 本体内蔵マイク、接話マイクを
使用する場合

SENS2: タイピンマイクを使用する場合

メモ

●トークボタン(A,B)の動作について

ワイヤレス受信機の音声出力先がある建物の1階をトークA、2階をトークBに設定してある場合、トークボタン(A,B)を押すと以下のような動作になります。

トークボタンAを押したまま話す場合：1階に放送されます パーラーは 案内放送
 トークボタンBを押したまま話す場合：2階に放送されます パーラーは 秘話連絡 }として運用

●外部マイクジャックとトークボタン(A,B)の関係について

外部マイクジャック	トークボタン(A,B)の動作
未接続	ボタンを押している間、電源が「ON」になります。
接続	1回押すと電源が「ON」になり、再度押すと「OFF」になります

※パーラー様向けワイヤレスシステムでは、本体のSWはロックモードSWになります。

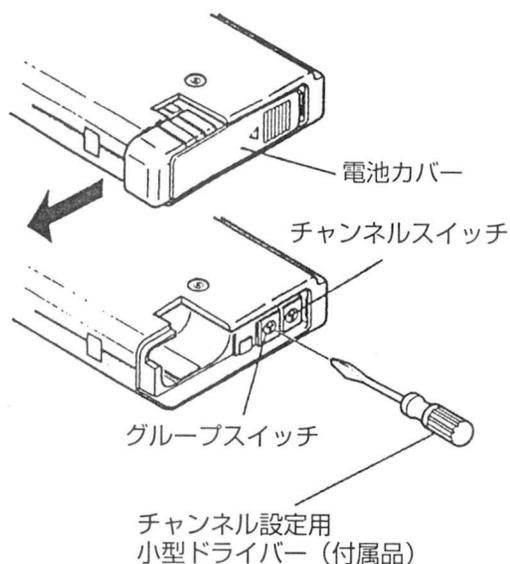
●同時に使用するマイクは、グループを全て同じにし、チャンネルは全て違うチャンネルに設定してください。

■周波数設定のしかた

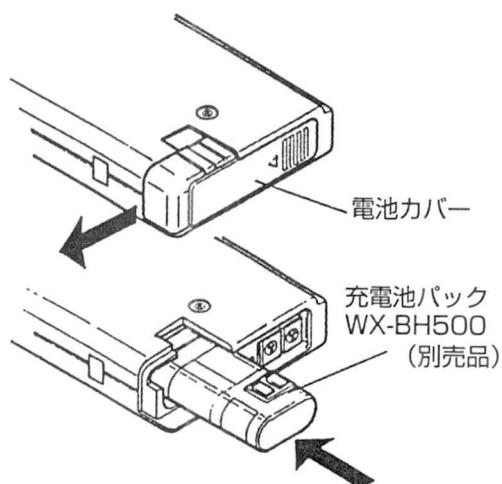
メモ

送信周波数表にないグループ・チャンネルに設定すると正常に動作しません。この場合電源スイッチを「ON」にすると、電源表示灯(赤)は早い点滅をします。

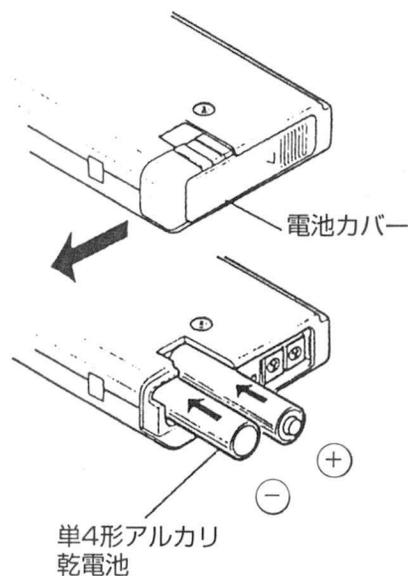
そのままの状態にしますと、乾電池は消耗しますのでご注意ください。



■充電式電池の装着のしかた



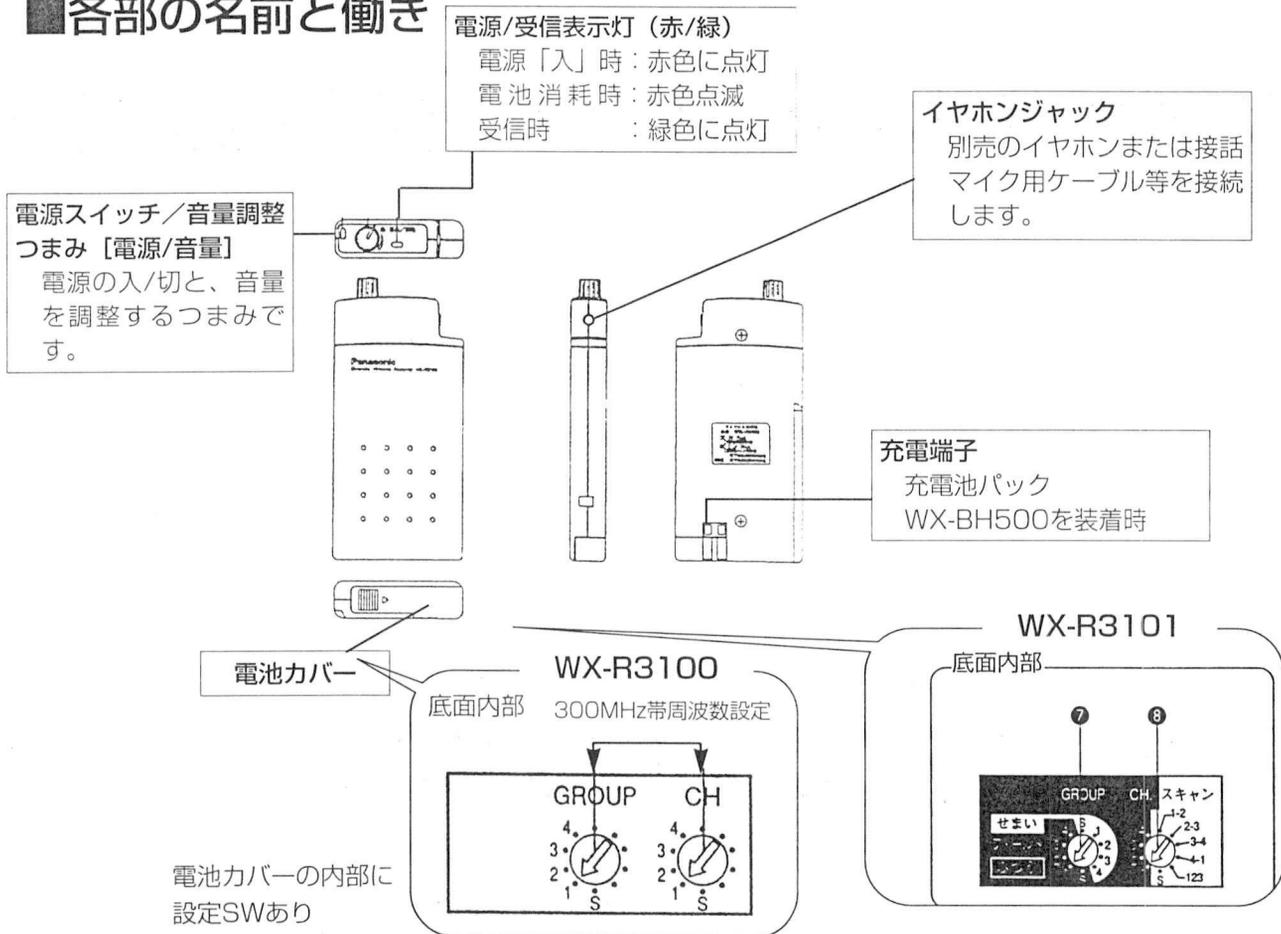
■乾電池の装着のしかた



※乾電池を交換するときは、必ず2本同時に行ってください。

8. 300MHz帯ポケットレシーバー/WX-R3100、WX-R3101

■各部の名前と働き



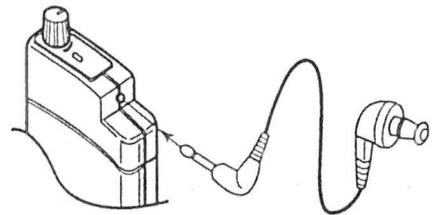
■イヤホンの取り付けかた ※イヤホンは付属していません。

別売のイヤホンWX-RZ900 (ケーブル長500mm) またはWX-RZ901 (ケーブル長1000mm) をご使用ください。

1. 音量調整つまみを最小にする
2. イヤホンプラグをイヤホンジャックに差し込む
3. 大中小のイヤチップから合うものを選ぶ

お願い

- 必ず音量調整つまみを最小にしてからイヤホンを耳に装着してください。装着後、適切な音量に合わせます。
- WX-RZ900、WX-RZ901以外のイヤホンを使用する場合は、インピーダンス16Ω以上のモノラルプラグタイプを使用してください。ただし他のイヤホンを使用した場合、適切な音質にならない場合があります。



■周波数設定のしかた ⇨ WX-T8400と同様

お願い

送信周波数表にないグループ・チャンネルに設定すると正常に動作しません。
 この場合電源スイッチを「入」にすると、電源表示灯(赤)は早い点滅をします。そのままの状態にしますと、乾電池は消耗します。

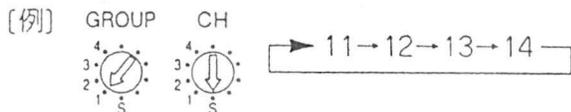
参考 グループ、チャンネル、Sポジションの使いかた

<WX-R3100>

●グループ内チャンネルをスキャンする場合

チャンネルスイッチの「↑」を「S」に合わせます。

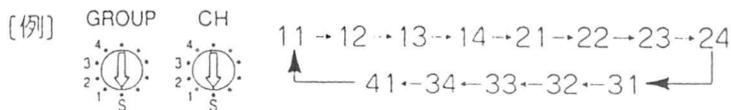
グループスイッチで設定したグループ内のチャンネルを順次スキャンし、受信すると電源/受信表示灯が緑色に変わり停止します。



●全グループ、全チャンネルをスキャンする場合

グループとチャンネルスイッチの「↑」を「S」に合わせます。

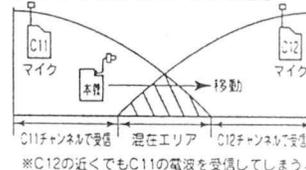
受信すると電源/受信表示灯が緑色に変わりスキャンは停止します。



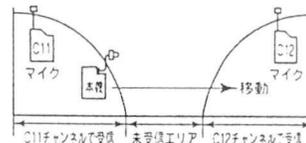
メモ

Sポジションを使用し複数のエリアを自動切替する場合は、エリアを完全に分けた状態で運用してください。

[エリアが分かれていない状態]



[エリアが分かれている状態]



WX-R3101

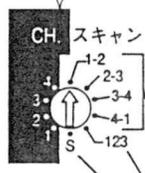
<WX-R3101>

●グループ内チャンネルをスキャンする場合

スキャンするチャンネル数を選択できます。

1. グループ・フィールドスイッチで運用するグループを設定しておきます。
2. 運用するチャンネル数に合わせて、チャンネル・スキャンスイッチで設定します。

固定チャンネル
1、2、3、4の通常の固定チャンネルです。
スキャン機能は、動作しません。



スキャン機能

グループ設定したチャンネルを繰り返しスキャンします。

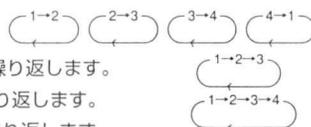
受信すると電源/受信表示灯が緑色に変わりスキャンは停止します。また、受信待機状態になると、赤色に変わり再びスキャンを繰り返します。

1-2、2-3、3-4、4-1

……………2チャンネルスキャンを繰り返します。

123…3チャンネルスキャンを繰り返します。

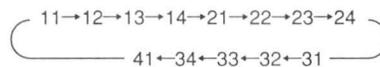
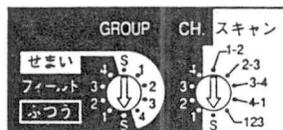
S……………4チャンネルスキャンを繰り返します。



●全グループ、全チャンネルをスキャンする場合

グループ・フィールドスイッチとチャンネル・スキャンスイッチの「↑」を「S」に合わせます。

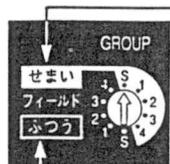
受信すると電源/受信表示灯が緑色に変わりスキャンは停止します。



●スキャンするフィールドを選択できます

せまいフィールドでは、受信感度を抑えることにより、より低雑音でスキャン運用できます。

グループ・フィールドスイッチで運用するフィールドを設定します。



・フィールド せまい

送信機相互の距離が短い場合、使用するフィールドがせまい場合のポジションです。受信感度を抑えてチャンネルスキャンします。

・フィールド ふつう

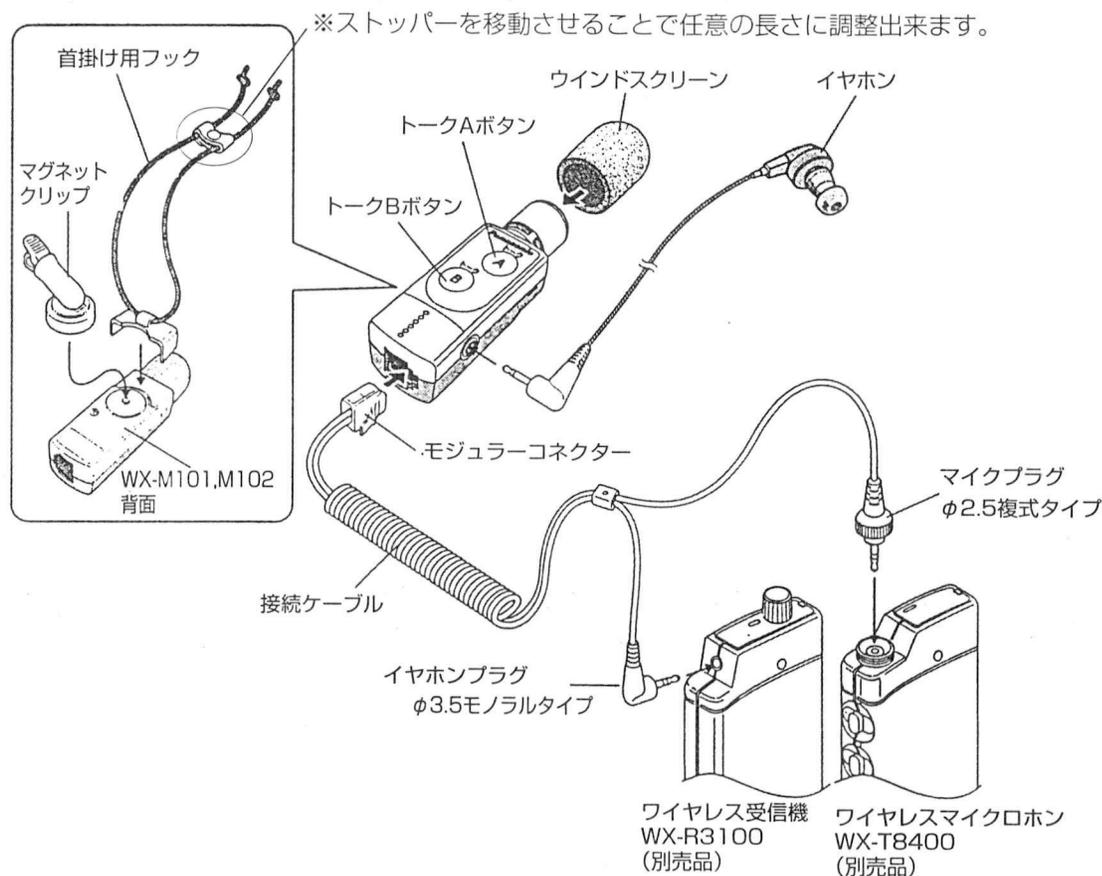
通常は、このポジションでご使用ください。

充電式電池・乾電池の装着のしかた ⇒ WX-T8400と同様

9. 接話マイクロホン/WX-M101(1ボタン)、WX-M102(2ボタン)

■各部の名前

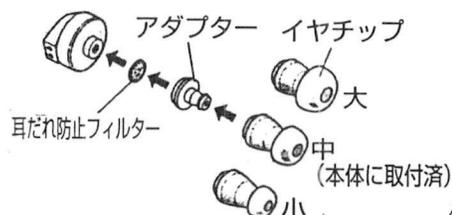
イラストは、WX-M102です。WX-M101の場合は、トークAボタンがありません。



イヤチップについて

付属の3種類のイヤチップから、耳にいちばん合うものをお選びください。

- イヤチップの汚れがひどいときは、せっけん水やぬるま湯で洗ってください。
- 耳だれ防止フィルターが汚れたときは、新しいものと交換してください。



●別売品について

本機の消耗品キットとして以下の別売品を用意しています。品番は、1997年3月現在のものです。

品名	品番	備考
ウインドスクリーン (黒)	WX-MZ100/K	6個入り。 グループ分けなどに使用すると便利です。
ウインドスクリーン (青)	WX-MZ100/B	
ウインドスクリーン (緑)	WX-MZ100/G	
ウインドスクリーン (黄)	WX-MZ100/Y	
ウインドスクリーン (赤)	WX-MZ100/R	
イヤホンセット	WX-RZ900	ケーブル長500mmタイプ。6個入り。
イヤホンセット	WX-RZ901	ケーブル長1000mmタイプ。6個入り。
接続ケーブルキット	WX-MZ101	接続ケーブル6本入り。
マグネットクリップキット	WX-MZ102	マグネットクリップ6個入。

■使いかた

1. マイク本体にマグネットクリップまたは首掛け用フックを取り付ける

両方を同時に使用することも可能です。

2. マイク本体を体に取り付ける

マグネットクリップの場合はネクタイ・ベストなどに取り付け、首掛け用フックの場合は首にかけます。

3. マイク本体を口元に近づけ、トークボタンを押して話す

[取り付け例]



[話すとき]



首掛け用フック 接話マイクの落下防止用としても役立ちます。

メモ

●トークボタン (A,B) の動作について

ワイヤレス受信機の音声出力先が、ある建物の1階をトークA、2階をトークBに設定してある場合、以下のように動作します。

トークAボタンを押したまま話す場合：1階に放送されます

トークBボタンを押したまま話す場合：2階に放送されます

●本機とワイヤレスマイクロホンWX-T8400のトークボタン (A,B) の関係について

本機をWX-T8400に接続した場合、本機とWX-T8400のトークボタン(A,B)は以下のように動作します。

	トークボタンの動作
本機 (WX-M101,M102)	トークボタンを押している間だけ音声が出力されます。 WX-T8400がトークロックモードの場合、そのモードは解除されます。
WX-T8400	トークボタンを1回押すと電源が「ON」になり、本機のトークボタンを押さなくても音声が連続で出力されます。再度押すと「OFF」になり、音声は出力されません。これをトークロックモードといいます。

●ウインドスクリーンが汚れたときは

本体から取り外し台所用洗剤で洗って、水でよくすすいでください。
完全に乾いたら取り付けてください。

10. 充電器/WX-BC600

■特長(概要)

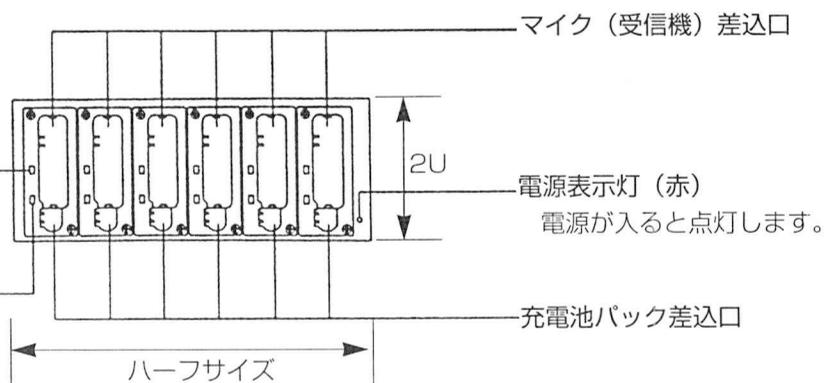
子機(送信機、受信機)本体充電と充電電池パック充電どちらも可能。
8時間充電タイプ、充電電池でも本体でも差込口に「カチッ!」とロックされるため、横に置いて充電が出来ます。本機8時間充電で子機は16時間運用(20%使用率)が可能です。

■各部の名前

●上面

充電中表示灯 [充電中] (赤)
充電中に点灯します。

充電完了表示灯 [充電完了] (緑)
充電完了すると点灯します。

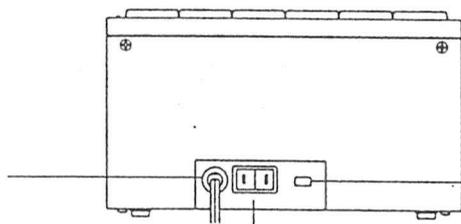


●後面

AC電源コード [AC100V]
AC100V (50/60Hz) の
コンセントへ接続します。

電源コンセント [電源コンセントスイッチ非連動]
本器を増設するときのACコンセントです。
本器以外は接続しないでください。

電源スイッチ [電源]

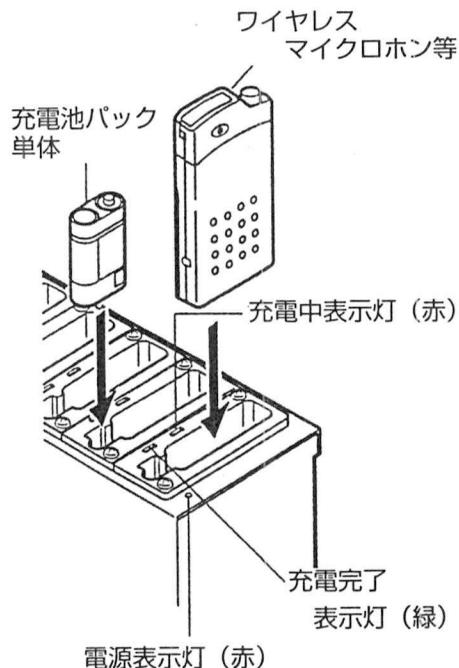


■充電のしかた

充電パックをワイヤレスマイクロホン (WX-T8400) や受信機 (WX-R3100) に装着したままでの充電と、充電電池パック単体での充電が選択できます。ただし、充電器の差込口1箇所での同時充電はできません。マイクロホン等に装着しているときはマイク(受信機)差込口へ、充電電池パック単体のときは充電電池パック差込口へ、「カチッ」と音がするまで確実に差し込みます。充電中表示灯(赤)が点灯します。約8時間で充電が完了し、充電完了表示灯(緑)が点灯します。

※ワイヤレスマイク(受信機)に装着した状態で充電するときは、必ずマイクロホン等の電源スイッチを「切」の状態にしてから行ってください。

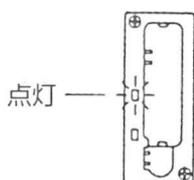
電源が「入」の状態では、正常に充電されません。



■ 充電電池パックチェック機能について

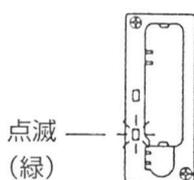
本器には、充電電池パックの初期電圧をチェックする機能があります。
 充電電池パックを装着したワイヤレスマイク（受信機）または充電電池パック単体を差し込んだときに、充電電池パックの電圧を自動的にチェックし、充電中表示灯（赤）、充電完了表示灯（緑）で状態を表示します。
 チェック機能の内容は以下のとおりです。

● 充電中表示灯（赤）が点灯する場合



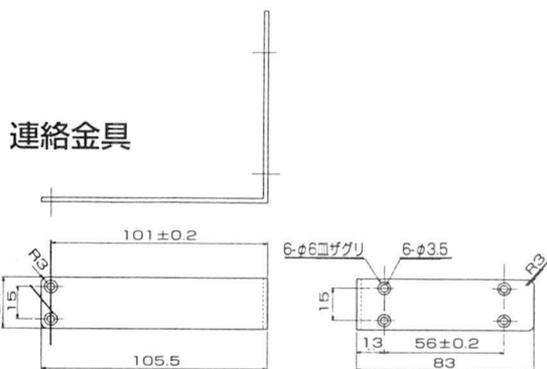
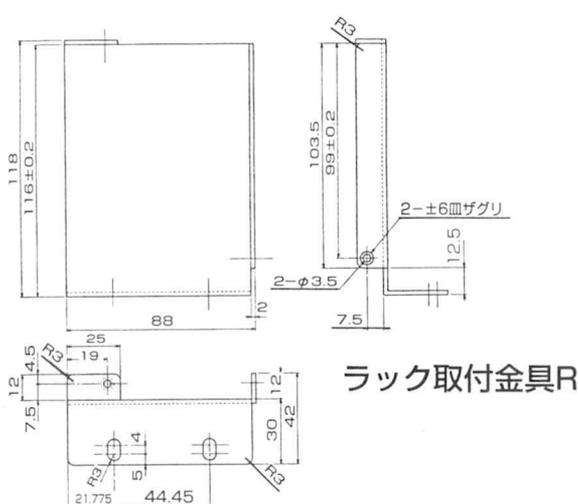
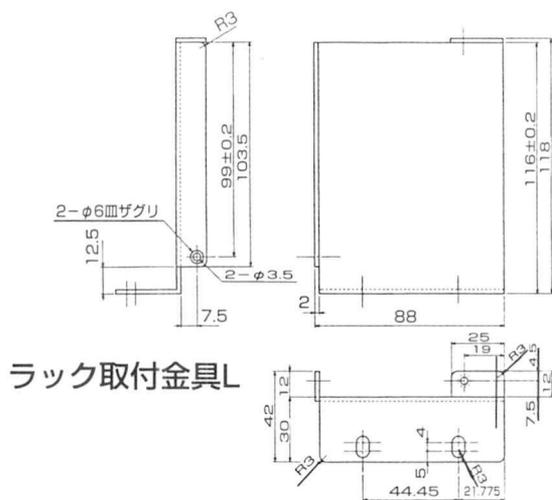
充電電池パックの電圧が低下しているため、充電を開始した状態です。
 約8時間で充電が完了し、充電完了表示灯（緑）が点灯します。

● 充電完了表示灯（緑）が点滅する場合 ⇨ 満充電表示



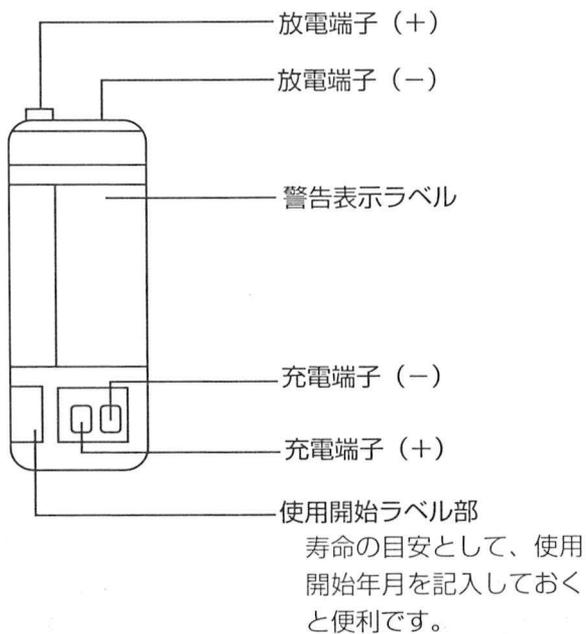
充電電池パックの電圧が十分高い状態（フル充電時の80%以上）であるため、充電を行わない状態です。
 本器からワイヤレスマイク（受信機）または充電電池パックを抜いてください。そのまま放置すると、約30分以内に充電を開始するため過充電の原因となります。

■ ラック取付金具（参考図）



11. 充電電池パック / WX-BH500

■各部の名前



■仕様

定格電圧	DC2.4V
定格容量	500mAh/0.2CmA
電池	ニッケル・水素蓄電池
使用温度範囲	充電時：+10℃～+35℃
	使用時：0℃～+40℃
	保存時：-20℃～+40℃（6ヵ月以内）
湿度	45%～85%
寸法	21(幅)×45(長さ)×11(厚さ)mm ※長さ、厚さは突起部含まず
質量	約25g
仕上げ	黒色ABS樹脂（マンセルN1近似色）

13. 補助アンテナ (特注) / A-3224-01

本アンテナは、300MHzポケットレシーバーWX-R3100/WX-R3101の使用エリアを補助的に広げるためのアンテナです。

■設置上のお願ひ

本アンテナは、300MHz送信機WX-T3400の送信波をプラスチックエレメントで受信し、同軸ケーブルで伝送し、ラジエーターエレメントで再送出するため、設置方法、環境により、その効果は大きく影響します。以下の設置上の注意をお守りください。

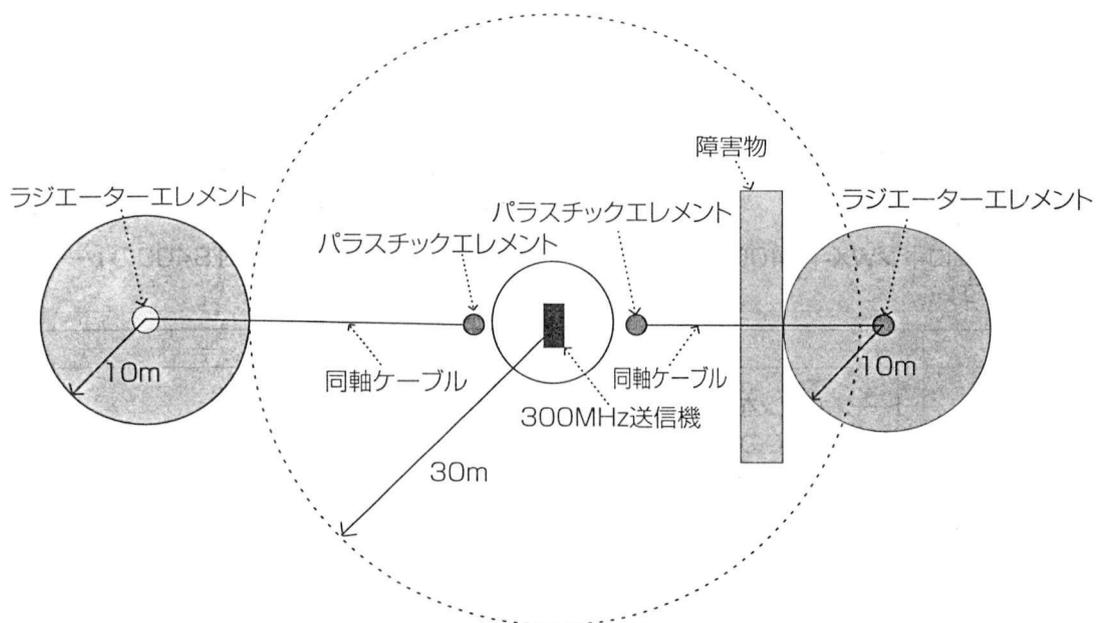
本アンテナは、2本1組で使用します。

1本は受信用（以下プラスチックエレメント）、他の1本は再送信用（ラジエーターエレメント）です。

300MHzポケットレシーバーWX-R3100/WX-R3101の使用エリアについて

- 300MHzポケットレシーバーWX-R3100/WX-R3101の使用エリアは、ワイヤレスマイクWX-T3400より屋内で約30m屋外で約60mです。
- ※屋内の障害物の条件、ワイヤレスマイクの運用位置によりこの使用エリアは変化します。
屋内30mの範囲で障害物がある場合、または30m以上のエリアで使用したい場合に、本アンテナを使用します。
- 補助アンテナとは、300MHzワイヤレスマイクの直近にプラスチックエレメントを設置し、プラスチックエレメントで受信した送信波を同軸ケーブルにより伝送し、ラジエーターエレメントにより再送出するものです。
（同軸伝送ロスが空間伝送ロスよりも少ない条件で、エリアを補助的に広げるものです。）
- 補助アンテナの使用エリアは、再送ラジエーターエレメントより10mの範囲です。
周囲のアンテナの設置条件によりその距離は変化します。

設置例



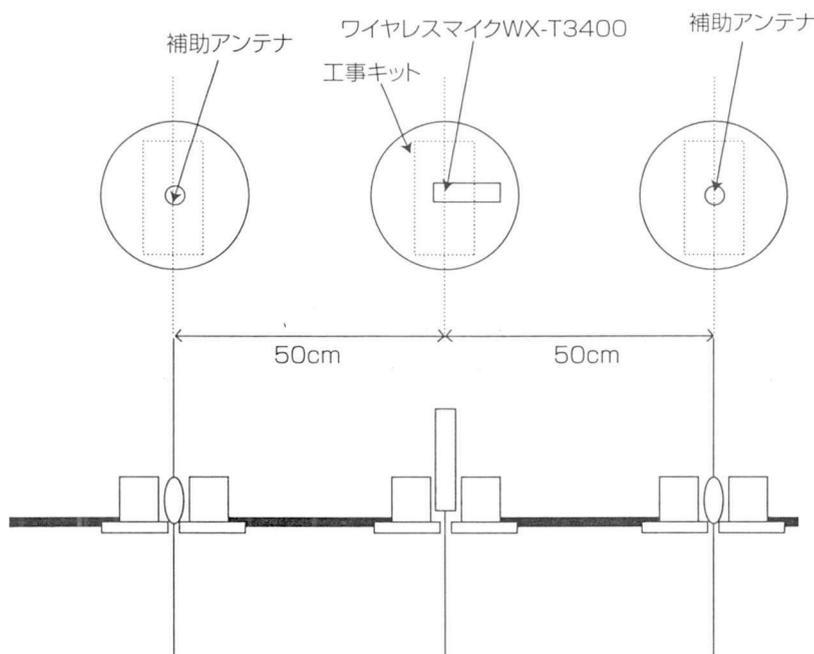
■パラスチックエレメントの設置方法について

300MHzワイヤレスマイクの位置から50cmの位置にパラスチックエレメントを設置します。

- ※1 50cmより短い場合は、300MHzワイヤレスマイク本体の放射指向性が乱れ、300MHzワイヤレスマイク本体からの使用エリアが狭くなる場合があります。
- ※2 パラスチックエレメントは最大2本とします。
3本以上設置した場合は、※1と同じく300MHzワイヤレスマイク本体からの使用エリアが狭くなる場合があります。

300MHzワイヤレスマイクの設置垂直位置（天井線）とパラスチックエレメントの中心を合せて設置します。

- ※ 垂直面設置位置がずれた場合は、受信効率が低下しラジエーターエレメントの効果が低下します。



■同軸ケーブルについて

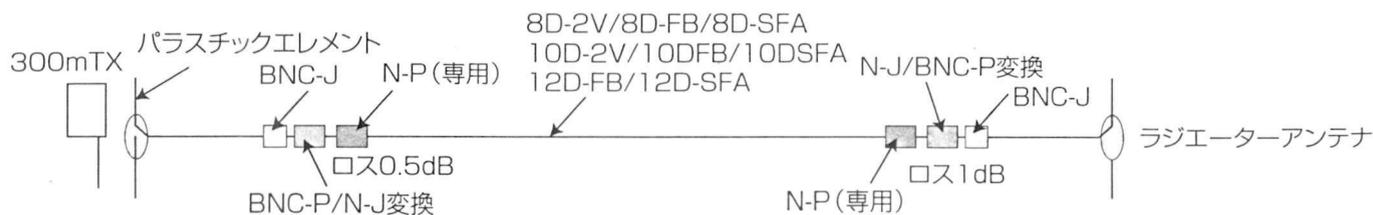
同軸ケーブルは、50Ωの同軸ケーブルを使用します。

75Ω系同軸ケーブルを使用した場合は、ミスマッチにより減衰する場合があります。

ケーブル長さは、322MHzロスで6dB以内になしてください。

目安	5D-FB	: 45m
	5D-SFA/8D-FB	: 60m
	8D-SFA/10-FB	: 80m
	10D-SFA/12D-FB	: 100m
	12D-SFA	: 120m

8D-FB以上のケーブルを使用する場合は、専用N型コネクターを使用し、BNC変換して接続します。



仕様打合せと見積り計算

1 受信機とアンテナ

ホールの運営方法

- ①案内放送と一斉秘話連絡
- ②個別会話と一斉秘話連絡
- ③案内放送とグループ別秘話連絡
- ④案内放送、個別会話と一斉秘話連絡
- ⑤同時通話者が7人以上

受信機本体 (WX-R8600)

1台	600,000円
1台	600,000円
1台	600,000円
2台	1,200,000円
2台	1,200,000円

800MHz帯アンテナ (WX-A8110) 1フロア20×40m以内

4本	108,000円
4本	108,000円
4本	108,000円
4本	124,000円 (分配器4台×4,000円が必要)
4本	124,000円 (分配器4台×4,000円が必要)

708,000円
708,000円
708,000円
1,324,000円
1,324,000円

※①～③は同時通話者6人以下の場合です。

円

2 子機の機能とスタイル

品名	システム構成										システム価格	x 人 =	円
	WX-M102	WX-M101	WX-M200	WX-C827	WX-M901	WX-T8400	WX-R3100	WX-BH500	WX-RZ901				
2ボタン 接話 マイクロホン	1	-	-	-	-	1	1	2	-		145,000円	x 人 =	円
合計											台		
1ボタン 接話 マイクロホン	-	1	-	-	-	1	1	2	-		141,000円	x 人 =	円
合計											台		
1ボタン ヘッドセット	-	-	1	-	1	1	1	2	-		154,000円	x 人 =	円
合計											台		
1ボタン ネックセット	-	-	-	1	1	1	1	2	-		172,000円	x 人 =	円
合計											台		
受信 オンリー	-	-	-	-	-	-	1	1	1		48,400円	x 人 =	円
合計											台		
合計											台		

WX-R8600
600,000円×()
円

ラックマウント必要時
WA-Q21
3,000円×()
円

WX-A8100
27,000円×()
円

WX-M102
25,000円×()
円

WX-M101
21,000円×()
円

WX-M200
17,000円×()
円

WX-C827
35,000円×()
円

WX-M901
17,000円×()
円

WX-T8400
70,000円×()
円

WX-R3100, R3101
40,000円×()
円

WX-BH500
5,000円×()
円

WX-RZ901
20,000円×()
円

WX-BC600
100,000円×()
円

3 充電器 (WX-BC600)

①②③④は3人/1台です。 人 × 100,000円 = 円

⑤ は6人/1台です。 人 × 100,000円 = 円

4 リモコンマイク (WX-M900他)

ホールの運営方法

- ① 事務所に人がいないので
 いない
- ② 事務所から一斉秘話連絡者へのみ
 伝達したい
- ③ 事務所から案内放送・個別連絡・
 一斉秘話連絡のいずれかをしたい
- ④ 事務所と景品カウンターの
 2ヶ所からしたい

	→	0円
WR-101 (呼び出しマイクロホン)	→	34,000円
WX-M900	→	80,000円
WX-M900×2台	→	160,000円

円

WX-M900
80,000円×()
円
WR-101
34,000円×()
円

5 300MHz帯送信機 (WX-T3400他)

ホールの運営方法

- ① 案内放送と
 一斉秘話連絡
- ② 個別会話と
 一斉秘話連絡
- ③ 案内放送と
 グループ別秘話連絡
- ④ 案内放送、個別会話と
 一斉秘話連絡

1波のみです	1波当たりの金額	1波	
個別会話者を何人にしますか (最大3人)	WX-T3400 60,000円	(__+1波)	=
1波のみです	WX-AZ910 15,000円	1波	
個別会話者を何人にしますか (最大3人)	合計 85,000円	(__+1波)	

円

WX-T3400
60,000円×()
円
WX-AZ910
15,000円×()
円

6 チューナーユニット (WX-D8200)

同時通話の優先権

6人未満 _____ 人 - 2 × 70,000円 = _____

7人以上12人まで _____ 人 - 7 × 70,000円 = _____

円

WX-D8200
70,000円×()
円

7 子機携帯製

1個入れ 4,000円 _____ 人 = _____ 円

2個重ね入れ 6,000円 × _____ 人 = _____ 円

2個並び入れ 8,000円 _____ 人 = _____ 円

本体SWカバー 100円 _____ 人 = _____ 円

円

システム価格合計

円

施工の注意点

ワイヤレスコミュニケーションシステムは以下の点で従来のワイヤレスシステムと異なりますのでご注意ください。

- 800MHz受信アンテナはダイレクト方式です。
同軸ケーブルは以下の指定となります

分配器	使用同軸ケーブル	同軸ケーブル長さ (m)															
		0	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100	110	120	130	140	150
分配器を使用しない場合	5C-2V 5D-2V	-6dB		0dB		+6dB											
	5C-FB 5D-FB																
	7C-FB 8D-FB																
分配器を使用する場合	5C-2V 5D-2V																
	5C-FB 5D-FB																
	7C-FB 8D-FB																

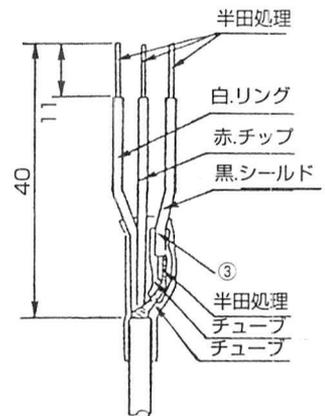
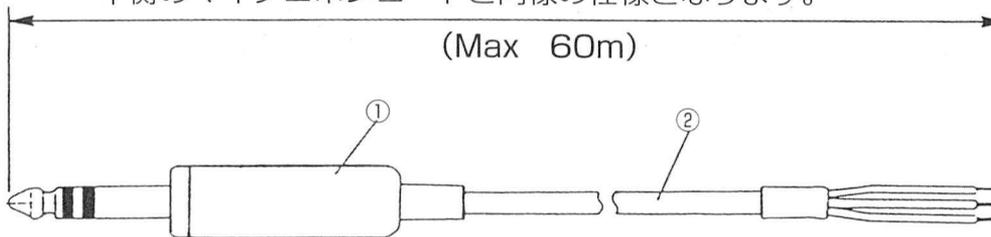
同軸のロスが大きいため
左記以上の長さは使用不可

同軸のロスが大きいため
左記以上の長さは使用不可

2. 300MHz送信機の配線 (300MHz下り用アンテナ)

同軸ケーブルではありません!

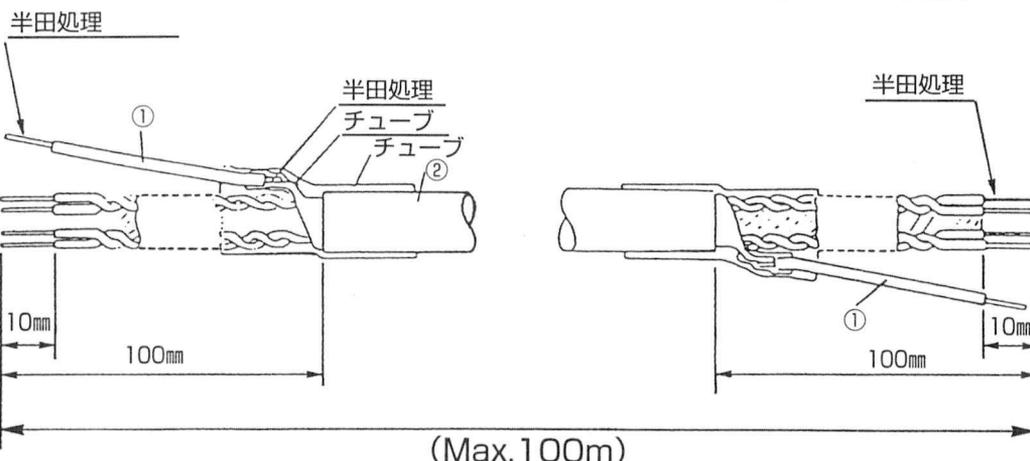
平衡のマイクロホンコードと同様の仕様となります。



No	
1	大型ステレオプラグ φ6.5
2	2芯シールド AWG20
3	中継ケーブル UL1007 黒 AWG20

3. リモコンマイク用ケーブル

12芯 (2芯ツイストで6ペア) のシールドケーブル ⇨ 700円/1m と高額なので注意してください



No.	
1	UL1007 黒色 AWG20
2	φ0.3/AWG22相当 シールドケーブル (12芯) 6ペア

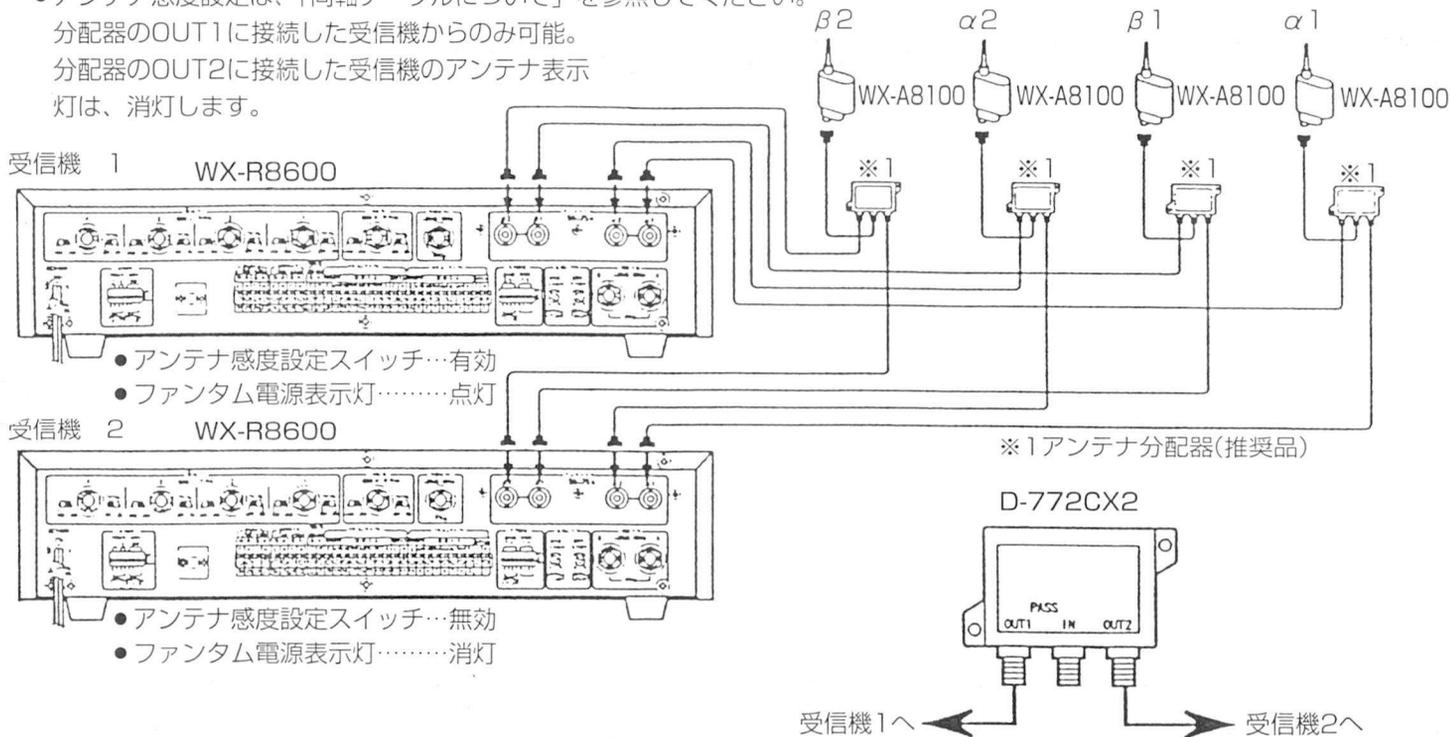
4. アンテナ分配器またはアンテナ混合器が必要な場合の接続方法

●WX-R8600 2台、WX-A8100 2~4台使用の場合

アンテナ分配器D-772CX2を使用します。

- アンテナ感度設定は、「同軸ケーブルについて」を参照してください。

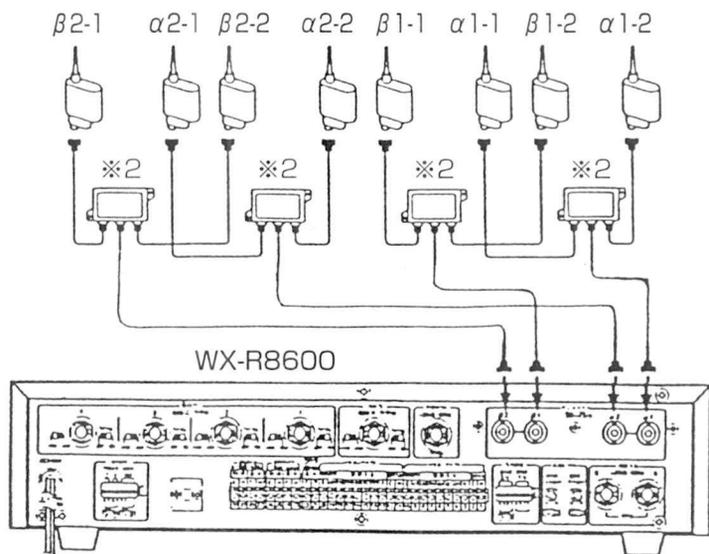
分配器のOUT1に接続した受信機からのみ可能。
分配器のOUT2に接続した受信機のアンテナ表示
灯は、消灯します。



●WX-R8600 1台、WX-A8100 5~8台使用の場合

※アンテナ混合器 D-772CX3を使用します。

WX-A8100 (8台)



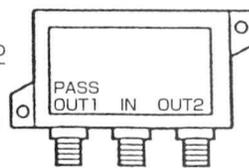
※アンテナ分配器(推奨品)混合器
……アンテン株式会社製

☎0424-81-8413

品番は1997年3月現在のものです。

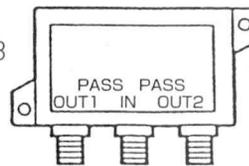
※1

- D-772CX2
(出力1のみ
電流通過型)
分配器



※2

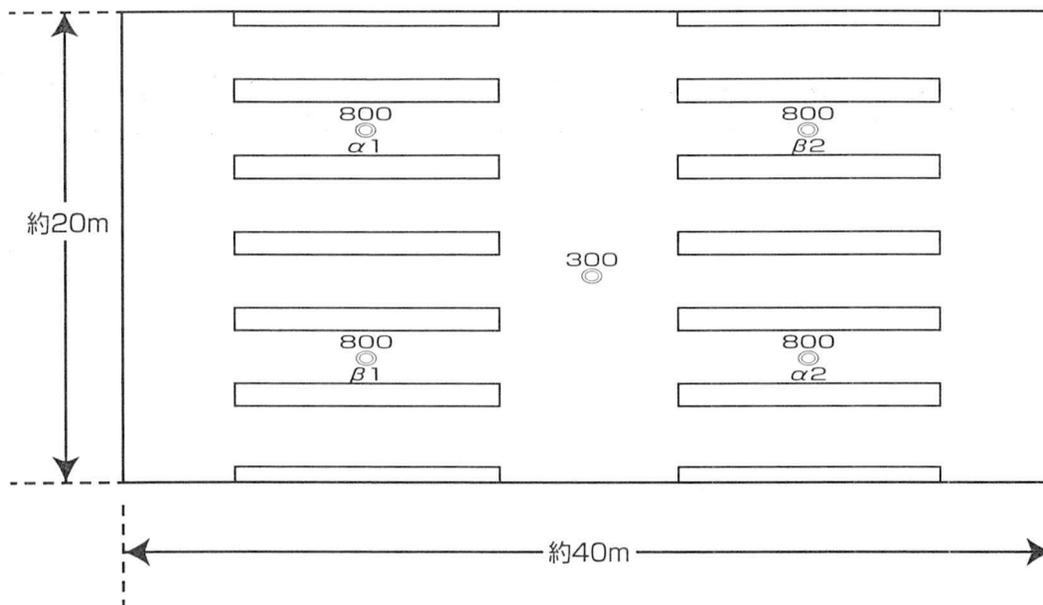
- D-772CX3
混合器



- 50Ω同軸ケーブル使用の場合は、
FP-BNCJアダプターをご使用ください。
(別途購入)



5. アンテナ及び送信機配置方法



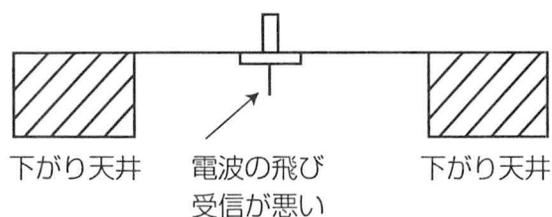
(a) 800MHz帯アンテナの設置

1フロア20m×40m程度の大きさでは上記配置のようにするのが基本です。

- ①アンテナ本数⇨4本
- ②α、βの配置⇨ダイバシティ効果を出すため上記のようにタスキ掛けにします。
- ③設置方法は天井設置が基本です。

(b) 300MHz帯送信機の設置

上記のようにパーラーホール内中央に設置するのが基本です。ただし、設置場所近くに柱、パチンコ玉の玉走りダクト等障害物がないことが必要です。障害物がある場合はパーラー中央にこだわらないで障害物の少ない場所への移動も考慮する必要があります。



800MHz帯/300MHz帯送受信周波数表



800MHz帯送受信周波数表

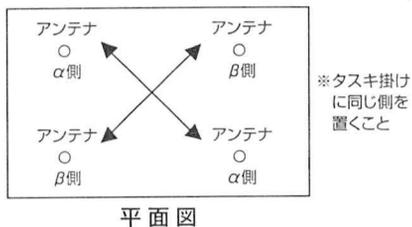
周波数 (MHz)	グループ									
	1	2	3	4	5	6	8		9	
							A	B	A	B
806.125	B11						B8A1			
806.250		B21							B9A1	
806.375	B12									
806.500		B22					B8A2			
806.625			B31						B9A2	
806.750				B41			B8A3			
806.875			B32						B9A3	
807.000		B23								
807.125	B13						B8A4			
807.250						B61			B9A4	
807.375			B33				B8A5			
807.500				B42					B9A5	
807.625					B51					
807.750	B14						B8A6			
807.875		B24							B9A6	
808.000				B43				B8B1		
808.125					B52					B9B1
808.250			B34							
808.375					B53			B8B2		
808.500		B25								B9B2
808.625			B35					B8B3		
808.750					B54					B9B3
808.875		B26								
809.000	B15							B8B4		
809.125				B44						B9B4
809.250			B36					B8B5		
809.375				B45						B9B5
809.500	B16									
809.625					B55			B8B6		
809.750				B46						B9B6
運用チャンネル	6波運用						7~12波運用			

300MHz帯送受信周波数表

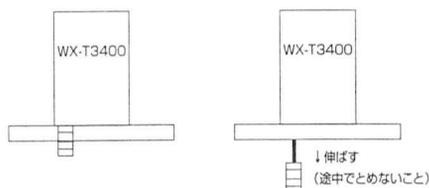
周波数 (MHz)	グループ			
	1	2	3	4
322.025			C31	
322.050	C11			
322.075		C21		
322.100	C12			
322.125		C22		
322.150			C32	
322.175				
322.200		割当なし		
322.225				
322.250	C13			
322.275		C23		
322.300				C41
322.325			C33	
322.350	C14			
322.375		C24		
322.400			C34	

システム納入チェックリスト

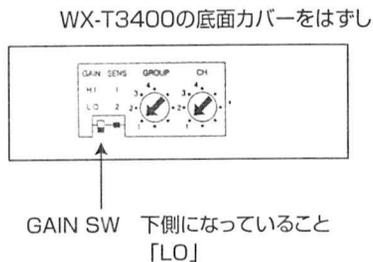
- (1) 800MHz帯アンテナ⇔ワイヤレス受信機（または混合分配器）のダイバシティ効果確認
 ↳ α側、β側はフロア内にてダイバシティ効果が得られる「タスキ掛け」ポジションの接続になっていますか？



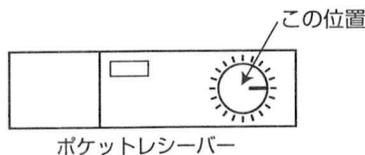
- (2) 300MHz帯送信機WX-T3400の設置について
 ①アンテナエレメントは伸ばしましたか？



- ②マイクGAINは「LO」にしていますか？
 ↳必ず「LO」で設定してください。(29ページ参照)

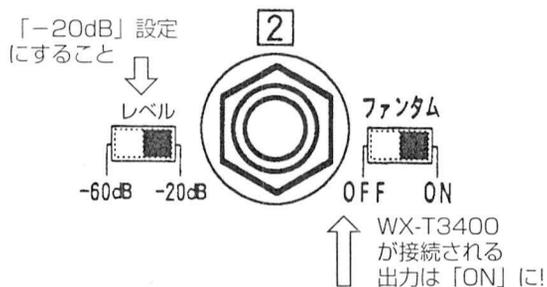


《運用状態での確認》下記のような状態になっていれば問題ありません。(参考)
 ポケットレシーバーWX-R3100シリーズの音量ボリュームの位置が8目盛りぐらいで良く聞こえる状態。



[要注意] マイクGAIN [HI] のまま、WX-R8600側の送りを「-60dB」にしないでください。
 間違えて設定した場合、以下の障害が発生します。

- ↳一応聞こえますが全体的にレベルが低い状態。(障害がなくても)
 外来ノイズが重畳しやすく、状況によって音声ノイズによって感度抑圧され音声が小さくなる場合があります。



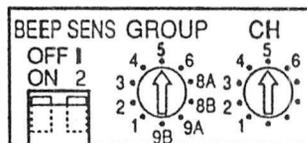
- ③WX-R8600のファンタムはONにしていますか？
 ↳300MHz側が聞こえない場合に確認してください。

- (3) 子機のマイクロホン選択による感度設定について
 WX-T8400に接続されるマイクがシステムの中で多種類使用した場合（接話マイク、ヘッドセット、ネックセット等）一部使い方や個人差により音量レベルが不足する場合があります。（受信機WX-R8600シリーズのチューナーボリューム最大）

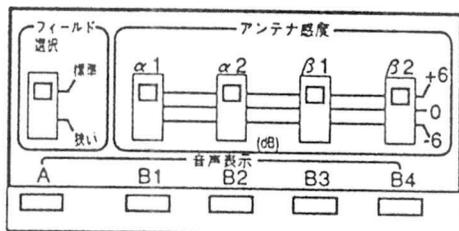
この場合、感度不足する人の子機のマイク感度を変更する方法があります。

- ↳マイク感度切換スイッチ [SENS]
 通常「SENS1」にて設定されていますが、「SENS2」にすることで10dBゲインをアップすることが出来ます。マイク感度が上がることで受信機WX-R8600シリーズのチューナーボリュームに余裕が出来るため、微調整が可能となります。(32ページ参照)

WX-T8400の底面カバー

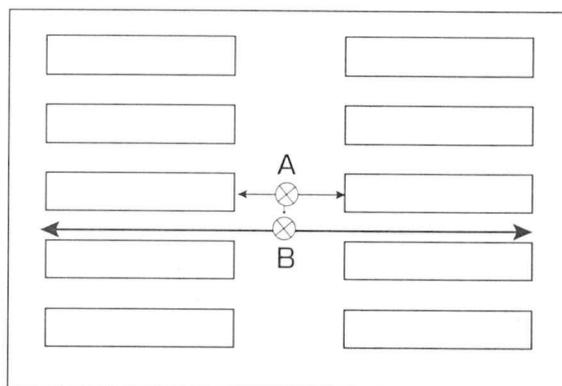


- (4) 受信機WX-R8600/R8601、分配器WX-AD800のアンテナ感度スイッチは最適ですか？
同軸ケーブルの長さによりアンテナ感度スイッチのポジションが変わります。
同軸ケーブルが長い場合、ケーブルロスが大きくなり到達エリアが短くなる場合があります。同軸の種類とケーブル長の選択を確認してください。
⇨46ページ参照



- (5) システムチェック方法⇨2人以上で確認してください。(1人では正確に判断できません)
- ①800MHzの到達エリア確認
⇨評価確認者：親機であるWX-R8600/R8601のモニター出力（予備出力）を聞く。
実動者：800MHzワイヤレスマイクWX-T8400を送信ロック状態にして話しをする。どこのポジションにいるかしゃべりながら移動する。
⇨評価確認者が受信安定度を確認する。
※子機で確認する方法：300MHzポケットレシーバーの受信安定度が良い場所で確認する。
- ②300MHzの到達エリア確認
⇨評価確認者：300MHzポケットレシーバーにて移動し受信安定度を確認。
実動者：親機側のリモコンマイクから秘話連絡をする。
⇨評価確認者が受信状態を確認する。

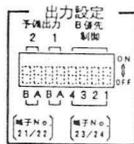
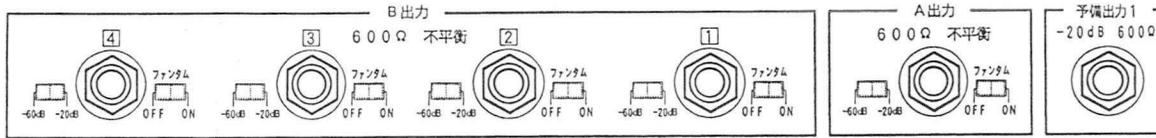
- (6) 300MHz送信機の設置位置注意
受信エリアのセンターに設置するのが基準ですが、設置する場所のまわりに障害物があると到達エリアが十分確保できません。
目安として、遠くからでもアンテナエレメントが直視できるポジションに設置してください。(天井が高い場合に有利)
パーラーホール等では玉走りや柱、下がり天井、ロフト天井の影響でアンテナが隠れるなどで本来の受信エリアを満足出来ない事例も発生していますので、建物構造をシステム設計する際に十分確認をお願い致します。
(平面図だけでは判断出来ない場合が多く発生しています。)
パーラーホール等では相対的に天井高が低い場合に到達エリアが狭くなります。



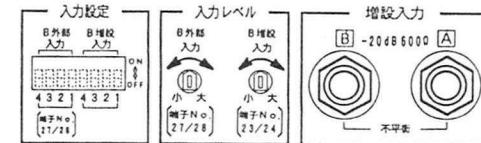
AよりBの方が見通しが良い

使用事例

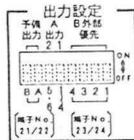
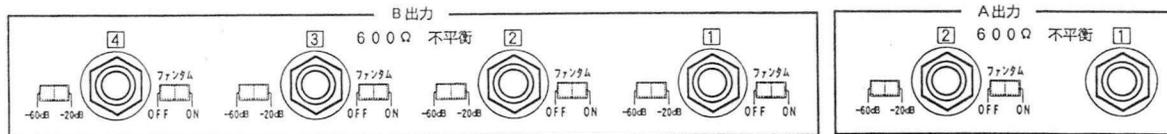
WX-R8600



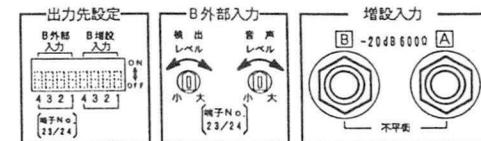
B外部入力				B優先入力				予備出力2				リモコンマイク2				リモコンマイク1			
-20dB 600Ω				-20dB 600Ω				-20dB 600Ω											
制御	音声	音声	音声	制御	音声	音声	音声	音声	電選出力	電選出力	電選出力	制御	入力	音声入力	電選出力	制御	入力	音声入力	電選出力
C	H	C	H	C	H	C	H	C	H	E	+12V COM	B4	B3	B2	B1	A	C	H	E
30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11



WX-R8601



B外部入力				予備出力				リモコンマイク2				リモコンマイク1			
-20dB 600Ω				-20dB 600Ω											
検出	制御	音声	音声	音声	電選出力	電選出力	電選出力	制御	入力	音声入力	電選出力	制御	入力	音声入力	電選出力
H	C	H	C	C	H	E	+12V COM	B4	B3	B2	B1	A	C	H	E
27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12



現場設定・確認用紙

800MHz帯ワイヤレス受信機 WX-R8600/R8601

※現場設定、確認用紙として使うと便利です。

(1台目)

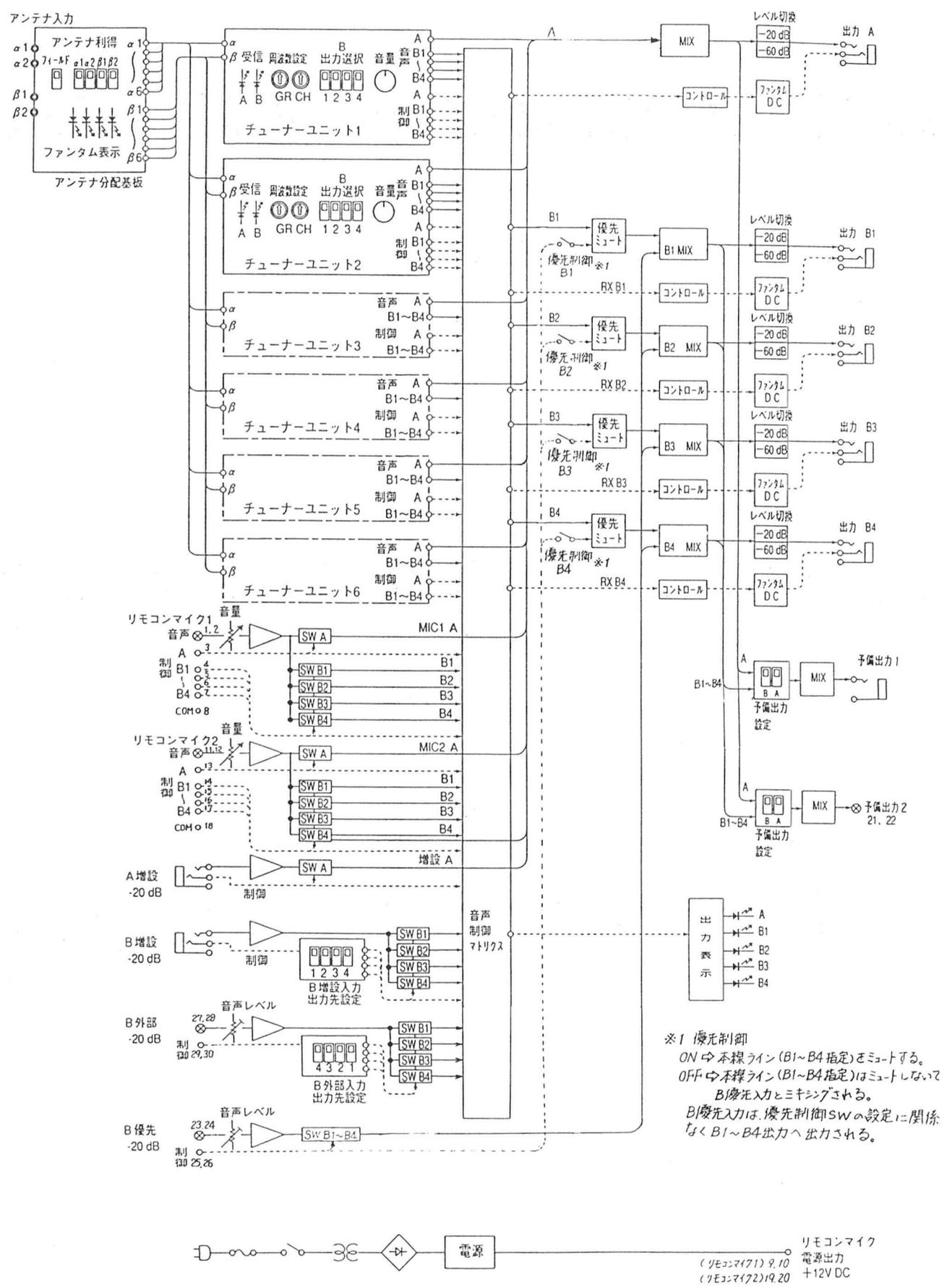
<p>1</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>名称</p> <p>Bモード出力設定</p> <p>ON ↑</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td></tr> </table> <p>チャンネル設定</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr><td>GR</td><td>CH</td></tr> </table> <p>運用方法</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr><td>Aモード</td><td></td></tr> <tr><td>Bモード</td><td></td></tr> </table> <p>A出力設定 (R8601c4)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr><td>A2</td><td>A2+A1</td></tr> </table> </div>	1	2	3	4	GR	CH	Aモード		Bモード		A2	A2+A1	<p>2</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>名称</p> <p>Bモード出力設定</p> <p>ON ↑</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td></tr> </table> <p>チャンネル設定</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr><td>GR</td><td>CH</td></tr> </table> <p>運用方法</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr><td>Aモード</td><td></td></tr> <tr><td>Bモード</td><td></td></tr> </table> <p>A出力設定 (R8601c4)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr><td>A2</td><td>A2+A1</td></tr> </table> </div>	1	2	3	4	GR	CH	Aモード		Bモード		A2	A2+A1	<p>3</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>名称</p> <p>Bモード出力設定</p> <p>ON ↑</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td></tr> </table> <p>チャンネル設定</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr><td>GR</td><td>CH</td></tr> </table> <p>運用方法</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr><td>Aモード</td><td></td></tr> <tr><td>Bモード</td><td></td></tr> </table> <p>A出力設定 (R8601c4)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr><td>A2</td><td>A2+A1</td></tr> </table> </div>	1	2	3	4	GR	CH	Aモード		Bモード		A2	A2+A1	<p>4</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>名称</p> <p>Bモード出力設定</p> <p>ON ↑</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td></tr> </table> <p>チャンネル設定</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr><td>GR</td><td>CH</td></tr> </table> <p>運用方法</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr><td>Aモード</td><td></td></tr> <tr><td>Bモード</td><td></td></tr> </table> <p>A出力設定 (R8601c4)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr><td>A2</td><td>A2+A1</td></tr> </table> </div>	1	2	3	4	GR	CH	Aモード		Bモード		A2	A2+A1	<p>5</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>名称</p> <p>Bモード出力設定</p> <p>ON ↑</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td></tr> </table> <p>チャンネル設定</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr><td>GR</td><td>CH</td></tr> </table> <p>運用方法</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr><td>Aモード</td><td></td></tr> <tr><td>Bモード</td><td></td></tr> </table> <p>A出力設定 (R8601c4)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr><td>A1</td><td>A2+A1</td></tr> </table> </div>	1	2	3	4	GR	CH	Aモード		Bモード		A1	A2+A1	<p>6</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>名称</p> <p>Bモード出力設定</p> <p>ON ↑</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td></tr> </table> <p>チャンネル設定</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr><td>GR</td><td>CH</td></tr> </table> <p>運用方法</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr><td>Aモード</td><td></td></tr> <tr><td>Bモード</td><td></td></tr> </table> <p>A出力設定 (R8601c4)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr><td>A1</td><td>A2+A1</td></tr> </table> </div>	1	2	3	4	GR	CH	Aモード		Bモード		A1	A2+A1	<p>リモコンマイク名称</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr><td>1</td><td>2</td></tr> <tr><td> </td><td> </td></tr> </table>	1	2		
1	2	3	4																																																																															
GR	CH																																																																																	
Aモード																																																																																		
Bモード																																																																																		
A2	A2+A1																																																																																	
1	2	3	4																																																																															
GR	CH																																																																																	
Aモード																																																																																		
Bモード																																																																																		
A2	A2+A1																																																																																	
1	2	3	4																																																																															
GR	CH																																																																																	
Aモード																																																																																		
Bモード																																																																																		
A2	A2+A1																																																																																	
1	2	3	4																																																																															
GR	CH																																																																																	
Aモード																																																																																		
Bモード																																																																																		
A2	A2+A1																																																																																	
1	2	3	4																																																																															
GR	CH																																																																																	
Aモード																																																																																		
Bモード																																																																																		
A1	A2+A1																																																																																	
1	2	3	4																																																																															
GR	CH																																																																																	
Aモード																																																																																		
Bモード																																																																																		
A1	A2+A1																																																																																	
1	2																																																																																	

(2台目)

<p>1</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>名称</p> <p>Bモード出力設定</p> <p>ON ↑</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td></tr> </table> <p>チャンネル設定</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr><td>GR</td><td>CH</td></tr> </table> <p>運用方法</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr><td>Aモード</td><td></td></tr> <tr><td>Bモード</td><td></td></tr> </table> <p>A出力設定 (R8601c4)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr><td>A2</td><td>A2+A1</td></tr> </table> </div>	1	2	3	4	GR	CH	Aモード		Bモード		A2	A2+A1	<p>2</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>名称</p> <p>Bモード出力設定</p> <p>ON ↑</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td></tr> </table> <p>チャンネル設定</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr><td>GR</td><td>CH</td></tr> </table> <p>運用方法</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr><td>Aモード</td><td></td></tr> <tr><td>Bモード</td><td></td></tr> </table> <p>A出力設定 (R8601c4)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr><td>A2</td><td>A2+A1</td></tr> </table> </div>	1	2	3	4	GR	CH	Aモード		Bモード		A2	A2+A1	<p>3</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>名称</p> <p>Bモード出力設定</p> <p>ON ↑</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td></tr> </table> <p>チャンネル設定</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr><td>GR</td><td>CH</td></tr> </table> <p>運用方法</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr><td>Aモード</td><td></td></tr> <tr><td>Bモード</td><td></td></tr> </table> <p>A出力設定 (R8601c4)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr><td>A2</td><td>A2+A1</td></tr> </table> </div>	1	2	3	4	GR	CH	Aモード		Bモード		A2	A2+A1	<p>4</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>名称</p> <p>Bモード出力設定</p> <p>ON ↑</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td></tr> </table> <p>チャンネル設定</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr><td>GR</td><td>CH</td></tr> </table> <p>運用方法</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr><td>Aモード</td><td></td></tr> <tr><td>Bモード</td><td></td></tr> </table> <p>A出力設定 (R8601c4)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr><td>A2</td><td>A2+A1</td></tr> </table> </div>	1	2	3	4	GR	CH	Aモード		Bモード		A2	A2+A1	<p>5</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>名称</p> <p>Bモード出力設定</p> <p>ON ↑</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td></tr> </table> <p>チャンネル設定</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr><td>GR</td><td>CH</td></tr> </table> <p>運用方法</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr><td>Aモード</td><td></td></tr> <tr><td>Bモード</td><td></td></tr> </table> <p>A出力設定 (R8601c4)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr><td>A1</td><td>A2+A1</td></tr> </table> </div>	1	2	3	4	GR	CH	Aモード		Bモード		A1	A2+A1	<p>6</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>名称</p> <p>Bモード出力設定</p> <p>ON ↑</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td></tr> </table> <p>チャンネル設定</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr><td>GR</td><td>CH</td></tr> </table> <p>運用方法</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr><td>Aモード</td><td></td></tr> <tr><td>Bモード</td><td></td></tr> </table> <p>A出力設定 (R8601c4)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr><td>A1</td><td>A2+A1</td></tr> </table> </div>	1	2	3	4	GR	CH	Aモード		Bモード		A1	A2+A1	<p>リモコンマイク名称</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr><td>1</td><td>2</td></tr> <tr><td> </td><td> </td></tr> </table>	1	2		
1	2	3	4																																																																															
GR	CH																																																																																	
Aモード																																																																																		
Bモード																																																																																		
A2	A2+A1																																																																																	
1	2	3	4																																																																															
GR	CH																																																																																	
Aモード																																																																																		
Bモード																																																																																		
A2	A2+A1																																																																																	
1	2	3	4																																																																															
GR	CH																																																																																	
Aモード																																																																																		
Bモード																																																																																		
A2	A2+A1																																																																																	
1	2	3	4																																																																															
GR	CH																																																																																	
Aモード																																																																																		
Bモード																																																																																		
A2	A2+A1																																																																																	
1	2	3	4																																																																															
GR	CH																																																																																	
Aモード																																																																																		
Bモード																																																																																		
A1	A2+A1																																																																																	
1	2	3	4																																																																															
GR	CH																																																																																	
Aモード																																																																																		
Bモード																																																																																		
A1	A2+A1																																																																																	
1	2																																																																																	

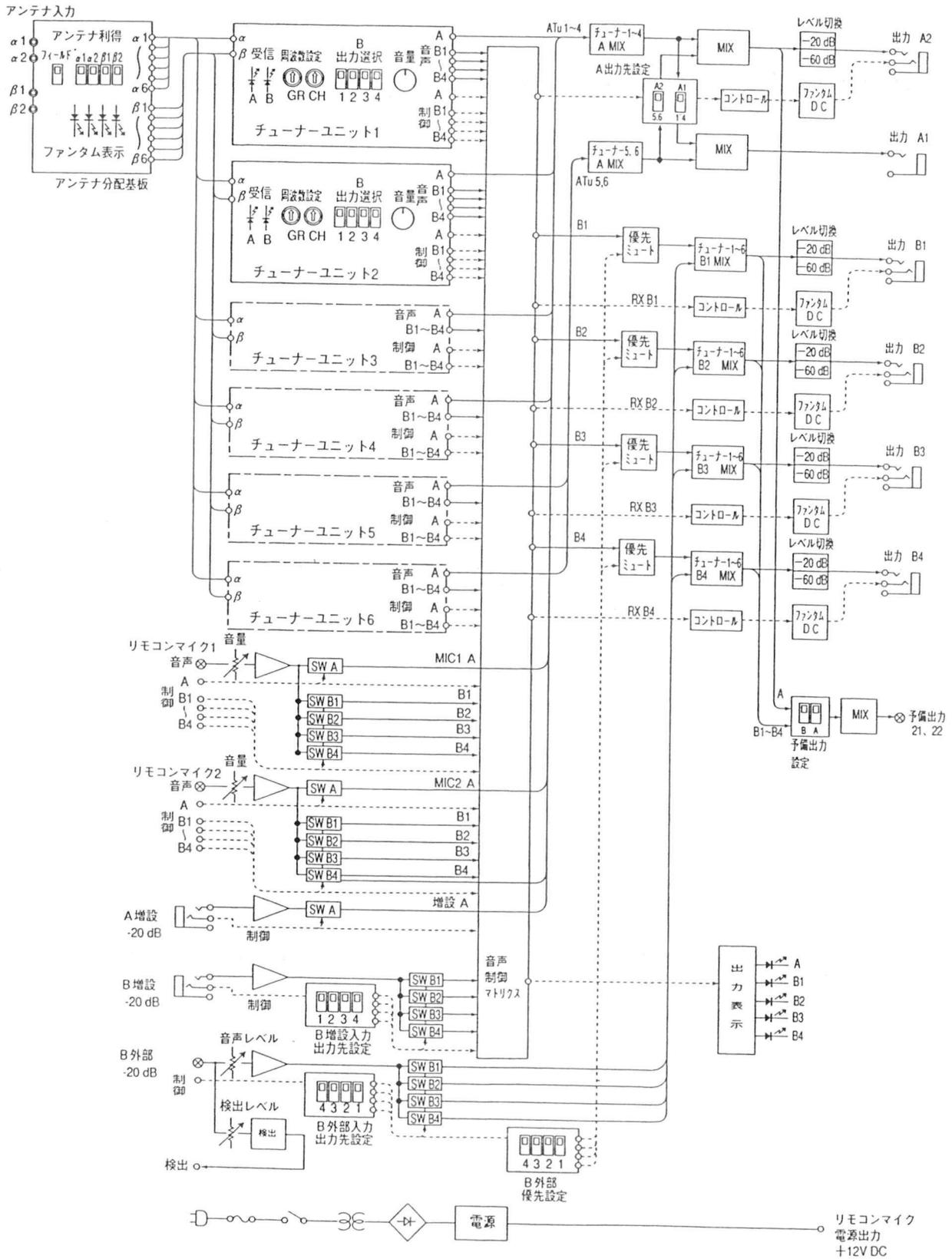
ブロックダイアグラム

1. WX-R8600

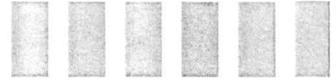


※1 優先制御
 ON ⇨ 本線ライン (B1~B4 指定) をミュートする。
 OFF ⇨ 本線ライン (B1~B4 指定) はミュートしないで B 優先入力とミキシングされる。
 B 優先入力は、優先制御 SW の設定に関係なく B1~B4 出力へ出力される。

2. WX-R8601



ワイヤレスコミュニケーションシステム商品構成一覧



親機関連商品

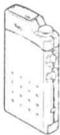
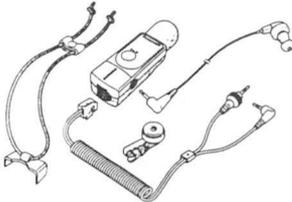
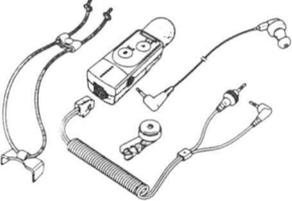
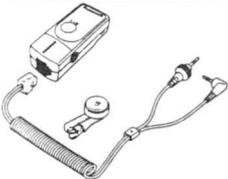
No.	品名	品番	外観	構成内容
1	800MHz帯PLL ダイバシティ ワイヤレス受信機	WX-R8600 WX-R8601 参考 ¥600,000		[仕様] チューナーユニット 2台内蔵、4台増設可能 [付属] 複式プラグ…1、単式プラグ…1 ※ラックアングルは付属していません。 ラックアングル別売品番☎WA-Q21 また、飾りネジ W2-MSS/5008が4個必要です。
2	800MHz帯PLL ダイバシティワイヤレス チューナーユニット	WX-D8200 参考 ¥70,000		
3	リモコンマイクロホン	WX-M900 ¥80,000		[仕様] 電源はWX-R8600/WX-R8601より供給。 配線引き出し☎前後2方向可能 トークA☎1 トークB☎1~4個別SW&一斉SW。
4	800MHz帯 混合分配器	WX-AD800 ¥150,000		●800MHzダイレクト受信方式の混合分配器 ラックアングル付属。
5	800MHz帯 天井取付用 ワイヤレスアンテナ	WX-A8100 ¥22,000 WX-A8110 ¥27,000 WX-A8105 ¥22,000		●本体 (WX-A8100を天井取付にするためにはWX-C858が必要) ●L型アングル (台上設置用) ☎電工ボックスに対応していないため壁取付に適合しません。 ●WX-A8110は天井パネル付。WX-A8105はL型アングル付。
6	300MHz帯PLL ワイヤレス送信機	WX-T3400 ¥60,000		●本体 ※電池は付属していません。 ※内蔵マイクがあるため外部マイク等は付属していません。
7	300MHz帯 工事キット	WX-AZ900 ¥10,000 WX-AZ910 ¥15,000		●天井取付用金具 (WX-C858の補助金具) ●WX-AZ910は天井パネル付。
8	ワイヤレス 天井取付キット 現行品	WX-C858 標準 ¥15,000		●必要員数☎800MHz帯ワイヤレスアンテナと300MHz帯工事キットの合計数 ●WX-A8100、WX-AZ900を使って天井取付する際必要。 WX-A8110、WX-AZ910の天井パネルとは互換性なし。

親機関連の幹線商品

No.	品名	品番	外観	構成内容
(a)	推奨品 アンテナ分配器	参考(アンテナ製) D-772CX2相当品☎ 参考 ¥4,000		●WX-R8600を2台運用するとき 800MHzアンテナWX-A8100 [2~4台] を各受信機に分配する ●本機はアンテナ混合器には使えません。
(b)	推奨品 アンテナ混合器	参考(アンテナ製) D-772CX3相当品☎ 参考 ¥4,000		●WX-R8600で800MHzアンテナを5~8台接続するためのアンテナ混合器です。 ●本機はアンテナ分配器には使えません。

※他社の同等品も使用可能

子機関連商品

No.	品名	品番	外観	構成内容
1	800MHz帯PLL プレストーク形 ワイヤレスマイクロホン	WX-T8400 ¥ 70,000		●本体 ※電池は付属していません。 ※内蔵マイクがあるため外部マイク等は付属していません。
2	300MHz帯PLL ポケットレシーバー	WX-R3100 WX-R3101 ¥ 40,000		●WX-R3101はオートスキャン機能付。
3	充電電池パック	WX-BH500 ¥ 5,000		[仕様] ニッケル水素電池 (単4×2個パッケージ) 充電端子付き
4	充電器	WX-BC600 ¥ 100,000		[仕様] 6ポケットタイプ、充電電池パック単体充電も可。 満充電チェック機能付き、8時間充電。 ACアウトレット (非連動) 1箇所充電器連結用 2Uハーフサイズでラック収納可能。
5	1ボタン 接話マイクロホン (TX+RX用)	WX-M101 ¥ 21,000		①本体 [マイク付き 1ボタンSWボックス] 員数1 ②耳孔形イヤホン [イヤホンコード付 500mm仕様] 員数1 ③イヤチップ [小、中 (イヤホンに取付済み)、大] 員数各1 ④ウインドスクリーン [黒色、本体に取付済み] 員数1 ⑤ネックストラップ [ホルダー付き] 員数1 ⑥マグネットクリップ 員数1 ⑦マイク&受信機接続用ケーブル [φ2.5プラグ、φ3.5プラグ付] 員数1 ⑧耳だれ防止フィルター [1シート 10個つき] 員数1
6	2ボタン 接話マイクロホン (TX+RX用)	WX-M102 ¥ 25,000		①本体 [マイク付き 1ボタンSWボックス] 員数1 ②耳孔形イヤホン [イヤホンコード付 500mm仕様] 員数1 ③イヤチップ [小、中 (イヤホンに取付済み)、大] 員数各1 ④ウインドスクリーン [黒色、本体に取付済み] 員数1 ⑤ネックストラップ [ホルダー付き] 員数1 ⑥マグネットクリップ 員数1 ⑦マイク&受信機接続用ケーブル [φ2.5プラグ、φ3.5プラグ付] 員数1 ⑧耳だれ防止フィルター [1シート 10個つき] 員数1
7	ヘッドセット	WX-M200 参考 ¥ 17,000		①ヘッドセット本体 員数1 ②4-4モジュラーコード [300mm仕様] 員数1 ③ウインドスクリーン [黒色、本体に取付済み] 員数1 ④イヤパッド [本体に取付済み] 員数1 ⑤ヘッドパッドクッション [本体に取付済み] 員数1
8	ネックセット 現行品	WX-C827 標準 ¥ 35,000		①ネックセット本体 員数1 ②イヤホン (本体に取付済み) [コード長さ260mm仕様] 員数2 ③イヤチップ [小、中 (イヤホンに貼付済み)、大] 員数各2 ④ウインドスクリーン [黒色、本体に1個取付済み] 員数2 ⑤耳だれ防止フィルター [1シート 10個つき] 員数1 ⑥4-4モジュラーコード (300mm) [本体に1本取付済み]長さ仕様変更中 員数2 ⑦4-4モジュラーコード (800mm) 員数2
9	ヘッドセット・ ネックセット用 1ボタン SWユニット	WX-M901 ¥ 17,000		●上記ヘッドセット、ネックセット使用時必要。 ①本体 [マイク付き 1ボタンSWボックス] 員数1 ②ネックストラップ [ホルダー付き] 員数1 ③マグネットクリップ 員数1 ④マイク&受信機接続用ケーブル [φ2.5、φ3.5プラグ付き] 員数1

ワイレスコミュニケーションシステム商品構成一覧

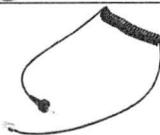
子機関連商品

No.	品名	品番	外観	構成内容
10	ポケットレシーバー用イヤホンキット	WX-RZ901 ¥ 20,000		<ul style="list-style-type: none"> ●子機がポケットレシーバーだけの場合必要。 ①耳孔形イヤホン [イヤホンコード付1000mm仕様] 員数6 ②イヤチップ [小、中(イヤホンに取付済み)、大] 員数各6 ③耳だれ防止フィルター [1シート 10個つき] 員数6
11	1ボタン接話マイクロホン(TX専用)	WX-M111 ¥ 18,000		<ul style="list-style-type: none"> ●子機が800MHz帯ワイレスマイクだけの場合の接話マイク ①本体 [マイク付き 1ボタンSWボックス] 員数1 ②ウインドスクリーン [黒色、本体に取付済み] 員数1 ③ネックストラップ [ホルダ付き] 員数1 ④マグネットクリップ [ネックストラップホルダーに取付済み] 員数1 ⑤マイク接続用カールコード [φ2.5プラグ用] 員数1
12	2ボタン接話マイクロホン(TX専用)	WX-M112 ¥ 22,000		<ul style="list-style-type: none"> ●子機が800MHz帯ワイレスマイクだけの場合の接話マイク ①本体 [マイク付き 2ボタンSWボックス] 員数1 ②ウインドスクリーン [黒色、本体に取付済み] 員数1 ③ネックストラップ [ホルダ付き] 員数1 ④マグネットクリップ [ネックストラップホルダーに取付済み] 員数1 ⑤マイク接続用カールコード [φ2.5プラグ用] 員数1

子機関連の斡旋商品

No.	品名	品番	外観	構成内容
(a)	斡旋商品 収納ケース	参考 ¥ 8,000		<ul style="list-style-type: none"> ●(株)マミーナ製：下記タイプより選択、色は約10種類 (6,000) (8,000) (4,000) (a)2個重ね、(b)2個並行、(c)セパレート ●店舗名称付など特殊加工も特注価格で対応。

消耗品関連商品

No.	品名	品番	外観	構成内容
1	接話マイク用イヤホンキット	WX-RZ900 ¥ 20,000		<ul style="list-style-type: none"> ●消耗品予備と個人管理用追加分として準備。 ①耳孔形イヤホン [イヤホンコード付500mm仕様] 員数6 ②イヤチップ [小、中(イヤホンに取付済み)、大] 員数各6 ③耳だれ防止フィルター [1シート 10個つき] 員数6
2	接話マイク用カラーウインドスクリーンキット	WX-MZ100-□ ¥ 4,000		<ul style="list-style-type: none"> ●色別に下記品番になります。 ●員数はいずれも各6個入り 員数6 黒 WX-MZ100-K 青 WX-MZ100-B 緑 WX-MZ100-G 橙 WX-MZ100-R 黄 WX-MZ100-Y
3	マイク&受信機接続用カールコードキット	WX-MZ101 ¥ 30,000		<ul style="list-style-type: none"> ●通常の子機用 (TX+RX) のコード 員数6
4	マグネットクリップキット	WX-MZ102 ¥ 8,000		<ul style="list-style-type: none"> ●接話マイク、1ボタンSWユニット等のクリップ部 員数6
5	マイク接続用カールコードキット	WX-MZ111 参考 ¥ 30,000		<ul style="list-style-type: none"> ●子機が800MHz帯ワイレスマイクだけの場合のコード 員数6

MEMO

A series of horizontal dashed lines for writing, spanning the width of the page.

MEMO

A series of horizontal dashed lines for writing, spanning the width of the page. There are 20 lines in total, starting from the top of the page and extending to the bottom. The lines are evenly spaced and provide a guide for handwriting.

松下通信工業株式会社 AVシステム事業部

●このマニュアルは平成10年8月現在のものです。

71112F050-2